

(仮称) 第5次調布市総合計画策定に係る
市民アンケート調査報告書

平成24年3月
調布市

目次

第1章 調査の目的と概要

1 調査の目的.....	3
2 (仮称) 第5次調布市総合計画の策定体制と検討結果の概要.....	3
(1) 策定体制.....	3
(2) 市民会議における基本構想案の概要.....	4
3 調査の内容(設問の構成).....	7
4 調査方法及び調査期間.....	8
(1) 調査対象者.....	8
(2) 配布と回収.....	8
(3) 調査期間.....	8
5 回収の結果.....	8
6 地域区分.....	9
7 報告書を見る際の注意事項.....	10
(1) 集計方法.....	10
(2) 数値の端数処理方法.....	10
(3) 報告書における設問(テーマ)の掲載順.....	10
(4) 自由意見.....	10
(5) その他.....	10

第2章 調査結果

1 回答者の属性.....	13
2 今後のまちづくりの方向性に対する共感度・優先度.....	16
(1) 14テーマの将来像に対する共感度.....	16
(2) 各テーマに対する共感度・優先度.....	18
①防災・防犯.....	18
②子ども・子育て支援.....	20
③学校教育.....	22
④青少年の健全育成.....	24
⑤福祉(地域福祉・高齢福祉・障害者福祉).....	26
⑥健康づくり.....	28
⑦スポーツ・レクリエーション.....	30
⑧生涯学習.....	32
⑨地域コミュニティ.....	34
⑩産業・観光振興.....	36
⑪芸術・歴史文化.....	38
⑫市街地整備(住環境・街並み・景観).....	40
⑬道路・交通.....	42
⑭水・緑・環境保全.....	44
3 総合計画策定への参加意向.....	46
4 今後の定住意向.....	51

第3章 自由意見

1 自由意見の内訳.....	57
2 今後の調布市のまちづくりに関する自由意見.....	58

【参考】調査票

第1章 調査の目的と概要

1 調査の目的

調布市では、調布市基本構想に掲げたまちの将来像「みんながつくる・笑顔輝くまち調布」の実現に向けて計画的なまちづくりを進めています。併せて、現行の総合計画の計画期間が平成24年度で終了することから、平成25年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す新たな総合計画として、「(仮称)第5次調布市総合計画」の策定に向けた取組を進めています。

(仮称)第5次調布市総合計画の策定に当たっては、「参加と協働」によるプロセスを大切にしながら、平成23年4月には、公募や無作為抽出での募集による市民15人と職員等15人の合計30人で構成する「調布市基本構想策定推進市民会議」を設置し、これまで協働で新たな基本構想の案づくりを進めてきました。

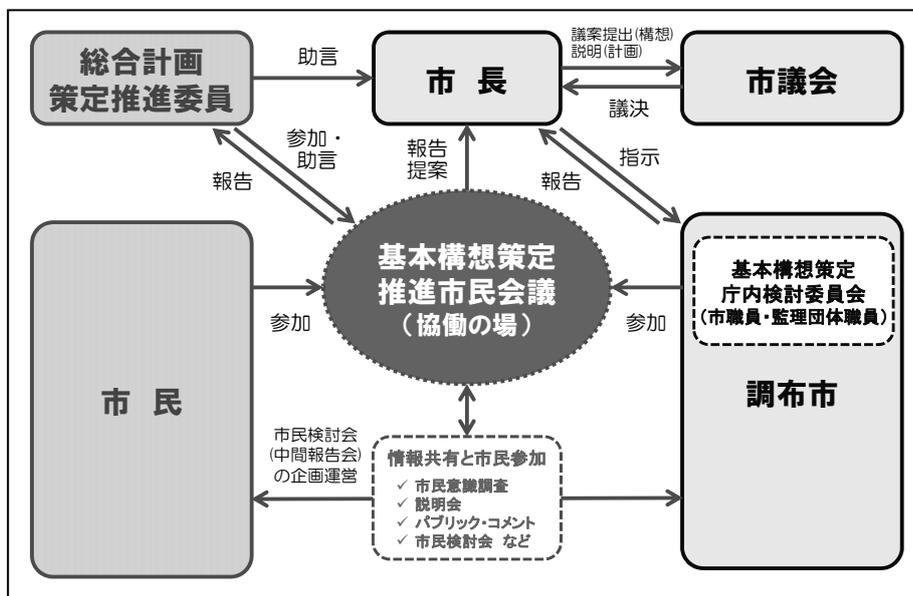
本調査は、調布市基本構想策定推進市民会議で検討を重ねた、基本構想の骨格を示す8つの目標と14のテーマに対する共感度やテーマごとに優先すべき取組のニーズを把握し、今後の計画づくりに活用することを目的としています。

2 (仮称)第5次調布市総合計画の策定体制と検討結果の概要

(1) 策定体制

新たな基本構想の策定に向け、策定体制の中心的な検討組織として、「調布市基本構想策定推進市民会議」(以下「市民会議」という。)を設置し、平成23年4月から平成24年3月まで21回開催するなど、市民と市の協働により検討を重ねてきました。

図表 検討組織と検討体制



※1 基本構想策定庁内検討委員会

基本構想の策定に係る情報の収集・分析や基本構想の策定に伴う市民との意見交換などの調査検討を行うため、平成22年10月に設置した、市職員・監理団体職員で構成する組織(公募含む15人で構成)

※2 総合計画策定推進委員

基本構想・基本計画等の策定・推進に関して助言を受けるために設置している専門委員

(2) 市民会議における基本構想案の概要

市民会議では、以下に掲げたまちづくりの骨格を示す8つの目標と14のテーマについて検討を進めてきました。

図表 市民会議における主な検討テーマ

目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために

【テーマ1 防災・防犯】

将来像：地域で共に助け合う、災害に強く犯罪の少ないまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

市民の尊い生命と貴重な財産を守るため、自らの安全は自らが守る「自助」、地域で共に助け合う「共助」、公共が行う「公助」が連携して、だれもが安全で安心して暮らせるよう、災害に強く犯罪の少ないまちを目指します。

目標2 次代を担う子どもたちを育てるために

【テーマ2 子ども・子育て支援】

将来像：調布の自然の中で、子どもを安心してのびのびと育てられるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもの安全・安心を守るまちの基盤づくりや、地域での見守りネットワークづくりとともに、豊かな調布の自然とふれあえる身近な遊び場づくりにより、子どもが元気に、のびのびと育つまちを目指します。

【テーマ3 学校教育】

将来像：子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

それぞれの個性を伸ばし、主体的に考える力を育むための機会や環境を整備するとともに、学力だけでなく体力や社会性、人間性も養えるような学校づくりと地域や自然、多世代との交流などさまざまな経験ができる環境づくりを進めます。

【テーマ4 青少年の健全育成】

将来像：青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

世代を超えた地域のつながりや、交流の機会を充実させるとともに、学校以外での遊びや体験を通じて人間性や社会性・多様性を身につけ健やかに成長できるまちを目指します。

目標3 みんなで支え合い、安心していきいきと暮らすために

【テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）】

将来像：互いに認め支えあい、安心していきいきとして暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

様々な立場の方へ理解を深め、地域での高齢者・障害者の見守り・サポートを促すことにより、高齢者・障害者が孤立せずに、いきいきとした生活を送ることのできるまちを目指します。

目標4 健康で身近な学びと交流のあるまちをつくるために

【テーマ6 健康づくり】

将来像：生涯にわたって、心身ともに健康で笑顔あふれる生活を送ることのできるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

積極的に健康づくり活動に取り組むことで、笑顔があふれ、生涯にわたって心身ともに健康で、自分らしい生活を送ることができるまちを目指します。

【テーマ7 スポーツ・レクリエーション】

将来像：誰もが気軽にスポーツを楽しみ、集うことにより、市民みんなが元気になるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や利用者の声を反映した施設の整備を進めるとともに、地域に根付いた活動を支援することにより、市民一人ひとりがスポーツ活動をより身近に感じることができるまちを目指します。また、調布ゆかりのチームや選手を、市を挙げて応援する体制を整えることにより、市民が一丸となってスポーツを楽しむまちを目指します。

【テーマ8 生涯学習】

将来像：出会うや交流の輪が広がり、すべての世代がいきいきと暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や関連団体との連携強化、情報発信の強化など、一人ひとりの生涯学習活動の輪を広げるための支援を行い、生涯学習の気運を高めることにより、すべての人が生きがいを持って学び暮らせるまちを目指します。

目標5 地域のつながりの中で、ぬくもりある暮らしをおくるために

【テーマ9 地域コミュニティ】

将来像：地域のつながりや連帯感を大切に、誰もがぬくもりに触れ合えるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域に開かれた場づくりや顔が見えるネットワークづくりを進めることにより、一人ひとりが地域コミュニティの大切さを理解し、地域すべての人がコミュニティ活動に参加している、地域のつながりや連帯感が強く、ぬくもりに触れ合えるまちを目指します。

目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために

【テーマ10 産業・観光振興】

将来像：みんなが愛着と誇りをもてる“これぞ調布”という地域の特色がきらりと光るまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

商店街の活性化や企業誘致，都市農業の振興，地域資源の発掘・活用など，地域の特色を生かしたまちづくりを進めるとともに，「これぞ調布」というまちの資源を磨き上げることにより，市民が地元へ愛着を持ち，観光客からもまた訪れたいと思われるまちを目指します。

【テーマ11 芸術・歴史文化】

将来像：調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ，新たな世代に受け継がれていくまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

映画など独自の芸術・文化や各地域の歴史的資源のさらなる活用を図り，市民の誇りと愛着を醸成するとともに，子どもの頃から芸術・歴史文化に触れる機会を創出することにより，未来を担う新たな世代に調布らしい芸術・歴史文化が伝承されるまちを目指します。

目標7 快適で利便性の高いまちをつくるために

【テーマ12 市街地整備（住環境・街並み・景観）】

将来像：多世代がいつまでも快適に暮らせる，くつろぎとふれあいに満ちたまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもからお年寄りまで，だれもが気軽に憩える住環境を目指すとともに，まちに誇りと愛着を持って活気と魅力あるまちづくりを進めることにより，多様な世代がいつまでもくつろぎとふれあいに満ちた空間の中で，快適に暮らし続けることができるまちを目指します。

【テーマ13 道路・交通】

将来像：だれもが便利で安全・安心に移動できる，良好な交通環境のあるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域の特性を踏まえつつ，幹線道路や生活道路の整備充実を図り，歩行者と自転車利用者の双方にとって快適な通行空間を確保するとともに，公共交通及び駅周辺の交通利便性の向上などを総合的に進めることによって，だれもが便利で安全・安心に移動できる良好な交通環境が整ったまちを目指します。

目標8 環境にやさしく，自然と共生するために

【テーマ14 水・緑・環境保全】

将来像：豊かな自然や身近な緑を大切に守り，育て，人と自然が共に生きるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

豊かでうるおいのある自然環境を将来世代に継承するため，身近な緑を大切に守り，育てるとともに，市民・事業者・行政などが連携し，各主体の役割に応じた環境にやさしい取組を進めることによって，人と自然が共生するまちを目指します。

3 調査の内容（設問の構成）

本調査は、「今後のまちづくりの方向性」、「総合計画策定への参加」の2区分から構成されており、具体的な設問構成は以下の通りです。

図表 設問の構成

問	内容
「今後のまちづくりの方向性」について	
27	「テーマ14 防災・防犯」の将来像について、どのように感じますか。
28	「テーマ14 防災・防犯」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
1	「テーマ1 子ども・子育て支援」の将来像について、どのように感じますか。
2	「テーマ1 子ども・子育て支援」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
3	「テーマ2 学校教育」の将来像について、どのように感じますか。
4	「テーマ2 学校教育」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
5	「テーマ3 青少年の健全育成」の将来像について、どのように感じますか。
6	「テーマ3 青少年の健全育成」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
9	「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」の将来像について、どのように感じますか。
10	「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
7	「テーマ4 健康づくり」の将来像について、どのように感じますか。
8	「テーマ4 健康づくり」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
17	「テーマ9 スポーツ・レクリエーション」の将来像について、どのように感じますか。
18	「テーマ9 スポーツ・レクリエーション」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
15	「テーマ8 生涯学習」の将来像について、どのように感じますか。
16	「テーマ8 生涯学習」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
19	「テーマ10 地域コミュニティ」の将来像について、どのように感じますか。
20	「テーマ10 地域コミュニティ」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
11	「テーマ6 産業・観光振興」の将来像について、どのように感じますか。
12	「テーマ6 産業・観光振興」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
13	「テーマ7 芸術・歴史文化」の将来像について、どのように感じますか。
14	「テーマ7 芸術・歴史文化」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
21	「テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」の将来像について、どのように感じますか。
22	「テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
23	「テーマ12 道路・交通」の将来像について、どのように感じますか。
24	「テーマ12 道路・交通」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
25	「テーマ13 水・緑・環境保全」の将来像について、どのように感じますか。
26	「テーマ13 水・緑・環境保全」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
「総合計画策定への参加」について	
29	今後、調布市の新たな総合計画づくりに参加したいと思いますか。
30	どのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。
31	参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。

4 調査方法及び調査期間

(1) 調査対象者

市内に在住する満 18 歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域構成に合わせて、約 3,000 人を無作為に抽出しました。

(2) 配布と回収

郵送による調査票の配布、返信用封筒による回収を行いました。

(3) 調査期間

平成 24 年 2 月 22 日 (水) ~ 平成 24 年 3 月 7 日 (水)

5 回収の結果

調査票の回収率は 44.5% であり、各属性の回収結果は以下の通りです。

図表 属性ごとの回収結果

属性		対象者数 ^{注1)}		配布数 ^{注2)}		回収数		回収率 (%) (b/a)
		実数 (人)	構成比 (%)	実数(票) (a)	構成比 (%)	実数(票) (b)	構成比 (%)	
総 数		185,431	100.0	2,995	100.0	1,332	100.0	44.5
性別	男性	91,110	49.1	1,476	49.3	511	38.4	34.6
	女性	94,321	50.9	1,519	50.7	798	59.9	52.5
	無回答	—	—	—	—	23	1.7	—
年 齢	18~19 歳	3,648	2.0	59	2.0	10	0.8	16.9
	20~29 歳	27,990	15.1	445	14.9	117	8.8	26.3
	30~39 歳	37,157	20.0	599	20.0	181	13.6	30.2
	40~49 歳	35,792	19.3	583	19.5	269	20.2	46.1
	50~59 歳	24,036	13.0	390	13.0	205	15.4	52.6
	60~69 歳	25,649	13.8	414	13.8	242	18.2	58.5
	70 歳以上	31,159	16.8	505	16.9	296	22.2	58.6
	無回答	—	—	—	—	12	0.9	—
地 域	東部地域	45,583	24.6	739	24.7	321	24.1	43.4
	北部地域	39,657	21.4	639	21.3	290	21.8	45.4
	南部地域 (中心市街地)	29,024	15.7	468	15.6	177	13.3	37.8
	南部地域 (中心市街地以外)	37,683	20.3	603	20.1	275	20.6	45.6
	西部地域	33,484	18.1	546	18.2	242	18.2	44.3
		無回答	—	—	—	—	27	2.0

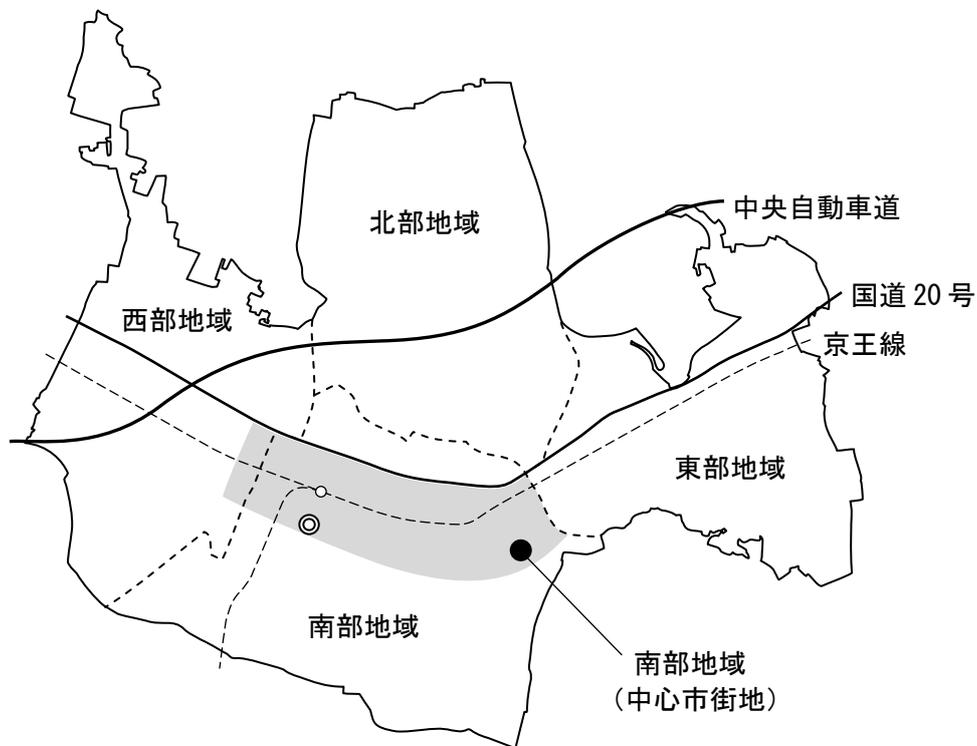
注1)平成 24 年 1 月 1 日現在の 18 歳以上の住民基本台帳登録者数。

2)宛名不明等の理由により、差し戻された分を除いた値。

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下の通りです。

図表 各地域の位置と対象となる町丁目



1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
菊野台1～3丁目 東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目	佐須町1～5丁目 柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目 深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目	小島町1～2丁目 布田1～4丁目 国領町1～5・8丁目	小島町3丁目 布田5～6丁目 国領町6～7丁目 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目	飛田給1～3丁目 上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目 野水1～2丁目 西町

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

- 本調査では、回答全体（n=1,332）をまとめて集計した「単純集計」のほか、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
- 上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) 報告書における設問（テーマ）の掲載順

- 本調査を実施（開始）した平成24年2月上旬時点と、その後、市民会議が基本構想案（市民会議提案書）を取りまとめた平成24年3月末時点では、8つの目標及び14のテーマの掲載順が異なります。
- 本報告書では、市民会議から平成24年3月28日に提案された調布市基本構想案（市民会議提案書）に掲載された8つの目標及び14のテーマの順に合わせて編集しています。

(4) 自由意見

- 自由意見は、市民会議で検討した14のテーマに基づいて分類しています。
- 複数分野について言及している場合は、適宜分離した上で、該当する項目に分割して掲載しています。

(5) その他

- 本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。
- 本文において、数値が判別しやすいよう、マイナスは「▲」で表記しています。
- 一般的に、母集団が2万人以上の場合、統計上、無限母集団として捉えるため、2,000件程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映していると言われていています。本調査では、母集団は2万人以上の無限母集団であり、対象者数約3,000人（回収数約1,300件）は調査結果を見る上で、統計上有効な数値であると考えられます。
- ただし、標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、以下の公式によって算出されます。

$$\text{標本比率の標準誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \frac{P(1-P)}{n}}$$

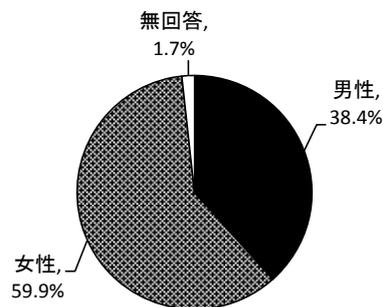
※kは、信頼度に対する標準正規分布 t の大きさを表す。信頼度が95%のとき、kは1.96。

第2章 調査結果

1 回答者の属性

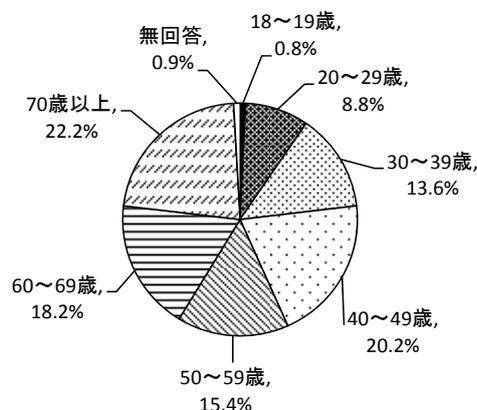
(1) 性別

○回答者の性別は、男性が 38.4%、女性が 59.9%であり、女性が男性を 21.5 ポイント上回っています。



(2) 年齢層

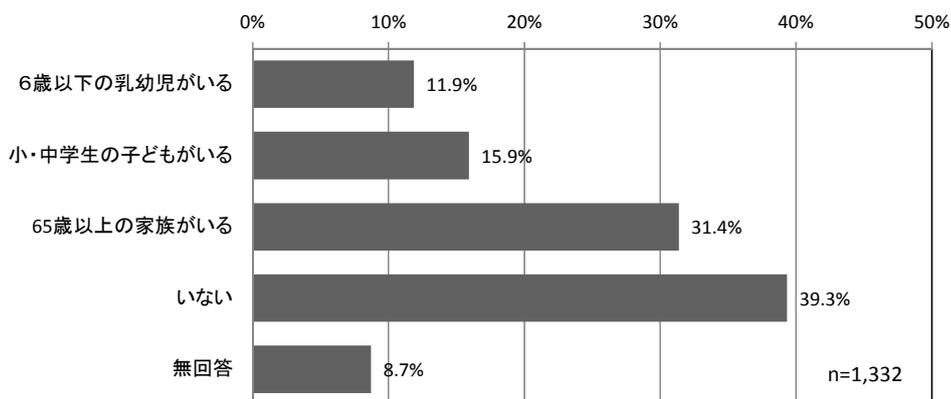
○回答者の年齢層は、平成 24 年 1 月 1 日現在の調布市の人口構成と比べて、40 歳未満は人口構成より少なく、40 歳以上は人口構成より多くなっています。



(3) 子ども又は高齢者の同居の有無

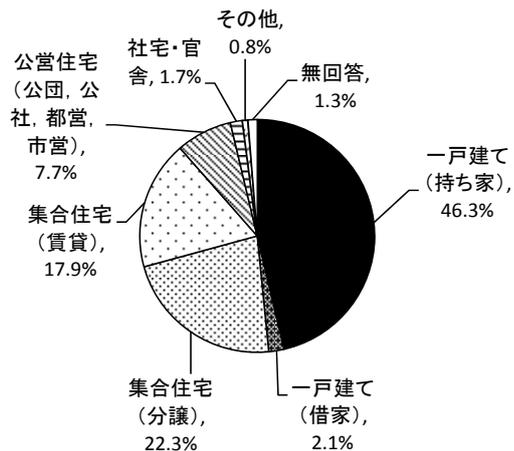
○回答者が同居する中学生以下の子ども又は 65 歳以上の高齢者は、「いない」が 39.3%で最も多く、次いで「65 歳以上の家族がいる」の 31.4%の順となっています。

○中学生以下の子どもがいる回答者は 27.8%（「6 歳以下の乳幼児がいる」+「小・中学生の子どもがいる」）で約 3 割を占めています。



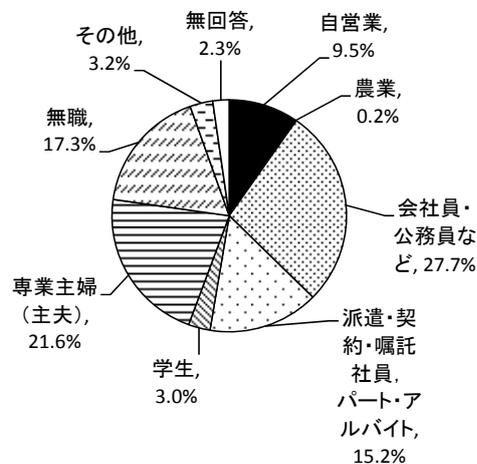
(4) 居住する住居形態

○回答者の住居形態は、「一戸建て（持ち家）」が46.3%で最も多く、次いで「集合住宅（分譲）」の22.3%の順となっています。



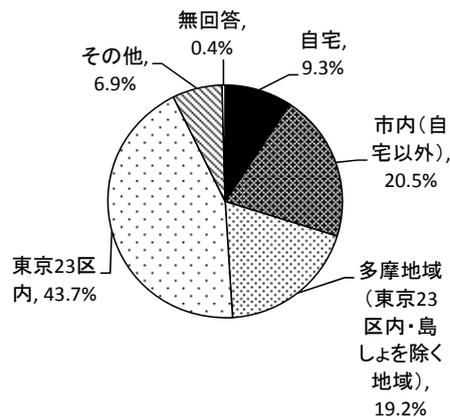
(5) 職業

○回答者の職業は、「会社員・公務員など」が27.7%で最も多く、次いで「専業主婦（主夫）」の21.6%の順となっています。



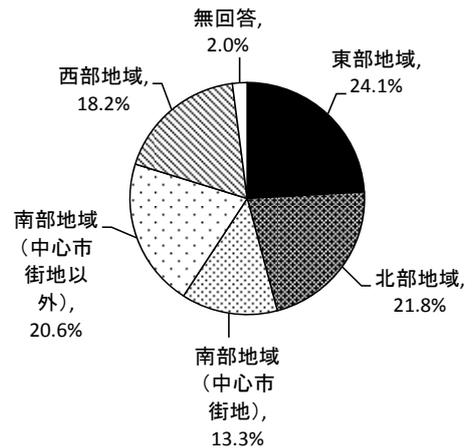
(6) 通勤・通学先

○回答者の通勤・通学先は「東京23区内」が43.7%で最も多く、次いで「市内（自宅以外）」の20.5%の順となっています。



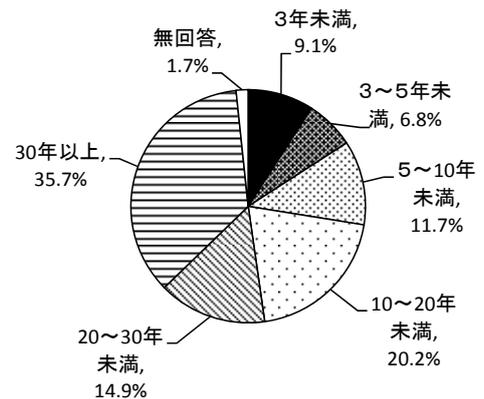
(7) 現在の居住地域

○回答者の居住地域は、平成 23 年 10 月 1 日現在の調布市の人口構成とほぼ同様となっており、「東部地域」が 24.1%で最も多く、次いで「北部地域」の 21.8%の順となっています。



(8) 居住年数

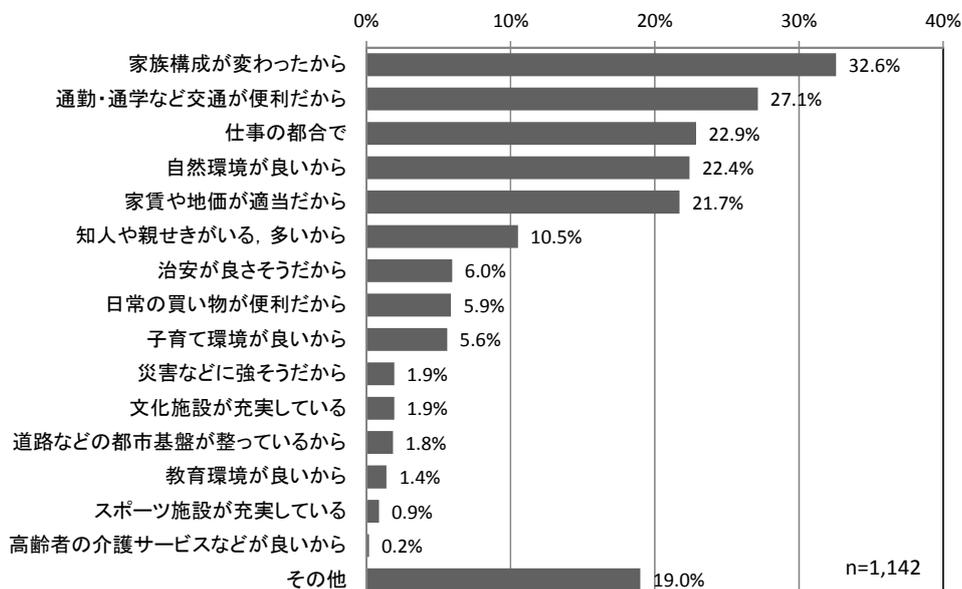
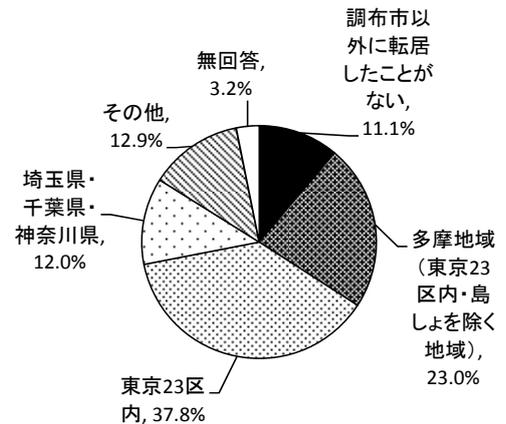
○回答者の居住年数は、「30年以上」が 35.7%で最も多く、次いで「10～20年未満」の 20.2%の順となっています。



(9) 以前の居住地域と転入してきた理由

○回答者の以前の居住地域は、「東京 23 区内」が 37.8%で最も多く、次いで「多摩地域」の 23.0%の順となっています。

○このうち、調布市に転入してきた理由は、「家族構成が変わったから」が 32.6%で最も多く、次いで「通勤・通学など交通が便利だから」の 27.1%の順となっています。

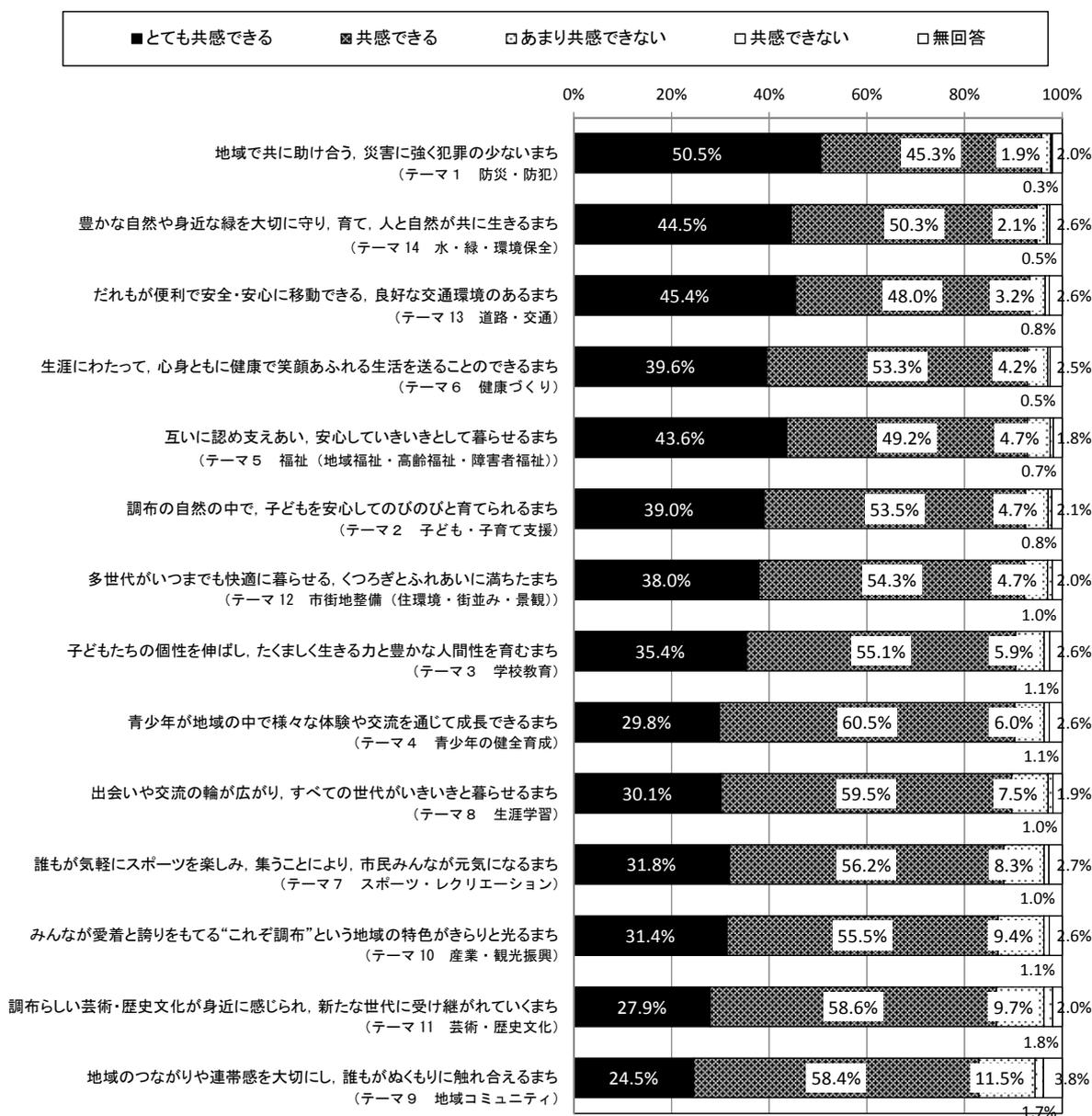


2 今後のまちづくりの方向性に対する共感性・優先度

(1) 14テーマの将来像に対する共感性

- 「とても共感できる」と「共感できる」の合計は、「地域で共に助け合う，災害に強く犯罪の少ないまち（防災・防犯）」が95.8%で最も多く，次いで「豊かな自然や身近な緑を大切に守り，育て，人と自然が共に生きるまち（水・緑・環境保全）」の94.8%，「だれもが便利で安全・安心に移動できる，良好な交通環境のあるまち（道路・交通）」の93.4%の順となっています。
- 全14テーマのうち，「青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち（青少年の健全育成）」以上の9テーマにおいて，共感性が9割を上回っており，最も共感性が低い「地域のつながりや連帯感を大切に，誰もがぬくもりに触れ合えるまち（地域コミュニティ）」でも83.0%で8割を上回っています。

図表 14テーマの将来像に対する共感性の割合
（「とても共感できる」+「共感できる」が高い順）



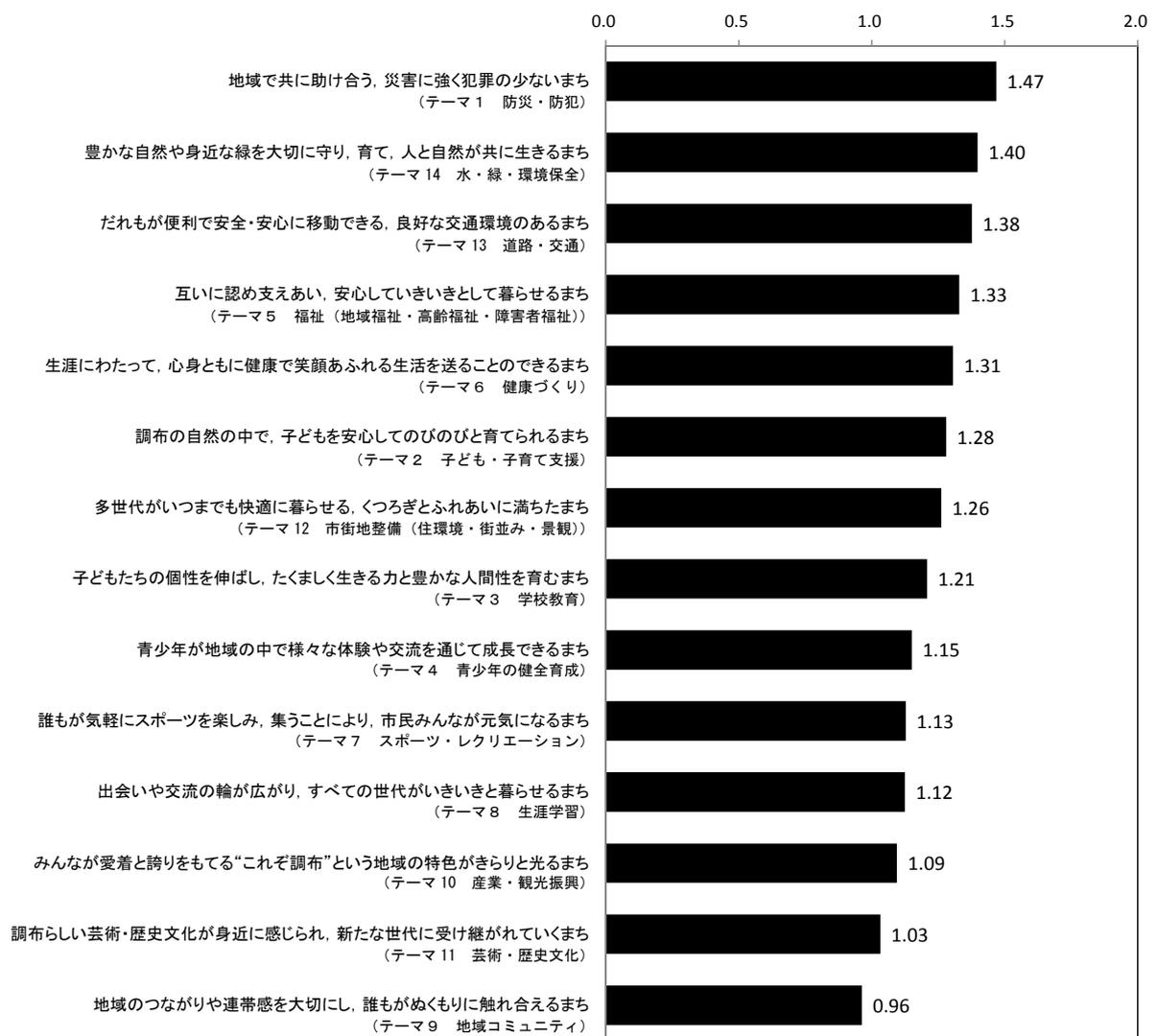
○14 テーマの将来像に対する共感性平均スコア※を見ると、「地域で共に助け合う、災害に強く犯罪の少ないまち（防災・防犯）」が1.47で最も高く、平成23年3月の東日本大震災を契機に、防災・防犯に対する市民の関心が高まっていることがうかがえます。

○続いて、「豊かな自然や身近な緑を大切に守り、育て、人と自然が共に生きるまち（水・緑・環境保全）」の1.40、「だれもが便利で安全・安心に移動できる、良好な交通環境のあるまち（道路・交通）」の1.38の順になっています。

※共感性平均スコア

$$\left(\text{「とても共感できる」} \times 2 + \text{「共感できる」} \times 1 + \text{「あまり共感できない」} \times \blacktriangle 1 + \text{「共感できない」} \times \blacktriangle 2 \right) \div (\text{回答者数} - \text{無回答})$$

図表 14 テーマの将来像に対する共感性の平均スコア



(2) 各テーマに対する共感度・優先度

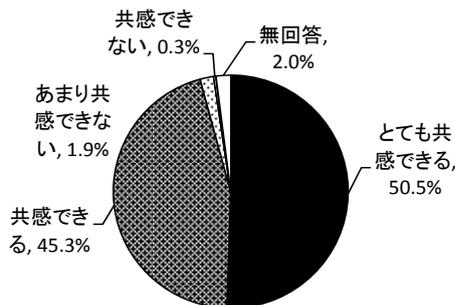
① 防災・防犯

将来像：地域で共に助け合う，災害に強く犯罪の少ないまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 市民の尊い生命と貴重な財産を守るため，自らの安全は自らが守る「自助」，地域で共に助け合う「共助」，公共が行う「公助」が連携して，だれもが安全で安心して暮らせるよう，災害に強く犯罪の少ないまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「防災・防犯」の将来像に対する共感度は95.8%で，全14テーマのうち最も高くなっています。
- 年齢層別にみると，「30～39歳」が97.2%で最も多く，次いで「40～49歳」の96.7%，「60～69歳」の96.3%が続いており，最も低い「18～19歳」でも90.0%で，9割を上回っています。

図表 全体の共感度



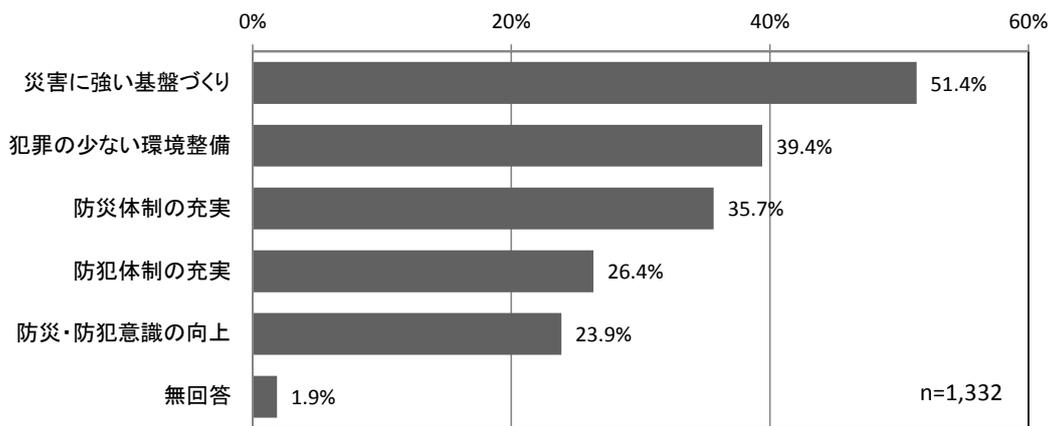
図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3. あまり共感できない	4. 共感できない	
		1. とても共感できる	2. 共感できる			
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	95.7%	45.3%	50.4%	3.4%	0.0%
	3. 30～39歳 (n=181)	97.2%	54.1%	43.1%	1.1%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	96.7%	48.3%	48.3%	1.9%	0.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	95.6%	47.8%	47.8%	1.5%	0.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	96.3%	50.4%	45.9%	2.1%	0.0%
	7. 70歳以上 (n=296)	94.9%	53.0%	41.9%	1.7%	0.0%

<優先すべき取組>

- 防災・防犯においてニーズが高い取組は、「災害に強い基盤づくり」が 51.4%で最も多く、半数を上回っています。
- 次いで、「犯罪の少ない環境整備」の 39.4%の順となっています。
- 性別にみると、男女ともに「災害に強い基盤づくり」が最も多く、女性(53.5%)が男性(47.9%)を 5.6 ポイント上回っています。
- 年齢層別にみると、18～19 歳は「防犯体制の充実」、20 歳以上は「災害に強い基盤づくり」が最も多くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 性別の優先すべき取組

		1. 災害に強い基盤づくり	2. 防災体制の充実	3. 犯罪の少ない環境整備	4. 防犯体制の充実	5. 防災・防犯意識の向上
性別	1. 男性 (n=511)	47.9%	33.9%	38.9%	28.8%	23.9%
	2. 女性 (n=798)	53.5%	37.0%	39.8%	25.3%	23.4%

図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 災害に強い基盤づくり	2. 防災体制の充実	3. 犯罪の少ない環境整備	4. 防犯体制の充実	5. 防災・防犯意識の向上
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	49.6%	32.5%	42.7%	26.5%	24.8%
	3. 30～39歳 (n=181)	50.3%	39.2%	40.3%	25.4%	25.4%
	4. 40～49歳 (n=269)	52.4%	33.8%	37.5%	29.0%	21.6%
	5. 50～59歳 (n=205)	49.3%	46.3%	36.1%	22.4%	21.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	55.4%	30.6%	38.0%	30.2%	24.0%
	7. 70歳以上 (n=296)	51.0%	33.4%	42.9%	24.3%	27.0%

<意見・提案等>

- 防災・防犯の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「地域の見守り強化」、「日常の心がけの重要性」、「情報発信の強化」などが挙げられています。

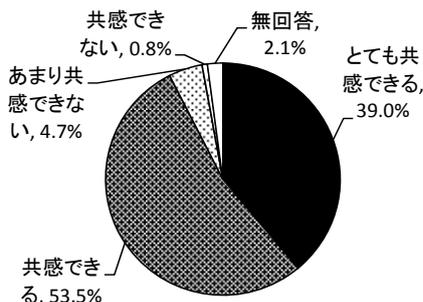
② 子ども・子育て支援

将来像：調布の自然の中で、子どもを安心してのびのびと育てられるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 子どもの安全・安心を守るまちの基盤づくりや、地域での見守りネットワークづくりとともに、豊かな調布の自然とふれあえる身近な遊び場づくりにより、子どもが元気に、のびのびと育つまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「子ども・子育て支援」の将来像に対する共感度（「とても共感できる」+「共感できる」）は92.5%で、全14テーマのうち6番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「70歳以上」が94.9%で最も多く、次いで「30～39歳」の94.5%、「40～49歳」の92.9%、「20～29歳」の92.3%が続いており、子育て世代である20～30歳代の共感度は概ね高くなっています。
- 「6歳以下の乳幼児（98.1%）」や「小・中学生の子ども（95.8%）」がいる回答者の共感度は9割を大きく上回っています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	92.3%	34.2%	58.1%	6.0%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	94.5%	44.2%	50.3%	4.4%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	92.9%	39.8%	53.2%	4.1%	1.1%
	5. 50～59歳 (n=205)	90.7%	36.1%	54.6%	6.8%	1.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	90.1%	36.4%	53.7%	5.8%	0.4%
	7. 70歳以上 (n=296)	94.9%	40.5%	54.4%	2.4%	0.0%

注)表中の割合は「無回答」を含む値(以下、同様)

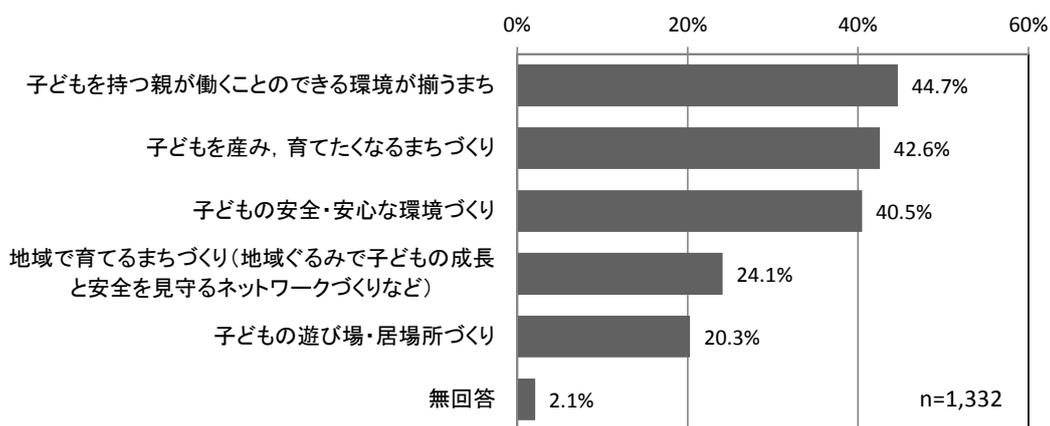
図表 同居家族別の共感性

		とても共感できる + 共感できる		3. あまり共感できない	4. 共感できない	
		1. とても共感できる	2. 共感できる			
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	98.1%	51.9%	46.2%	1.9%	0.0%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	95.8%	46.2%	49.5%	2.4%	0.0%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	93.5%	37.6%	56.0%	3.6%	0.5%
	4. いない (n=524)	91.0%	36.3%	54.8%	6.3%	1.3%

<優先すべき取組>

- 子ども・子育て支援においてニーズが高い取組は、「子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち」が44.7%で最も多く、次いで「子どもを産み、育てたくなるまちづくり」の42.6%の順となっています。
- 特に、「6歳以下の乳幼児がいる」回答者は、「子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち」が53.2%で半数を上回っています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 同居家族別の優先すべき取組

		1.	2.	3.	4.	5.
		子どもを産み、育てたくなるまちづくり	子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち	地域で育てるまちづくり(地域ぐるみで子どもの成長と安全を見守るネットワークづくりなど)	子どもの安全・安心な環境づくり	子どもの遊び場・居場所づくり
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	47.5%	53.2%	19.6%	37.3%	31.0%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	36.3%	35.8%	26.4%	47.6%	32.1%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	43.1%	45.7%	23.9%	43.8%	17.7%
	4. いない (n=524)	44.3%	48.1%	23.7%	34.9%	17.0%

<意見・提案等>

- 子ども・子育て支援の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「待機児童問題の解消」、「公園や遊び場の確保」、「虐待やいじめの解消」などが挙げられています。

③ 学校教育

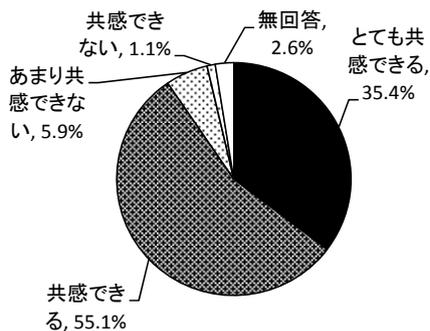
将来像：子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

それぞれの個性を伸ばし、主体的に考える力を育むための機会や環境を整備するとともに、学力だけでなく体力や社会性、人間性も養えるような学校づくりと地域や自然、多世代との交流などさまざまな経験ができる環境づくりを進めます。

<将来像に対する共感度>

- 「学校教育」の将来像に対する共感度は90.5%で、全14テーマのうち8番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「70歳以上」が93.6%で最も多く、次いで「30～39歳」の91.7%、「50～59歳」の91.2%の順となっています。
- 「小・中学生の子どもがいる」回答者の共感度は92.5%で、全体（90.5%）より2.0ポイント上回っているものの、「65歳以上の家族」や「6歳以下の乳幼児」がいる回答者より低くなっています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	88.9%	24.8%	64.1%	10.3%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	91.7%	38.1%	53.6%	7.2%	0.0%
	4. 40～49歳 (n=269)	87.7%	33.8%	53.9%	8.6%	1.5%
	5. 50～59歳 (n=205)	91.2%	36.6%	54.6%	6.3%	1.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	90.1%	35.1%	55.0%	5.0%	1.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	93.6%	38.2%	55.4%	1.4%	1.0%

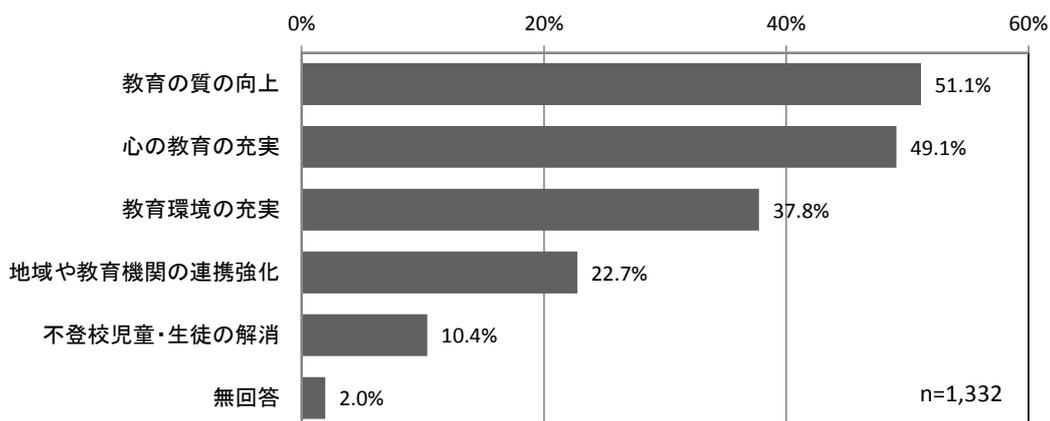
図表 同居家族別の共感度

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	94.3%	40.5%	53.8%	5.7%	0.0%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	92.5%	41.5%	50.9%	5.7%	0.0%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	92.8%	36.6%	56.2%	4.1%	0.5%
	4. いない (n=524)	89.1%	33.4%	55.7%	7.1%	2.1%

<優先すべき取組>

- 学校教育においてニーズが高い取組は、「教育の質の向上」が51.1%で最も多く、半数を上回っています。
- 次いで、「心の教育の充実」の49.1%の順となっています。
- 「小・中学生の子どもがいる」回答者は、「教育の質の向上」が59.4%で最も多く、約6割を占めており、次いで「心の教育の充実」の43.9%と「教育環境の充実」が43.4%でほぼ同様の割合となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 同居家族別の優先すべき取組

		1. 教育環境の充実	2. 教育の質の向上	3. 地域や教育機関の連携強化	4. 不登校児童・生徒の解消	5. 心の教育の充実
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	53.8%	57.6%	25.3%	3.2%	39.2%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	43.4%	59.4%	23.6%	5.7%	43.9%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	37.3%	49.5%	22.7%	12.2%	51.2%
	4. いない (n=524)	34.5%	49.4%	20.4%	12.2%	51.9%

<意見・提案等>

- 学校教育の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「個性をのばす教育の重要性」、「ゆとり教育に対する懸念」、「教員の質の向上」などが挙げられています。

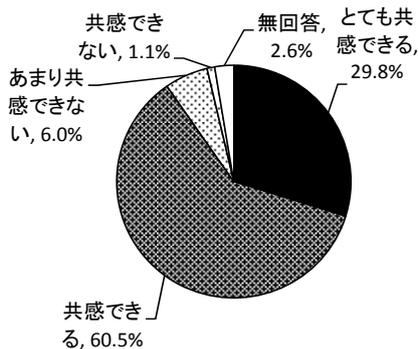
④ 青少年の健全育成

将来像：青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 世代を超えた地域のつながりや、交流の機会を充実させるとともに、学校以外での遊びや体験を通じて人間性や社会性・多様性を身につけ健やかに成長できるまちを目指します。

<将来像に対する共感性>

- 「青少年の健全育成」の将来像に対する共感性は90.3%で、全14テーマのうち9番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「20～29歳」が92.3%で最も多く、青少年と年代が近い層の共感性が高くなっている点が特徴的です。
- 次いで「70歳以上」の91.9%、「30～39歳」の90.6%の順となっています。
- 「小・中学生の子どもがいる」回答者の共感性は92.5%で、全体（90.3%）より2.2ポイント上回っているものの、「6歳以下の乳幼児」や「65歳以上の家族」がいる回答者より低くなっています。

図表 全体の共感性



図表 年齢層別の共感性

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	80.0%	20.0%	60.0%	10.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	92.3%	29.9%	62.4%	5.1%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	90.6%	32.6%	58.0%	7.2%	1.1%
	4. 40～49歳 (n=269)	89.6%	28.3%	61.3%	7.8%	1.1%
	5. 50～59歳 (n=205)	89.3%	26.8%	62.4%	5.9%	1.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	89.7%	28.5%	61.2%	5.0%	1.7%
	7. 70歳以上 (n=296)	91.9%	32.1%	59.8%	5.1%	0.3%

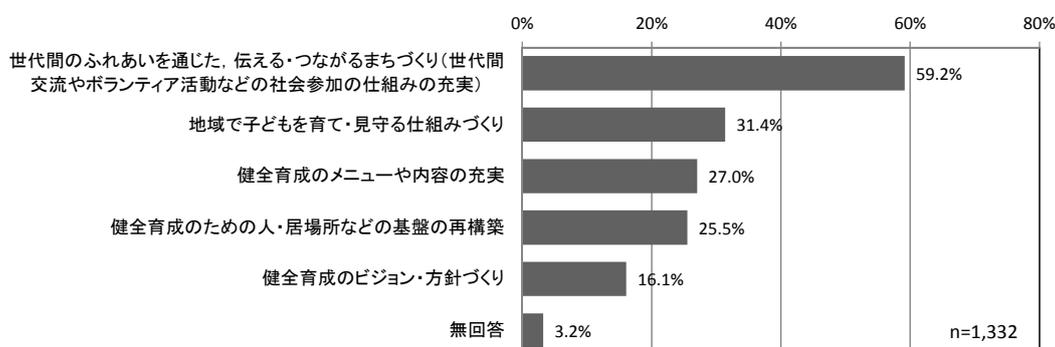
図表 同居家族別の共感度

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	94.3%	39.2%	55.1%	2.5%	1.3%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	92.5%	34.0%	58.5%	4.2%	0.9%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	93.1%	28.9%	64.1%	4.3%	0.2%
	4. いない (n=524)	87.8%	27.5%	60.3%	8.6%	1.5%

<優先すべき取組>

- 青少年の健全育成においてニーズが高い取組は、「世代間のふれあいを通じた、伝える・つながるまちづくり（世代間交流やボランティア活動などの社会参加の仕組みの充実）」が 59.2% で最も多く、半数を上回っています。
- 次いで、「地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり」の 31.4%の順となっています。
- 「小・中学生の子どもがいる」回答者は、「世代間のふれあいを通じた、伝える・つながるまちづくり（世代間交流やボランティア活動などの社会参加の仕組みの充実）」が 54.7%で最も多くなっています。
- 2番目に多い「地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり」は 38.7%で、全体（31.4%）より 7.3ポイント上回っています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 同居家族別の優先すべき取組

		1. 健全育成のビジョン・方針づくり	2. 健全育成のメニューや内容の充実	3. 世代間のふれあいを通じた、伝える・つながるまちづくり	4. 地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり	5. 健全育成のための人・居場所などの基盤の再構築
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	11.4%	34.2%	50.6%	45.6%	26.6%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	14.2%	28.3%	54.7%	38.7%	27.8%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	19.1%	28.0%	63.4%	28.2%	24.6%
	4. いない (n=524)	16.4%	25.6%	59.5%	28.2%	26.0%

<意見・提案等>

- 青少年の健全育成の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「家族や地域交流の重要性」、「考えて行動できる機会の提供」、「ありがたさを感じたり、困っている人と接する機会の確保」などが挙げられています。

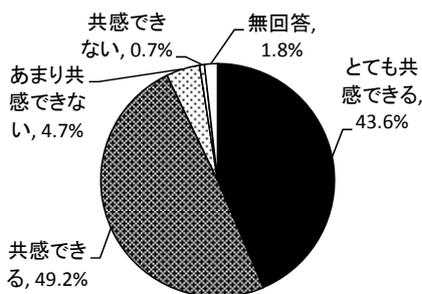
⑤ 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）

将来像：互いに認め支えあい，安心していきいきとして暮らせるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 様々な立場の方へ理解を深め，地域での高齢者・障害者の見守り・サポートを促すことにより，高齢者・障害者が孤立せずに，いきいきとした生活を送ることのできるまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」の将来像に対する共感度は 92.9%で，全 14 テーマのうち5番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると，「40～49歳」が 95.5%で最も多く，次いで「30～39歳」が 93.4%，「60～69歳」が 93.0%の順となっています。
- 「65歳以上の家族がいる」回答者の共感度は 94.3%で，全体（92.9%）より 1.4ポイント上回っているものの，「小・中学生の子どもがいる」がいる回答者より低くなっています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	70.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	89.7%	34.2%	55.6%	9.4%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	93.4%	39.2%	54.1%	2.8%	1.7%
	4. 40～49歳 (n=269)	95.5%	41.6%	53.9%	2.6%	0.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	92.7%	41.0%	51.7%	5.4%	0.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	93.0%	46.3%	46.7%	3.3%	0.4%
	7. 70歳以上 (n=296)	92.6%	50.3%	42.2%	5.7%	0.3%

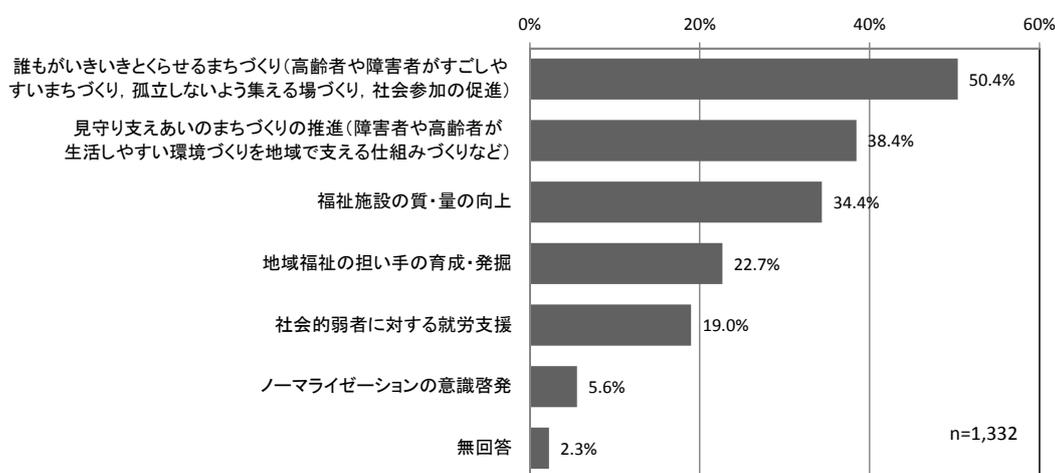
図表 同居家族別の共感度

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	93.0%	41.8%	51.3%	3.2%	0.6%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	95.8%	45.3%	50.5%	2.4%	0.0%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	94.3%	43.3%	51.0%	3.3%	0.2%
	4. いない (n=524)	92.0%	42.9%	49.0%	6.3%	0.8%

<優先すべき取組>

- 福祉においてニーズが高い取組は、「誰もがいきいきとくらせるまちづくり（高齢者や障害者がすごしやすいまちづくり，孤立しないよう集える場づくり，社会参加の促進）」が 50.4%で最も多く，半数を上回っています。
- 次いで、「見守り支えあいのまちづくりの推進（障害者や高齢者が生活しやすい環境づくりを地域で支える仕組みづくりなど）」の 38.4%の順となっています。
- 「65歳以上の家族がいる」回答者は，全体の順位と同様，「誰もがいきいきとくらせるまちづくり（高齢者や障害者がすごしやすいまちづくり，孤立しないよう集える場づくり，社会参加の促進）」が 52.2%で最も多く，次いで，「見守り支えあいのまちづくりの推進（障害者や高齢者が生活しやすい環境づくりを地域で支える仕組みづくりなど）」の 41.4%の順となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 同居家族別の優先すべき取組

同居家族	1. 見守り支えあいのまちづくりの推進(障害者や高齢者が生活しやすい環境づくりを地域で支える仕組みづくりなど)	2. ノーマライゼーションの意識啓発	3. 地域福祉の担い手の育成・発掘	4. 社会的弱者に対する就労支援	5. 誰もがいきいきとくらせるまちづくり(高齢者や障害者がすごしやすいまちづくり, 孤立しないよう集える場づくり, 社会参加の促進)	6. 福祉施設の質・量の向上
1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	35.4%	5.7%	26.6%	20.9%	50.0%	32.3%
2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	35.8%	5.2%	26.9%	21.7%	52.8%	31.1%
3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	41.4%	5.0%	22.5%	16.3%	52.2%	38.0%
4. いない (n=524)	40.8%	5.5%	19.8%	19.3%	49.6%	32.3%

<意見・提案等>

- 福祉の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては，「ボランティアやサポート体制の充実」，「福祉従事者への手厚い支援」，「孤独死への不安」などが挙げられています。

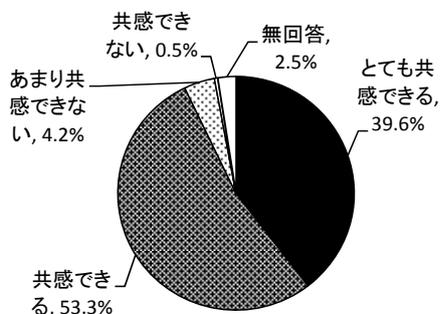
⑥ 健康づくり

将来像：生涯にわたって、心身ともに健康で笑顔あふれる生活を送ることのできるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 積極的に健康づくり活動に取り組むことで、笑顔があふれ、生涯にわたって心身ともに健康で、自分らしい生活を送ることができるまちを目指します。

<将来像に対する共感性>

- 「健康づくり」の将来像に対する共感性は92.9%で、全14テーマのうち4番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「40～49歳」が94.1%で最も多く、次いで「20～29歳」の94.0%、「30～39歳」の93.4%が続いており、20～40歳代の働き盛りの年齢層の共感性が高くなっています。

図表 全体の共感性



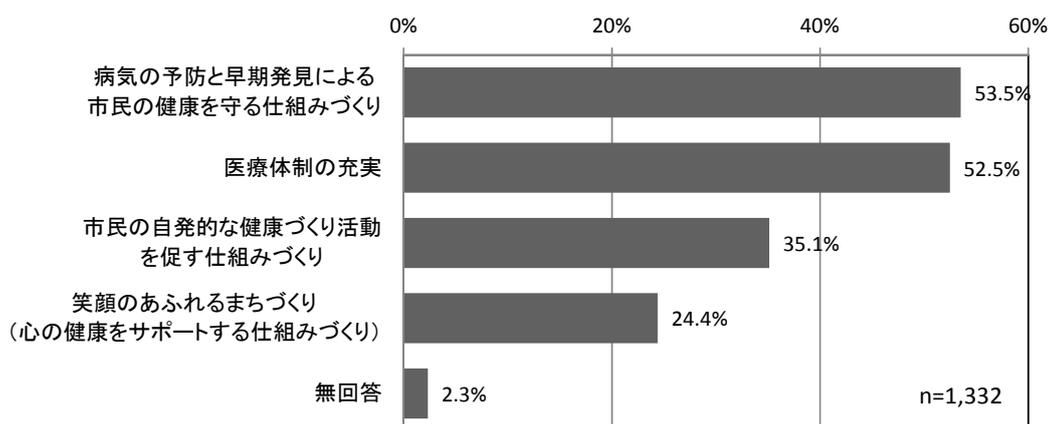
図表 年齢層別の共感性

		とても共感できる + 共感できる		3. あまり共感できない	4. 共感できない	
		1. とても共感できる	2. 共感できる			
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	94.0%	37.6%	56.4%	6.0%	0.0%
	3. 30～39歳 (n=181)	93.4%	37.6%	55.8%	4.4%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	94.1%	35.7%	58.4%	3.7%	0.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	90.7%	35.6%	55.1%	5.4%	0.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	93.0%	43.0%	50.0%	3.7%	0.8%
	7. 70歳以上 (n=296)	92.9%	42.9%	50.0%	3.7%	0.0%

<優先すべき取組>

- 健康づくりにおいてニーズが高い取組は、「病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり」が53.5%、「医療体制の充実」が52.5%で、いずれも半数を上回っています。
- 次いで、「市民の自発的な健康づくり活動を促す仕組みづくり」の35.1%の順となっています。
- 年齢層別にみると、30～49歳及び70歳以上では、「医療体制の充実」が最も多く、次いで「病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり」の順となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 市民の自発的な健康づくり活動を促す仕組みづくり	2. 笑顔のあふれるまちづくり (心の健康をサポートする仕組みづくり)	3. 病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり	4. 医療体制の充実
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	29.1%	23.1%	62.4%	50.4%
	3. 30～39歳 (n=181)	30.9%	24.3%	54.1%	59.7%
	4. 40～49歳 (n=269)	33.8%	23.0%	52.0%	55.8%
	5. 50～59歳 (n=205)	32.7%	24.9%	55.1%	50.2%
	6. 60～69歳 (n=242)	42.1%	24.4%	52.1%	46.3%
	7. 70歳以上 (n=296)	38.2%	24.7%	52.0%	53.7%

<意見・提案等>

- 健康づくりの将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「サークルや社会人向け教室の開催」、「自己責任」、「医療サービスの充実」などが挙げられています。

⑦ スポーツ・レクリエーション

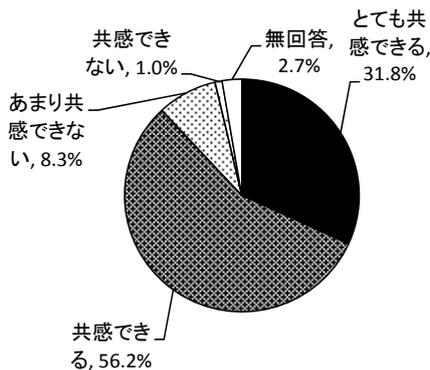
将来像：誰もが気軽にスポーツを楽しみ、集うことにより、市民みんなが元気になるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や利用者の声を反映した施設の整備を進めるとともに、地域に根付いた活動を支援することにより、市民一人ひとりがスポーツ活動をより身近に感じることができるまちを目指します。また、調布ゆかりのチームや選手を、市を挙げて応援する体制を整えることにより、市民が一丸となってスポーツを楽しむまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「スポーツ・レクリエーション」の将来像に対する共感度は88.1%で、全14テーマのうち11番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「20～29歳」が92.3%で最も多く、次いで「30～39歳」の91.2%、「40～49歳」の90.3%が続いており、20～40歳代の共感度が高くなっています。
- 一方、50歳以上では、いずれの年齢層においても9割を下回っています。

図表 全体の共感度



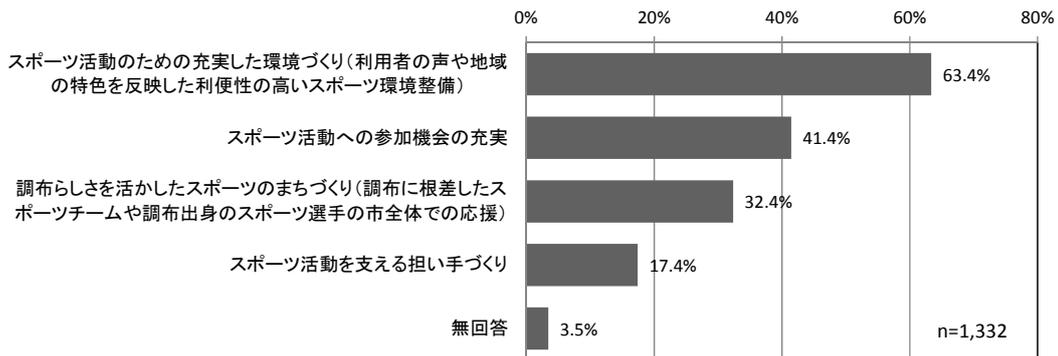
図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	92.3%	31.6%	60.7%	6.8%	0.0%
	3. 30～39歳 (n=181)	91.2%	36.5%	54.7%	6.6%	0.0%
	4. 40～49歳 (n=269)	90.3%	33.8%	56.5%	7.1%	2.6%
	5. 50～59歳 (n=205)	84.4%	30.7%	53.7%	11.7%	1.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	87.2%	27.3%	59.9%	8.7%	1.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	86.1%	30.7%	55.4%	8.8%	0.3%

<優先すべき取組>

- スポーツ・レクリエーションにおいてニーズが高い取組は、「スポーツ活動のための充実した環境づくり（利用者の声や地域の特色を反映した利便性の高いスポーツ環境整備）」が63.4%で最も多く、6割を上回っています。
- 次いで、「スポーツ活動への参加機会の充実」の41.4%の順となっています。
- 地域別にみると、いずれの地域も「スポーツ活動のための充実した環境づくり」が最も多く、特に西部地域（66.9%）や南部地域の中心市街地（64.4%）が多くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 地域別の優先すべき取組

		1. スポーツ活動のための充実した環境づくり	2. スポーツ活動への参加機会の充実	3. スポーツ活動を支える担い手づくり	4. 調布らしさを活かしたスポーツのまちづくり
地域	1. 東部地域 (n=321)	63.2%	43.9%	16.2%	32.1%
	2. 北部地域 (n=290)	62.1%	43.1%	17.6%	31.7%
	3. 南部地域 (中心市街地) (n=177)	64.4%	43.5%	15.8%	34.5%
	4. 南部地域 (中心市街地以外) (n=275)	63.6%	38.5%	19.6%	32.7%
	5. 西部地域 (n=242)	66.9%	38.8%	16.5%	31.0%

<意見・提案等>

- スポーツ・レクリエーションの将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「参加機会の充実」、「味の素スタジアムの活用」、「指導者の育成」などが挙げられています。

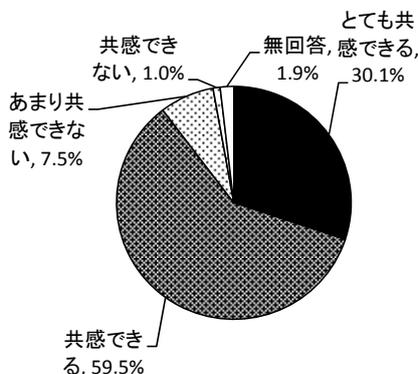
⑧ 生涯学習

将来像：出会いや交流の輪が広がり、すべての世代がいきいきと暮らせるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 既存施設の有効活用や関連団体との連携強化、情報発信の強化など、一人ひとりの生涯学習活動の輪を広げるための支援を行い、生涯学習の気運を高めることにより、すべての人が生きがいを持って学び暮らせるまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「生涯学習」の将来像に対する共感度は89.6%で、全14テーマのうち10番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「30～39歳」が92.8%で最も多く、次いで「70歳以上」の91.2%、「40～49歳」の90.7%が9割を上回っています。

図表 全体の共感度



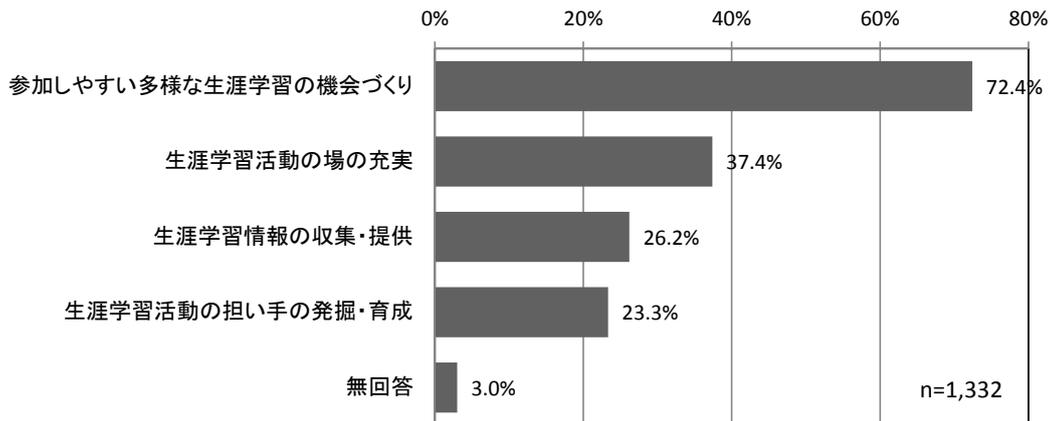
図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる	1. とても共感できる	2. 共感できる	3. あまり共感できない	4. 共感できない
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	86.3%	24.8%	61.5%	13.7%	0.0%
	3. 30～39歳 (n=181)	92.8%	27.6%	65.2%	6.6%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	90.7%	29.7%	61.0%	7.1%	1.5%
	5. 50～59歳 (n=205)	86.3%	27.8%	58.5%	10.2%	0.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	89.3%	35.5%	53.7%	5.8%	1.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	91.2%	30.7%	60.5%	5.4%	1.4%

<優先すべき取組>

- 生涯学習においてニーズが高い取組は、「参加しやすい多様な生涯学習の機会づくり」が72.4%で最も多く、7割を上回っています。
- 次いで、「生涯学習活動の場の充実」の37.4%の順となっています。
- 年齢層別にみると、いずれの年齢層も「参加しやすい多様な生涯学習の機会づくり」が最も多く、次いで、18～19歳及び20歳代では「生涯学習情報の収集・提供」、30歳以上では「生涯学習活動の場の充実」の順となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 参加しやすい多様な生涯学習の機会づくり	2. 生涯学習活動の場の充実	3. 生涯学習情報の収集・提供	4. 生涯学習活動の担い手の発掘・育成
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	60.0%	10.0%	50.0%	20.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	64.1%	34.2%	43.6%	18.8%
	3. 30～39歳 (n=181)	66.9%	44.8%	28.2%	19.3%
	4. 40～49歳 (n=269)	72.1%	42.0%	24.2%	19.3%
	5. 50～59歳 (n=205)	74.6%	37.6%	20.0%	23.4%
	6. 60～69歳 (n=242)	76.0%	31.8%	28.1%	25.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	75.7%	36.1%	22.6%	29.1%

<意見・提案等>

- 生涯学習の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「場所の確保」、「情報発信の充実」などの要望がある一方、「実態が分からない」という声も多く挙げられています。

⑨ 地域コミュニティ

将来像：地域のつながりや連帯感を大切にし、誰もがぬくもりに触れ合えるまち

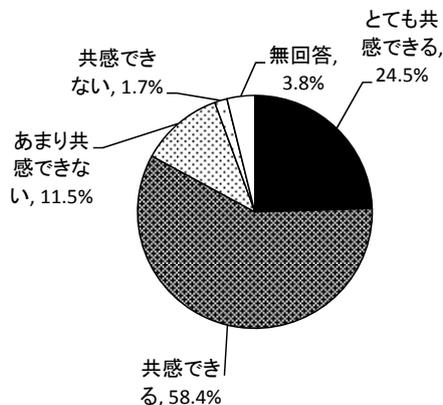
《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域に開かれた場づくりや顔が見えるネットワークづくりを進めることにより、一人ひとりが地域コミュニティの大切さを理解し、地域すべての人がコミュニティ活動に参加している、地域のつながりや連帯感が強く、ぬくもりに触れ合えるまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「地域コミュニティ」の将来像に対する共感度は83.0%で、全14テーマのうち最も低くなっています。
- 年齢層別にみると、「60～69歳」が86.4%で最も多く、次いで「30～39歳」の85.6%、「70歳以上」の83.8%の順となっています。
- 地域別にみると、「北部地域」が85.2%で最も多く、次いで「南部地域（中心市街地以外）」の84.0%、「西部地域」の82.6%の順となっています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	70.0%	10.0%	60.0%	0.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	80.3%	22.2%	58.1%	18.8%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	85.6%	28.7%	56.9%	11.0%	1.7%
	4. 40～49歳 (n=269)	82.9%	23.4%	59.5%	12.6%	2.2%
	5. 50～59歳 (n=205)	78.5%	21.0%	57.6%	14.6%	2.9%
	6. 60～69歳 (n=242)	86.4%	25.2%	61.2%	7.9%	1.7%
	7. 70歳以上 (n=296)	83.8%	27.0%	56.8%	9.1%	0.3%

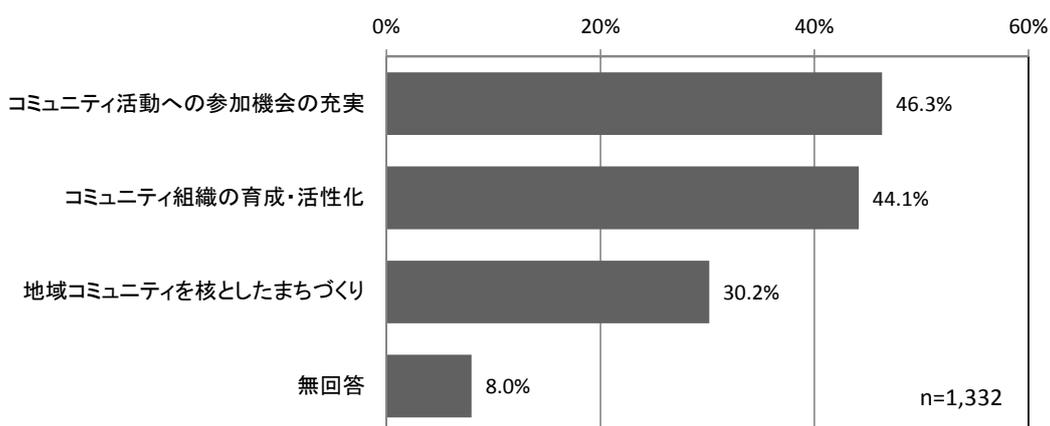
図表 地域別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
地域	1. 東部地域 (n=321)	81.9%	24.3%	57.6%	10.9%	2.5%
	2. 北部地域 (n=290)	85.2%	25.9%	59.3%	10.7%	1.7%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	81.9%	21.5%	60.5%	11.9%	1.1%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	84.0%	24.4%	59.6%	11.6%	1.5%
	5. 西部地域 (n=242)	82.6%	27.3%	55.4%	12.4%	1.2%

<優先すべき取組>

- 地域コミュニティにおいてニーズが高い取組は、「コミュニティ活動への参加機会の充実」が46.3%で最も多く、次いで「コミュニティ組織の育成・活性化」の44.1%の順となっています。
- 年齢層別にみると、18～20歳代及び40～50歳代は「コミュニティ活動への参加機会の充実」、30歳代及び60歳以上は「コミュニティ組織の育成・活性化」が最も多くなっています。
- 地域別にみると、東部地域及び西部地域は「コミュニティ活動への参加機会の充実」、北部地域及び南部地域は「コミュニティ組織の育成・活性化」が最も多くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. コミュニティ 組織の育成・ 活性化	2. コミュニティ 活動への参加 機会の充実	3. 地域コミュニ ティを核とし たまちづくり
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	30.0%	60.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	43.6%	56.4%	19.7%
	3. 30～39歳 (n=181)	47.0%	44.2%	25.4%
	4. 40～49歳 (n=269)	41.6%	46.5%	27.9%
	5. 50～59歳 (n=205)	41.0%	45.4%	30.2%
	6. 60～69歳 (n=242)	45.5%	44.2%	35.1%
	7. 70歳以上 (n=296)	47.6%	46.3%	35.5%

図表 地域別の優先すべき取組

		1. コミュニティ 組織の育成・ 活性化	2. コミュニティ 活動への参加 機会の充実	3. 地域コミュニ ティを核とし たまちづくり
地域	1. 東部地域 (n=321)	42.4%	48.6%	29.0%
	2. 北部地域 (n=290)	47.9%	44.5%	31.0%
	3. 南部地域 (中心市街地) (n=177)	45.2%	44.1%	29.9%
	4. 南部地域 (中心市街地以外) (n=275)	45.8%	45.5%	31.6%
	5. 西部地域 (n=242)	41.3%	50.0%	28.5%

<意見・提案等>

- 地域コミュニティの将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「ネットワークの強化」、「機会と情報の充実」、「祭りなどのイベントの支援」などが挙げられています。

⑩ 産業・観光振興

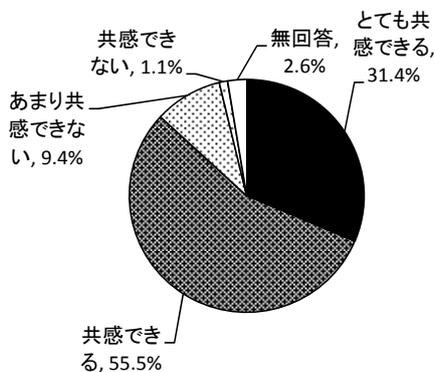
将来像：みんなが愛着と誇りをもてる“これぞ調布”という地域の特色がきらりと光るまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

商店街の活性化や企業誘致，都市農業の振興，地域資源の発掘・活用など，地域の特色を生かしたまちづくりを進めるとともに，「これぞ調布」というまちの資源を磨き上げることにより，市民が地元へ愛着を持ち，観光客からもまた訪れたいと思われるまちを目指します。

<将来像に対する共感性>

- 「産業・観光振興」の将来像に対する共感性は86.9%で，全14テーマのうち下から3番目となっています。
- 年齢層別にみると，「30～39歳」が89.0%で最も多いものの，9割を下回っています。
- 次いで「40～49歳」の88.8%，「70歳以上」の87.8%の順となっています。

図表 全体の共感性



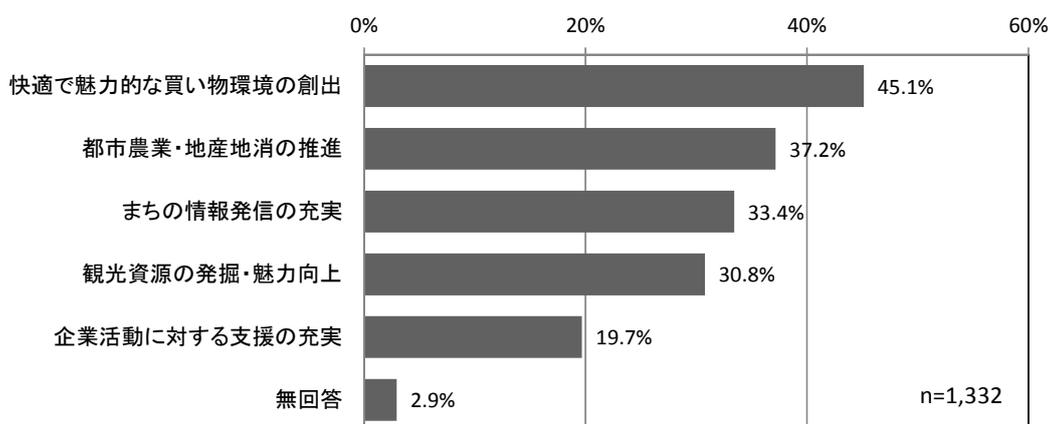
図表 年齢層別の共感性

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	85.5%	35.0%	50.4%	10.3%	2.6%
	3. 30～39歳 (n=181)	89.0%	33.1%	55.8%	9.4%	0.0%
	4. 40～49歳 (n=269)	88.8%	33.1%	55.8%	9.3%	1.1%
	5. 50～59歳 (n=205)	83.4%	24.9%	58.5%	11.7%	2.4%
	6. 60～69歳 (n=242)	86.8%	31.8%	55.0%	8.3%	0.8%
	7. 70歳以上 (n=296)	87.8%	30.7%	57.1%	8.4%	0.3%

<優先すべき取組>

- 産業・観光振興においてニーズが高い取組は、「快適で魅力的な買い物環境の創出」が45.1%で最も多く、次いで「都市農業・地産地消の推進」の37.2%の順となっています。
- 年齢層別にみると、いずれの年齢層も「快適で魅力的な買い物環境の創出」が最も多く、次いで、18～19歳及び30歳代では「観光資源の発掘・魅力向上」、それ以外の年齢層では「都市農業・地産地消の推進」の順となっています。
- 地域別にみると、いずれの地域も「快適で魅力的な買い物環境の創出」が最も多く、次いで、南部地域（中心市街地）では「まちの情報発信の充実」、それ以外の地域では「都市農業・地産地消の推進」の順となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 観光資源の 発掘・魅力 向上	2. まちの情報 発信の充実	3. 快適で魅力 的な買い物 環境の創出	4. 企業活動に 対する支援 の充実	5. 都市農業・ 地産地消の 推進
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	40.0%	0.0%	60.0%	30.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	35.9%	29.1%	43.6%	17.9%	36.8%
	3. 30～39歳 (n=181)	34.8%	29.3%	55.8%	22.1%	33.1%
	4. 40～49歳 (n=269)	31.6%	36.4%	42.0%	20.8%	39.8%
	5. 50～59歳 (n=205)	30.7%	28.8%	48.3%	17.1%	35.6%
	6. 60～69歳 (n=242)	26.9%	36.0%	41.7%	19.8%	38.8%
	7. 70歳以上 (n=296)	28.7%	37.5%	42.9%	19.3%	38.2%

図表 地域別の優先すべき取組

		1. 観光資源の 発掘・魅力 向上	2. まちの情報 発信の充実	3. 快適で魅力 的な買い物 環境の創出	4. 企業活動に 対する支援 の充実	5. 都市農業・ 地産地消の 推進
地域	1. 東部地域 (n=321)	28.7%	34.6%	40.8%	22.1%	37.7%
	2. 北部地域 (n=290)	30.3%	33.8%	43.1%	19.0%	40.0%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	31.1%	40.1%	50.8%	14.7%	31.6%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	32.0%	25.8%	48.4%	22.5%	36.4%
	5. 西部地域 (n=242)	33.9%	35.5%	44.6%	17.8%	38.0%

<意見・提案等>

- 産業・観光振興の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「商店街の活性化」、「観光資源のPR」、「農業・自然の保護」などが挙げられています。

⑪ 芸術・歴史文化

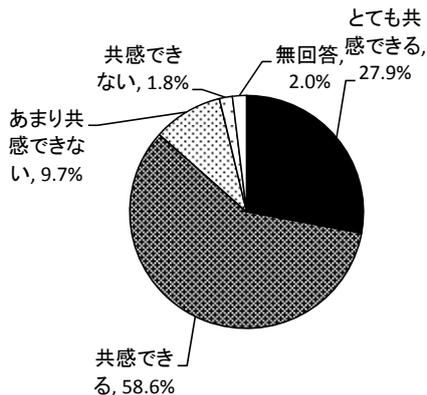
将来像：調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、新たな世代に受け継がれていくまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

映画など独自の芸術・文化や各地域の歴史的資源のさらなる活用を図り、市民の誇りと愛着を醸成するとともに、子どもの頃から芸術・歴史文化に触れる機会を創出することにより、未来を担う新たな世代に調布らしい芸術・歴史文化が伝承されるまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「芸術・歴史文化」の将来像に対する共感度は86.6%で、全14テーマのうち下から2番目となっています。
- 年齢層別にみると、「30～39歳」が90.1%で最も多く、次いで「40～49歳」の89.2%、「20～29歳」の86.3%が続いており、20～40歳代の共感度が高くなっています。
- 特に、「30～39歳代」(90.1%)は9割を上回っており、全体(86.6%)より3.5ポイント多くなっています。

図表 全体の共感度



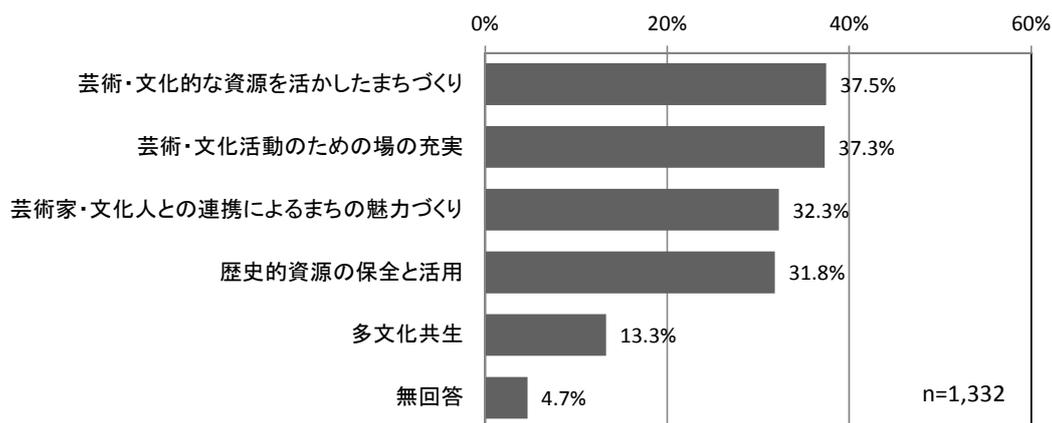
図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	70.0%	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	86.3%	23.9%	62.4%	11.1%	2.6%
	3. 30～39歳 (n=181)	90.1%	30.9%	59.1%	8.8%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	89.2%	31.6%	57.6%	8.2%	2.6%
	5. 50～59歳 (n=205)	85.9%	28.3%	57.6%	10.7%	2.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	84.3%	24.0%	60.3%	9.9%	2.1%
	7. 70歳以上 (n=296)	85.8%	27.4%	58.4%	9.8%	1.0%

<優先すべき取組>

- 芸術・歴史文化においてニーズが高い取組は、「芸術・文化的な資源を活かしたまちづくり」が 37.5%で最も多く、次いで「芸術・文化活動のための場の充実」の 37.3%の順となっています。
- 年齢層別にみると、18～19 歳は「芸術家・文化人との連携によるまちの魅力づくり」、20 歳代及び 50 歳以上は「芸術・文化的な資源を活かしたまちづくり」、30～40 歳代は「芸術・文化活動のための場の充実」が最も多く、年齢層によって優先度が異なります。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 芸術・文化 活動のため の場の充実	2. 芸術・文化 的な資源を 活かしたま ちづくり	3. 歴史的資源 の保全と活 用	4. 芸術家・文 化人との連 携によるま ちの魅力づ くり	5. 多文化共生
年 齢 層	1. 18～19歳 (n=10)	40.0%	0.0%	40.0%	50.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	32.5%	40.2%	34.2%	26.5%	12.8%
	3. 30～39歳 (n=181)	40.9%	33.7%	29.8%	39.8%	11.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	40.9%	39.4%	30.5%	33.1%	10.4%
	5. 50～59歳 (n=205)	35.6%	39.0%	30.2%	29.3%	12.2%
	6. 60～69歳 (n=242)	35.5%	38.8%	31.4%	30.2%	15.7%
	7. 70歳以上 (n=296)	36.5%	36.8%	35.1%	32.8%	15.2%

<意見・提案等>

- 芸術・歴史文化の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「映画のまちづくり」、「芸術とふれあう機会づくり」、「歴史の保全」などが挙げられています。

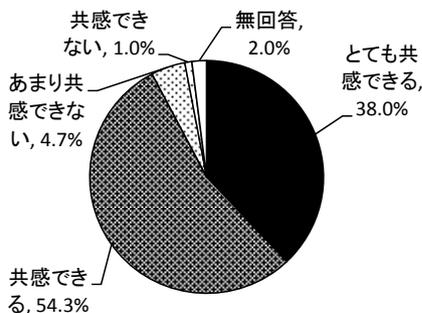
⑫ 市街地整備（住環境・街並み・景観）

将来像：多世代がいつまでも快適に暮らせる、くつろぎとふれあいに満ちたまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に憩える住環境を目指すとともに、まちに誇りと愛着を持って活気と魅力あるまちづくりを進めることにより、多様な世代がいつまでもくつろぎとふれあいに満ちた空間の中で、快適に暮らし続けることができるまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「市街地整備（住環境・街並み・景観）」の将来像に対する共感度は92.3%で、全14テーマのうち7番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「30～39歳」が93.4%で最も多く、次いで「40～49歳」の93.3%、「60～69歳」の93.0%の順となっています。
- 地域別にみると、「南部地域（中心市街地）」が96.0%で最も多く、最も低い「東部地域」の88.2%より7.8ポイント高くなっています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	90.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	90.6%	38.5%	52.1%	6.8%	2.6%
	3. 30～39歳 (n=181)	93.4%	44.2%	49.2%	3.9%	0.6%
	4. 40～49歳 (n=269)	93.3%	36.4%	56.9%	4.5%	1.1%
	5. 50～59歳 (n=205)	89.8%	34.1%	55.6%	6.8%	1.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	93.0%	37.6%	55.4%	2.9%	1.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	92.9%	37.8%	55.1%	5.1%	0.0%

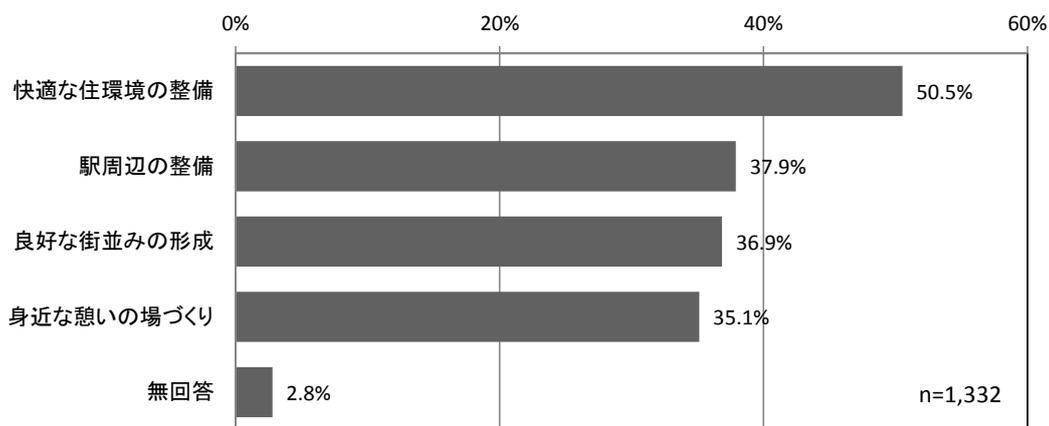
図表 地域別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
地域	1. 東部地域 (n=321)	88.2%	33.3%	54.8%	7.2%	0.9%
	2. 北部地域 (n=290)	93.8%	42.8%	51.0%	4.1%	0.7%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	96.0%	39.5%	56.5%	2.8%	1.1%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	93.5%	36.7%	56.7%	3.6%	1.1%
	5. 西部地域 (n=242)	93.0%	39.7%	53.3%	5.0%	1.2%

<優先すべき取組>

- 市街地整備においてニーズが高い取組は、「快適な住環境の整備」が50.5%で最も多く、半数を上回っています。
- 次いで「駅周辺の整備」の37.9%の順となっています。
- 年齢層別にみると、18～19歳は「駅周辺の整備」、20歳以上は「快適な住環境の整備」が最も多くなっています。
- 地域別にみると、いずれの地域も「快適な住環境の整備」が最も多く、次いで、東部地域及び北部地域では「良好な街並みの形成」、それ以外の地域では「駅周辺の整備」の順となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 身近な憩いの場づくり	2. 良好な街並みの形成	3. 快適な住環境の整備	4. 駅周辺の整備
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	20.0%	30.0%	20.0%	70.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	35.9%	38.5%	47.9%	38.5%
	3. 30～39歳 (n=181)	32.0%	43.1%	51.9%	40.3%
	4. 40～49歳 (n=269)	24.2%	39.8%	55.8%	41.6%
	5. 50～59歳 (n=205)	32.2%	32.2%	49.3%	40.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	36.8%	38.0%	50.0%	33.5%
	7. 70歳以上 (n=296)	48.0%	32.4%	49.0%	34.8%

図表 地域別の優先すべき取組

		1. 身近な憩いの場づくり	2. 良好な街並みの形成	3. 快適な住環境の整備	4. 駅周辺の整備
地域	1. 東部地域 (n=321)	33.0%	37.4%	53.0%	32.1%
	2. 北部地域 (n=290)	35.2%	39.7%	51.4%	39.0%
	3. 南部地域 (中心市街地) (n=177)	31.1%	38.4%	52.5%	45.8%
	4. 南部地域 (中心市街地以外) (n=275)	39.6%	33.8%	45.8%	39.6%
	5. 西部地域 (n=242)	35.5%	36.0%	51.2%	38.8%

<意見・提案等>

- 市街地整備の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「駅前の整備」、「公園の整備」、「計画的な景観整備」などが挙げられています。

⑬ 道路・交通

将来像：だれもが便利で安全・安心に移動できる、良好な交通環境のあるまち

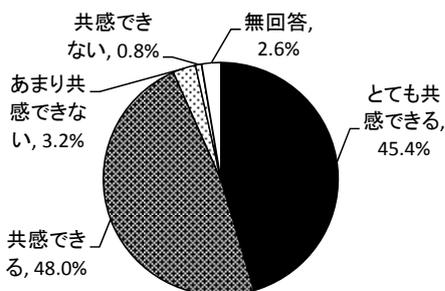
《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域の特性を踏まえつつ、幹線道路や生活道路の整備充実を図り、歩行者と自転車利用者の双方にとって快適な通行空間を確保するとともに、公共交通及び駅周辺の交通利便性の向上などを総合的に進めることによって、だれもが便利で安全・安心に移動できる良好な交通環境が整ったまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「道路・交通」の将来像に対する共感度は93.4%で、全14テーマのうち3番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「18～19歳」が100.0%で最も多く、次いで「30～39歳」の95.6%、「40～49歳」の94.4%の順となっています。
- 地域別にみると、「南部地域（中心市街地）」が94.9%で最も多く、次いで「北部地域」の94.5%、「東部地域」の93.8%の順となっています。

図表 全体の共感度



図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	92.3%	45.3%	47.0%	5.1%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	95.6%	54.1%	41.4%	2.8%	1.1%
	4. 40～49歳 (n=269)	94.4%	43.9%	50.6%	3.0%	1.5%
	5. 50～59歳 (n=205)	94.1%	42.9%	51.2%	2.4%	2.0%
	6. 60～69歳 (n=242)	93.4%	44.2%	49.2%	2.9%	0.0%
	7. 70歳以上 (n=296)	92.2%	44.3%	48.0%	3.4%	0.0%

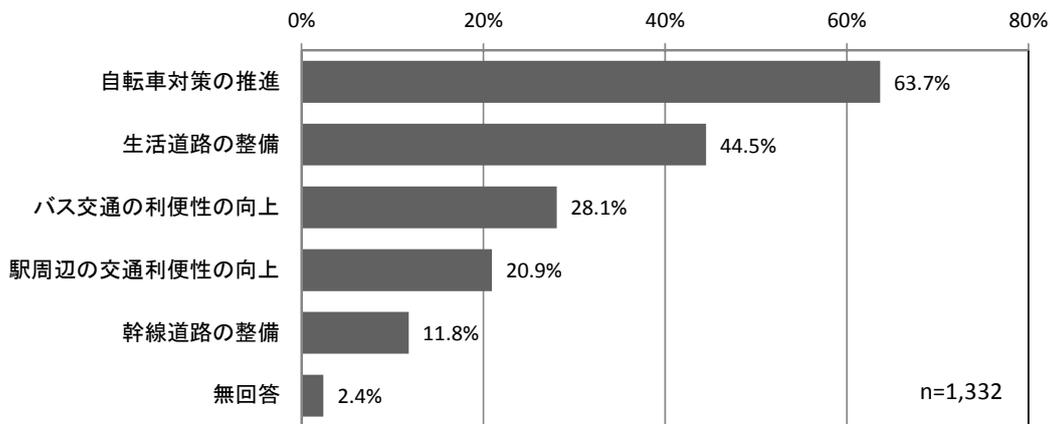
図表 地域別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3.	4.	
		1. とても共感できる	2. 共感できる	あまり共感できない	共感できない	
地域	1. 東部地域 (n=321)	93.8%	39.9%	53.9%	1.9%	1.2%
	2. 北部地域 (n=290)	94.5%	48.6%	45.9%	3.1%	0.3%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	94.9%	44.6%	50.3%	2.3%	1.1%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	93.5%	45.8%	47.6%	3.3%	0.4%
	5. 西部地域 (n=242)	92.1%	50.0%	42.1%	5.4%	1.2%

<優先すべき取組>

- 道路・交通においてニーズが高い取組は、「自転車対策の推進」が63.7%で最も多く、6割を上回っています。
- 次いで、「生活道路の整備」の44.5%の順となっています。
- 年齢層別にみると、いずれの年齢層も「自転車対策の推進」が最も多く、次いで、「生活道路の整備」の順（ただし、18～19歳は「バス交通の利便性の向上」が同率2位）となっています。
- 地域別にみると、いずれの地域も「自転車対策の推進」が最も多く、特に南部地域の中心市街地（72.9%）が多くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 幹線道路の整備	2. 生活道路の整備	3. 自転車対策の推進	4. バス交通の利便性の向上	5. 駅周辺の交通利便性の向上
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	20.0%	30.0%	70.0%	30.0%	20.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	12.0%	39.3%	59.0%	30.8%	25.6%
	3. 30～39歳 (n=181)	11.6%	43.1%	69.1%	24.3%	19.9%
	4. 40～49歳 (n=269)	13.4%	40.5%	61.7%	29.0%	22.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	10.7%	43.4%	68.8%	24.4%	24.9%
	6. 60～69歳 (n=242)	11.6%	49.2%	64.0%	24.4%	16.5%
	7. 70歳以上 (n=296)	10.8%	49.0%	60.1%	34.8%	19.3%

図表 地域別の優先すべき取組

		1. 幹線道路の整備	2. 生活道路の整備	3. 自転車対策の推進	4. バス交通の利便性の向上	5. 駅周辺の交通利便性の向上
地域	1. 東部地域 (n=321)	10.3%	43.3%	58.9%	31.2%	20.2%
	2. 北部地域 (n=290)	12.1%	40.3%	63.8%	37.6%	19.3%
	3. 南部地域 (中心市街地) (n=177)	11.3%	50.3%	72.9%	15.8%	23.2%
	4. 南部地域 (中心市街地以外) (n=275)	12.4%	45.8%	63.6%	24.0%	20.4%
	5. 西部地域 (n=242)	12.8%	45.0%	64.0%	28.1%	22.7%

<意見・提案等>

- 道路・交通の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「歩道の整備」、「路線バスの充実」、「路上駐車対策」などが挙げられています。

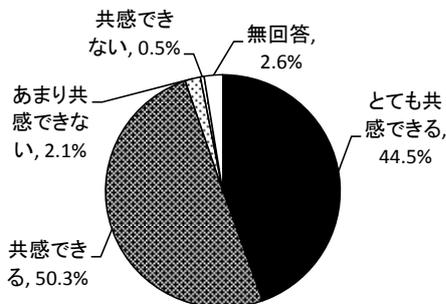
⑭ 水・緑・環境保全

将来像：豊かな自然や身近な緑を大切に守り、育て、人と自然が共に生きるまち
 《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》
 豊かでうるおいのある自然環境を将来世代に継承するため、身近な緑を大切に守り、育てるとともに、市民・事業者・行政などが連携し、各主体の役割に応じた環境にやさしい取組を進めることによって、人と自然が共生するまちを目指します。

<将来像に対する共感度>

- 「水・緑・環境保全」の将来像に対する共感度は94.8%で、全14テーマのうち2番目に高くなっています。
- 年齢層別にみると、「20～29歳」が96.6%で最も多く、次いで「60～69歳」の95.9%、「30～39歳」の95.6%の順となっています。

図表 全体の共感度



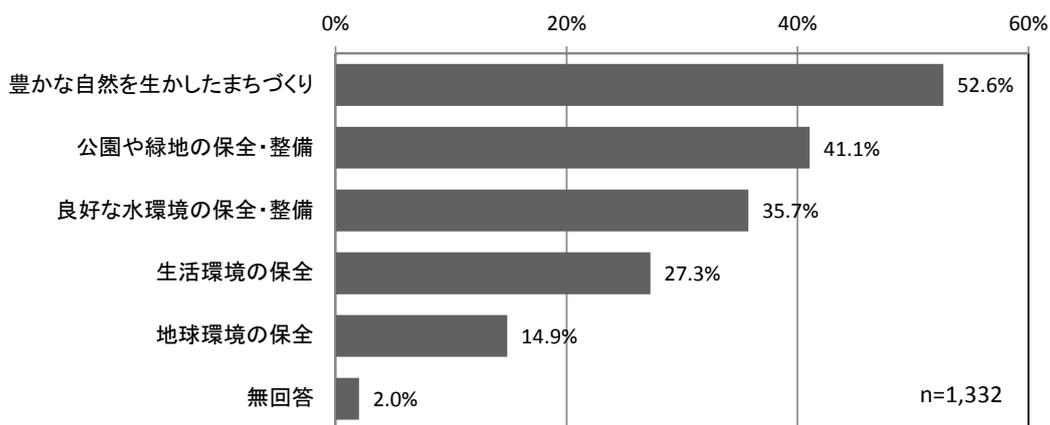
図表 年齢層別の共感度

		とても共感できる + 共感できる		3. あまり共感できない	4. 共感できない	
		1. とても共感できる	2. 共感できる			
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	96.6%	45.3%	51.3%	1.7%	0.9%
	3. 30～39歳 (n=181)	95.6%	42.5%	53.0%	2.8%	0.0%
	4. 40～49歳 (n=269)	94.8%	40.5%	54.3%	1.9%	1.1%
	5. 50～59歳 (n=205)	93.7%	44.4%	49.3%	2.9%	0.5%
	6. 60～69歳 (n=242)	95.9%	49.2%	46.7%	1.2%	0.8%
	7. 70歳以上 (n=296)	94.9%	45.6%	49.3%	2.4%	0.0%

<優先すべき取組>

- 水・緑・環境保全においてニーズが高い取組は、「豊かな自然を生かしたまちづくり」が 52.6% で最も多く、半数を上回っています。
- 次いで、「公園や緑地の保全・整備」の 41.1%の順となっています。
- 年齢層別にみると、18 歳～30 歳代では「公園や緑地の保全・整備」、40 歳以上では「豊かな自然を生かしたまちづくり」が最も多くなっています。
- 地域別にみると、いずれの地域も「豊かな自然を生かしたまちづくり」が最も多く、特に北部地域（56.9%）や南部地域の中心市街地以外（56.0%）が多くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		1. 豊かな自然を生かしたまちづくり	2. 公園や緑地の保全・整備	3. 良好な水環境の保全・整備	4. 生活環境の保全	5. 地球環境の保全
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	30.0%	80.0%	20.0%	10.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	45.3%	51.3%	35.9%	27.4%	12.0%
	3. 30～39歳 (n=181)	42.0%	53.0%	38.7%	26.5%	17.1%
	4. 40～49歳 (n=269)	49.1%	41.6%	32.0%	27.9%	16.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	53.7%	40.5%	35.6%	25.4%	17.6%
	6. 60～69歳 (n=242)	61.6%	32.2%	37.2%	28.9%	13.2%
	7. 70歳以上 (n=296)	58.1%	35.8%	36.8%	28.4%	12.2%

図表 地域別の優先すべき取組

		1. 豊かな自然を生かしたまちづくり	2. 公園や緑地の保全・整備	3. 良好な水環境の保全・整備	4. 生活環境の保全	5. 地球環境の保全
地域	1. 東部地域 (n=321)	47.7%	43.9%	38.0%	24.9%	15.6%
	2. 北部地域 (n=290)	56.9%	37.2%	35.2%	30.7%	16.6%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	48.0%	46.3%	36.2%	32.2%	12.4%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	56.0%	37.5%	35.3%	26.5%	14.2%
	5. 西部地域 (n=242)	54.1%	43.0%	34.3%	23.6%	14.5%

<意見・提案等>

- 水・緑・環境保全の将来像や取組に関する具体的な意見・提案等としては、「深大寺地域の整備・活用」、「野川・湧水の保全」、「公園等への植樹」などが挙げられています。

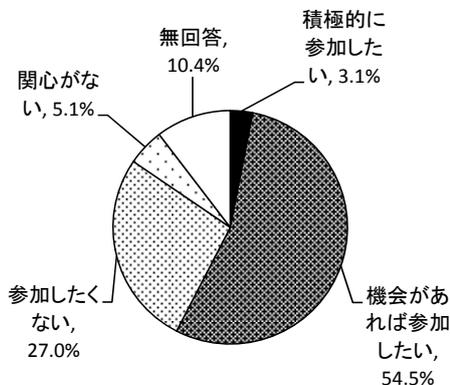
3 総合計画策定への参加意向

問 29) あなたは今後、調布市の新たな総合計画づくりに参加したいと思いますか。

<全体 (n=1,332) >

○新たな総合計画づくりに「積極的に参加したい」は 3.1%、「機会があれば参加したい」は 54.5%であり、合計すると 57.6%で約 6 割となっています。

図表 全体の参加意向



<性別>

○性別にみると、「参加したい」は男女とも過半数を占めており、特に男性（61.4%）が女性（55.6%）を 5.8 ポイント上回っています。

図表 性別の参加意向

		参加したい		3. 参加したくない	4. 関心がない
		1. 積極的に参加したい	2. 機会があれば参加したい		
性別	1. 男性 (n=511)	61.4%	4.7%	23.1%	5.7%
	2. 女性 (n=798)	55.6%	2.1%	29.6%	4.8%

<年齢層別>

○年齢層別にみると、「30～39 歳」が 68.0%で最も多く、次いで「40～49 歳」の 65.4%、「50～59 歳」の 60.0%が続いており、いわゆる「現役世代」と呼ばれる年齢層の参加意向が高くなっています。

○今後、計画づくりを進めるにあたっては、これらの参加意向を、実際の市民参加につなげるための工夫を行うことが必要です。

図表 年齢層別の参加意向

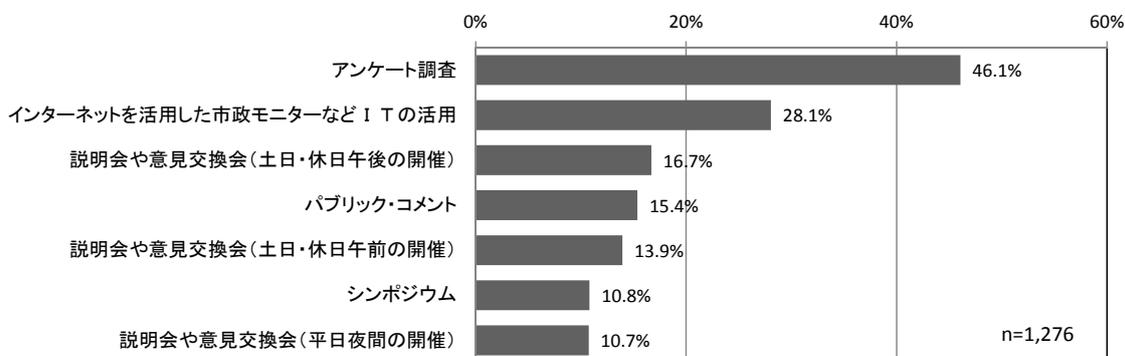
		参加したい		3. 参加したくない	4. 関心がない
		1. 積極的に参加したい	2. 機会があれば参加したい		
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	50.0%	0.0%	20.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	53.0%	4.3%	25.6%	17.1%
	3. 30～39歳 (n=181)	68.0%	1.7%	22.7%	3.3%
	4. 40～49歳 (n=269)	65.4%	4.8%	26.0%	3.7%
	5. 50～59歳 (n=205)	60.0%	2.9%	26.8%	5.4%
	6. 60～69歳 (n=242)	52.9%	2.9%	30.2%	3.7%
	7. 70歳以上 (n=296)	48.6%	2.4%	29.4%	3.7%

問 30) 問 29 で「1 積極的に参加したい」、「2 機会があれば参加したい」を選んだ方にかかいます。あなたはどのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。あてはまるものに〇をつけてください。(※複数回答可)

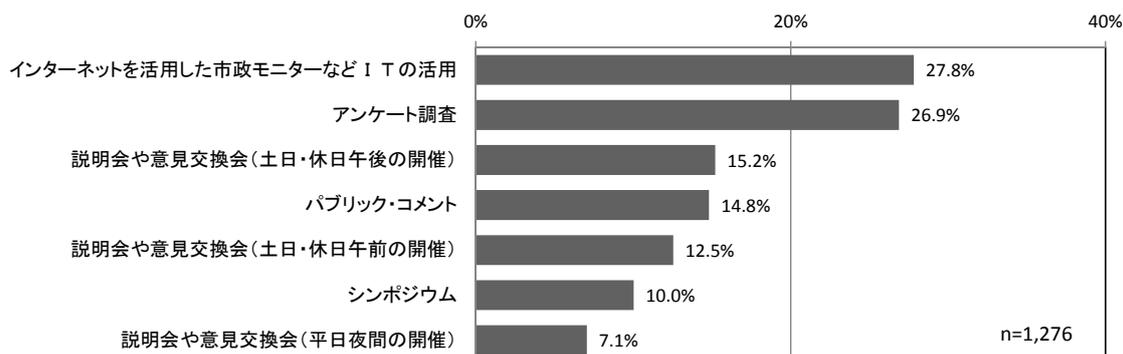
<全体 (n=767) >

- 総合計画策定への参加について、回答者が参加できると思う手法は、「アンケート調査」が 46.1%で最も多く、アンケート調査の有効性が高いことが分かります。
- 次いで「インターネットを活用した市政モニターなど I T の活用」の 28.1%、「説明会や意見交換会（土日・休日午前の開催）」の 16.7%の順となっています。
- その他の具体的な手法としては、「メールマガジン」、「ツイッター」、「フェイスブック」などが提案されています。
- 一方、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思う手法は、「インターネットを活用した市政モニターなど I T の活用」が 27.8%で最も多く、今後、さらなる I T の有効活用が求められています。
- 説明会や意見交換会については、「土日・休日午後の開催」が 15.2%で最も多く、次いで「土日・休日午前の開催」の 12.5%が続いており、「平日夜間の開催」は 7.1%で 1 割を下回っています。
- その他の具体的な手法としては、「提案書」、「パネルディスカッション」などが提案されています。

図表 「参加できる」手法の順位



図表 「より多くの市民の意見が行政に届きやすい」手法の順位



第2章 調査結果 <総合計画策定への参加意向>

<性別>

○参加できると思う手法は、男女ともに「アンケート調査」、「インターネットを活用した市政モニターなどITの活用」の順で多く、次いで、男性は「パブリック・コメント」、女性は「説明会や意見交換会（土日・休日午後の開催）」の順となっています。

図表 性別の「参加できる」手法

		1. 説明会や 意見交換 会（平日 夜間の開 催）	2. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午前の開 催）	3. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午後の開 催）	4. アンケ ー ト 調 査	5. パブリ ック・コ メ ン ト	6. シンポ ジ ウム	7. インテ ー ネ ッ ト を 活 用 し た 市 政 モ ニ タ ー な ど I T の 活 用
性 別	1. 男性 (n=314)	21.7%	28.3%	32.2%	73.9%	32.5%	24.5%	49.0%
	7. 女性 (n=444)	15.1%	19.1%	24.5%	78.4%	21.2%	13.5%	45.5%

<年齢層別>

- いずれの年齢層においても「アンケート調査」が最も多くなっています。
- 2番目に多い手法は、70歳未満では「インターネットを活用した市政モニターなどITの活用」、70歳以上では「説明会や意見交換会（土日・休日午後の開催）」となっています。
- 特に、18歳～50歳代では、「インターネットを活用した市政モニターなどITの活用」がいずれも半数を上回っていることから、ITを活用して意見やニーズを把握することが有効であることが分かります。

図表 年齢層別の「参加できる」手法

		1. 説明会や 意見交換 会（平日 夜間の開 催）	2. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午前の開 催）	3. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午後の開 催）	4. アンケ ー ト 調 査	5. パブリ ック・コ メ ン ト	6. シンポ ジ ウム	7. インテ ー ネ ッ ト を 活 用 し た 市 政 モ ニ タ ー な ど I T の 活 用
年 齢 層	1. 18～19歳 (n=5)	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	2. 20～29歳 (n=62)	17.7%	24.2%	25.8%	77.4%	33.9%	12.9%	69.4%
	3. 30～39歳 (n=123)	8.9%	25.2%	14.6%	87.0%	30.9%	13.0%	69.1%
	4. 40～49歳 (n=176)	16.5%	22.2%	26.1%	85.2%	31.8%	20.5%	59.1%
	5. 50～59歳 (n=123)	17.1%	23.6%	35.8%	81.3%	24.4%	26.0%	52.0%
	6. 60～69歳 (n=128)	22.7%	22.7%	29.7%	66.4%	23.4%	18.8%	33.6%
	7. 70歳以上 (n=144)	22.9%	22.2%	33.3%	61.1%	13.9%	14.6%	8.3%

<同居家族別>

- いずれも「アンケート調査」が最も多く、次いで、中学生以下の子どもがいる回答者は「インターネットを活用した市政モニターなどITの活用」、65歳以上の家族がいる回答者は「説明会や意見交換会（土日・休日午後の開催）」の順となっています。

図表 同居家族別の「参加できる」手法

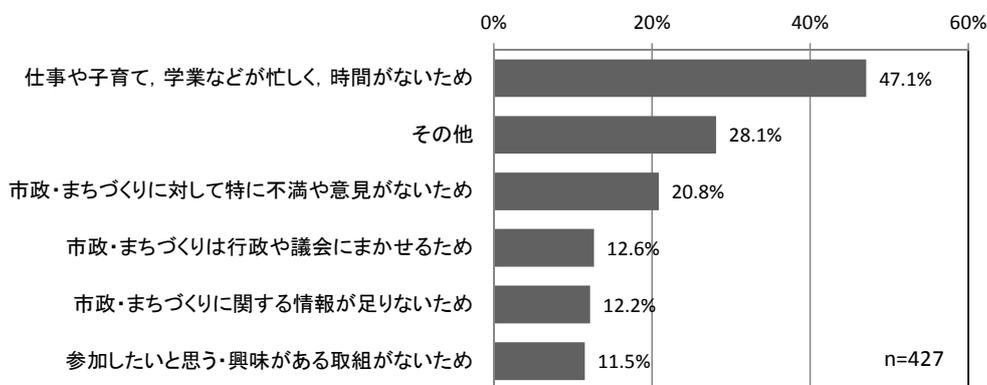
		1. 説明会や 意見交換 会（平日 夜間の開 催）	2. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午前の開 催）	3. 説明会や 意見交換 会（土 日・休日 午後の開 催）	4. アンケ ー ト 調 査	5. パブリ ック・コ メ ン ト	6. シンポ ジ ウム	7. インテ ー ネ ッ ト を 活 用 し た 市 政 モ ニ タ ー な ど I T の 活 用
同 居 家 族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=116)	10.3%	31.0%	20.7%	82.8%	31.0%	18.1%	60.3%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=131)	13.7%	28.2%	29.0%	83.2%	28.2%	23.7%	61.1%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=233)	19.7%	21.9%	31.3%	63.5%	18.5%	15.9%	30.9%
	4. いない (n=293)	17.1%	15.7%	23.5%	74.1%	24.2%	14.0%	48.5%

問31) 問29で「3 参加したくない」、「4 関心がない」を選んだ方にうかがいます。参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。あてはまるものに○をつけてください。(※複数回答可)

<全体 (n=427) >

- 新たな総合計画づくりに参加したくない・関心がない理由は、「仕事や子育て，学業などが忙しく，時間がないため」が47.1%で最も多く，約半数を占めています。
- 次いで，「その他」の28.1%，「市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため」の20.8%の順となっています。
- 「その他」の具体的な理由としては，「介護で忙しいため」，「高齢のため」，「病気・体調不良のため」などが挙げられています。

図表 全体の参加をしない・関心がない理由の順位



<性別>

- 性別にみると，男女ともに「仕事や子育て，学業などが忙しく，時間がないため」が最も多く，特に女性（46.7%）が男性（40.1%）を6.6ポイント上回っています。

図表 性別の参加をしない・関心がない理由

		1. 仕事や子育て，学業などが忙しく，時間がないため	2. 市政・まちづくりに関する情報が足りないため	3. 参加したいと思う・興味がある取組がないため	4. 市政・まちづくりは行政や議会にまかせるため	5. 市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため	6. その他
性別	1. 男性 (n=147)	40.1%	8.8%	12.9%	12.9%	19.7%	24.5%
	2. 女性 (n=274)	46.7%	12.8%	9.9%	10.6%	18.6%	24.8%

第2章 調査結果 <総合計画策定への参加意向>

<年齢層別>

○年齢層別にみると、18～19歳は「市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため」、20～50歳代は「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため」、60歳以上は「その他」が最も多く、20～50歳代は、参加する時間がないことが障壁となっていることが分かります。

図表 年齢層別の参加をしない・関心がない理由

		1. 仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため	2. 市政・まちづくりに関する情報が足りないため	3. 参加したいと思う・興味がある取組がないため	4. 市政・まちづくりは行政や議会にまかせるため	5. 市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため	6. その他
年齢層	1. 18～19歳 (n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=50)	68.0%	18.0%	14.0%	4.0%	14.0%	12.0%
	3. 30～39歳 (n=47)	78.7%	8.5%	12.8%	8.5%	8.5%	6.4%
	4. 40～49歳 (n=80)	65.0%	8.8%	11.3%	5.0%	13.8%	17.5%
	5. 50～59歳 (n=66)	50.0%	15.2%	19.7%	13.6%	15.2%	15.2%
	6. 60～69歳 (n=82)	29.3%	11.0%	7.3%	19.5%	19.5%	30.5%
	7. 70歳以上 (n=98)	7.1%	8.2%	4.1%	13.3%	32.7%	49.0%

<同居家族別>

○同居家族別にみると、中学生以下の子どもがいる回答者は「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため」、65歳以上の家族がいる回答者は「その他（介護で忙しいため）」が最も多くなっています。

図表 同居家族別の参加をしない・関心がない理由

		1. 仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため	2. 市政・まちづくりに関する情報が足りないため	3. 参加したいと思う・興味がある取組がないため	4. 市政・まちづくりは行政や議会にまかせるため	5. 市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため	6. その他
年齢層	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=30)	86.7%	6.7%	10.0%	3.3%	6.7%	6.7%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=64)	70.3%	7.8%	14.1%	6.3%	10.9%	12.5%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=132)	22.7%	12.1%	5.3%	14.4%	25.8%	35.6%
	4. いない (n=185)	46.5%	13.0%	14.1%	10.8%	16.8%	24.3%

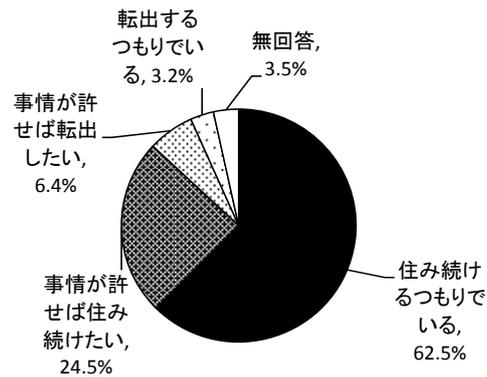
4 今後の定住意向

問 42) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。

<全体 (n=1,332) >

○今後の定住意向について、調布市に「住み続けるつもりでいる」は 62.5%、「事情が許せば住み続けたい」は 24.5%であり、合計すると 86.9%で8割を上回っています。

図表 全体の定住意向



<性別>

○性別にみると、定住意向（「住み続けるつもりでいる」+「事情が許せば住み続けたい」）は、男性が 90.2%で9割を上回っており、女性（85.2%）を 5.0 ポイント上回っています。

図表 性別の定住意向

性別	定住意向	定住意向			
		1. 住み続けるつもりでいる	2. 事情が許せば住み続けたい	3. 事情が許せば転出したい	4. 転出するつもりでいる
1. 男性 (n=511)	90.2%	64.8%	25.4%	4.9%	2.9%
2. 女性 (n=798)	85.2%	61.2%	24.1%	7.5%	3.4%

第2章 調査結果 <今後の定住意向>

<年齢層別>

○年齢層別にみると、定住意向は60～69歳が92.1%で9割を上回る一方、18～19歳は60.0%で6割にとどまっており、概ね年齢が上がるにつれて定住意向が高くなっています。

図表 年齢層別の定住意向

		定住意向	1. 住み続けるつもり でいる	2. 事情が許せば住み 続けたい	3. 事情が許せば転出 したい	4. 転出する つもりで いる
年齢層	1. 18～19歳 (n=10)	60.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%
	2. 20～29歳 (n=117)	76.1%	29.9%	46.2%	6.8%	15.4%
	3. 30～39歳 (n=181)	87.3%	56.4%	30.9%	8.3%	3.9%
	4. 40～49歳 (n=269)	85.5%	50.9%	34.6%	9.7%	2.2%
	5. 50～59歳 (n=205)	87.3%	68.3%	19.0%	5.4%	3.9%
	6. 60～69歳 (n=242)	92.1%	76.0%	16.1%	5.0%	0.8%
	7. 70歳以上 (n=296)	89.5%	75.7%	13.9%	3.4%	0.3%

<地域別>

○地域別にみると、定住意向はいずれの地域においても約9割であり、特に南部地域（中心市街地 88.7%，中心市街地以外 88.4%）や北部地域（88.6%）が多くなっています。

図表 地域別の定住意向

		定住意向	1. 住み続けるつもり でいる	2. 事情が許せば住み 続けたい	3. 事情が許せば転出 したい	4. 転出する つもりで いる
地域	1. 東部地域 (n=321)	85.7%	60.4%	25.2%	7.2%	5.6%
	2. 北部地域 (n=290)	88.6%	67.9%	20.7%	6.2%	1.0%
	3. 南部地域（中心市街地） (n=177)	88.7%	54.2%	34.5%	5.6%	3.4%
	4. 南部地域（中心市街地以外） (n=275)	88.4%	63.6%	24.7%	6.2%	2.2%
	5. 西部地域 (n=242)	86.4%	64.9%	21.5%	7.0%	3.7%

<同居家族別>

○同居家族別にみると、定住意向は65歳以上の家族がいる回答者（91.6%）や6歳以下の乳幼児がいる回答者（91.1%）が9割を上回っています。

図表 同居家族別の定住意向

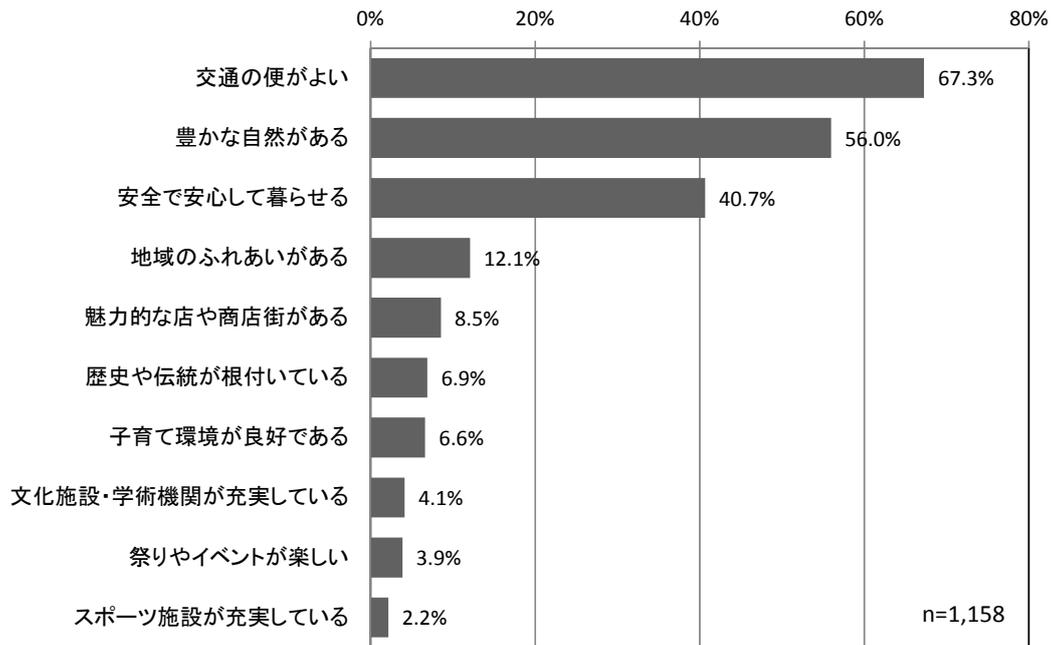
		定住意向	1. 住み続けるつもり でいる	2. 事情が許せば住み 続けたい	3. 事情が許せば転出 したい	4. 転出する つもりで いる
同居家族	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=158)	91.1%	62.0%	29.1%	6.3%	2.5%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=212)	88.2%	67.0%	21.2%	6.1%	2.8%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=418)	91.6%	71.8%	19.9%	4.3%	1.0%
	4. いない (n=524)	84.9%	55.3%	29.6%	6.9%	4.8%

問 43) 問 42 で「1 住み続けるつもりでいる」または「2 事情が許せば住み続けたい」を選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに住み続けたいと思う理由について、次の中から、3つ以内で選んで○をつけてください。(※複数回答可)

<全体 (n=1, 158) >

○「住み続けるつもりでいる」または「事情が許せば住み続けたい」理由としては、「交通の便がよい」が 67.3%、「豊かな自然がある」が 56.0%であり、いずれも半数を上回っています。

図表 全体の住み続けたい理由の順位



<年齢層別>

○年齢層別にみると、いずれの年齢層においても「交通の便がよい」が最も多く、特に 18～19 歳 (83.3%) や 50 歳代 (72.1%) が多くなっています。

図表 年齢層別の住み続けたい理由

		1. 安全で 安心して暮ら せる	2. 子育て 環境が 良好で ある	3. 地域の ふれあ いがあ る	4. 祭りや イベン トが楽 しい	5. 歴史や 伝統が 根付い ている	6. 交通の 便がよ い	7. 豊かな 自然が ある	8. 魅力的 な店や 商店街 がある	9. スポー ツ施設 が充実 してい る	10. 文化施 設・学 術機関 が充実 してい る
年 齢 層	1. 18～19歳 (n=6)	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	83.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 20～29歳 (n=89)	40.4%	5.6%	6.7%	6.7%	2.2%	66.3%	43.8%	14.6%	3.4%	4.5%
	3. 30～39歳 (n=158)	29.1%	17.7%	4.4%	4.4%	4.4%	63.3%	51.3%	10.8%	0.6%	4.4%
	4. 40～49歳 (n=230)	34.8%	12.2%	7.0%	5.2%	7.0%	58.3%	48.3%	9.1%	3.0%	3.5%
	5. 50～59歳 (n=179)	39.1%	4.5%	8.9%	3.9%	3.9%	72.1%	55.3%	7.3%	0.6%	3.9%
	6. 60～69歳 (n=223)	41.3%	0.9%	12.6%	2.2%	8.5%	69.5%	65.9%	9.0%	3.6%	4.5%
	7. 70歳以上 (n=265)	47.5%	1.9%	21.9%	2.3%	10.6%	65.3%	56.6%	4.9%	1.9%	4.5%

第2章 調査結果 <今後の定住意向>

<地域別>

○地域別にみると、北部地域では「豊かな自然がある」、それ以外の地域では「交通の便がよい」が最も多くなっています。

図表 地域別の住み続けたい理由

		1. 安全で 安心して暮ら せる	2. 子育て 環境が 良好で ある	3. 地域の ふれあ いがあ る	4. 祭りや イベン トが楽 しい	5. 歴史や 伝統が 根付い ている	6. 交通の 便がよ い	7. 豊かな 自然が ある	8. 魅力的 な店や 商店街 がある	9. スポー ツ施設 が充実 してい る	10. 文化施 設・学 術機関 が充実 してい る
地域	1. 東部地域 (n=275)	40.7%	6.5%	10.2%	4.0%	4.4%	69.1%	49.1%	17.5%	0.7%	2.5%
	2. 北部地域 (n=257)	35.0%	7.8%	14.0%	1.9%	11.3%	49.0%	72.4%	2.7%	2.7%	5.1%
	3. 南部地域 (中心市街地) (n=157)	41.4%	5.1%	7.0%	5.1%	3.8%	77.1%	45.2%	15.3%	1.3%	8.3%
	4. 南部地域 (中心市街地以外) (n=243)	39.9%	4.9%	13.2%	4.5%	6.6%	70.0%	56.4%	4.5%	3.3%	3.3%
	5. 西部地域 (n=209)	41.1%	8.1%	11.5%	3.8%	7.2%	67.9%	46.9%	3.3%	2.4%	3.3%

<同居家族別>

○中学生以下の子どもがいる回答者の「子育て環境が良好である」は、6歳以下の乳幼児がいる回答者は27.1%、小・中学生がいる回答者は20.3%であり、全体よりそれぞれ20.5ポイント及び13.7ポイントと大きく上回っています。

図表 同居家族別の住み続けたい理由

		1. 安全で 安心して暮ら せる	2. 子育て 環境が 良好で ある	3. 地域の ふれあ いがあ る	4. 祭りや イベン トが楽 しい	5. 歴史や 伝統が 根付い ている	6. 交通の 便がよ い	7. 豊かな 自然が ある	8. 魅力的 な店や 商店街 がある	9. スポー ツ施設 が充実 してい る	10. 文化施 設・学 術機関 が充実 してい る
地域	1. 6歳以下の乳幼児がいる (n=144)	35.4%	27.1%	6.9%	5.6%	4.2%	52.1%	47.2%	6.9%	1.4%	1.4%
	2. 小・中学生の子どもがいる (n=187)	32.6%	20.3%	12.8%	3.7%	6.4%	59.4%	51.9%	8.0%	3.7%	1.6%
	3. 65歳以上の家族がいる (n=383)	42.0%	2.6%	15.4%	4.4%	8.1%	65.5%	58.5%	6.8%	1.6%	4.7%
	4. いない (n=445)	38.7%	1.6%	9.4%	2.7%	6.7%	68.5%	53.9%	10.3%	2.2%	5.2%

第3章 自由意見

注) 原則として原文のまま掲載しています。ただし、個人名等プライバシーに関する記述がある場合は、該当部分を省略している場合があります。

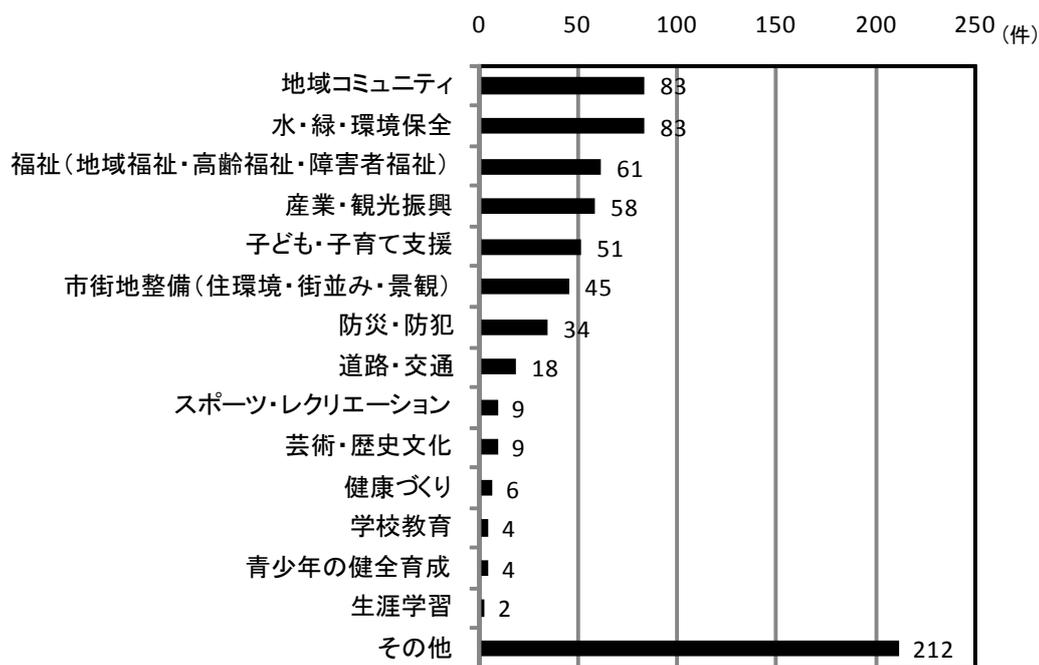
1 自由意見の内訳

○今後のまちづくりにおいて取り組むべき視点などの意見・要望等の自由意見は、679件寄せられており、内訳は以下に示した通りです。なお、複数項目に該当している項目は、分離又は再掲していません。

図表 自由意見の内訳

内 訳	件数	掲載頁
目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために	34	p.58
テーマ1 防災・防犯	34	p.58
目標2 次代を担う子どもたちを育てるために	59	p.59
テーマ2 子ども・子育て支援	51	p.59
テーマ3 学校教育	4	p.61
テーマ4 青少年の健全育成	4	p.62
目標3 みんなで支え合い、安心していきいきと暮らすために	61	p.62
テーマ5 福祉(地域福祉・高齢福祉・障害者福祉)	61	p.62
目標4 健康で身近な学びと交流のあるまちをつくるために	17	p.64
テーマ6 健康づくり	6	p.64
テーマ7 スポーツ・レクリエーション	9	p.65
テーマ8 生涯学習	2	p.65
目標5 地域のつながりの中で、ぬくもりある暮らしをおくるために	83	p.65
テーマ9 地域コミュニティ	83	p.65
目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために	67	p.68
テーマ10 産業・観光振興	58	p.68
テーマ11 芸術・歴史文化	9	p.71
目標7 快適で利便性の高いまちをつくるために	63	p.71
テーマ12 市街地整備(住環境・街並み・景観)	45	p.71
テーマ13 道路・交通	18	p.73
目標8 環境にやさしく、自然と共生するために	83	p.74
テーマ14 水・緑・環境保全	83	p.74
その他	212	p.77

図表 テーマごとの自由意見の件数の順位



2 今後の調布市のまちづくりに関する自由意見

目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために

【テーマ1 防災・防犯】

災害に強い基盤づくり

- 災害に強い町づくり
- 災害に対して安全なまちづくりを希望
- 災害に強い調布だとこれから少しでも安心できる。
- 震災(天災)に対応できる街づくり
- 地理的条件を生かした防災
- 地震・災害が気がかりです。(とても共感できる)に丸が付ければ10年後は住みやすい調布市になるでしょね。

防災体制の充実

- 災害時などの時にも安心でき、市と市民がつながりを持ち、住らしていける、活気のある街になってほしい。
- 災害時に備える十分な体制作り(食料、備品貸出し等。世帯数に対応出来る位の量で)
- 防災、防犯の充実
- 防災・環境保全(時に空気と水)に重点をおいて欲しい。
- 近年必ず起こる地震時に、人口に対して避難場所の確保、水、食料等、ごみの処理、仮設トイレ等、職員の方達だけでは動ききれない時の、市民の協力の仕方等、きめ細かくマニュアル化して欲しいと思います
- 防災、防犯
- 防災・防犯に強いまち
- 災害時もみんながあわてずにいられるような体制作りのできたまち。
- 災害が起きても、人々が安心して生活することができるまち
- 防災に(減災)に強いまち
- 震災で防災意識が高まっている、現状、避難場所、保存食等の確保が安心したまちづくりにつながるを思います。
- 災害時に強い、子供達を地域みんなで支え合う、明るい未来を感じるまち
- 防災対策が充実しているまち
- 防犯、防災に対して安全安心なまちが最も重要と考えます。子供の声が聞こえるまち、二世帯、三世帯が共にくらせるまち、そのための対策が必要。

犯罪のない環境整備

- 犯罪が少ないまち。
- 犯罪がないまち
- 犯罪の無い街
- 地域の安全の確保に力を入れ、犯罪の無い街にして欲しい。
- 犯罪がなく、暗くなっても安心して(何年、何十年たっても)歩ける町。

防犯体制の充実

- とにかく治安、自然環境、福祉の充実等や当たり前の事をお願いします。

- 女性が夜遅く帰宅する時も安心できる防犯性の高いまちづくりをぜひ熱望します。(娘が仕事で帰宅が遅く、とても心配しています)
- 安全(交通, 防犯)な町
- 不気味なパトロール(自転車の荷台にも奇怪なパトロール中の看板!!)の老人たち, あれってどうしても必要ですか?
- 人口減少に伴う空家の増加から治安の悪化など考慮したまちづくり。
- 防犯・防災・交通などについて安全であることが, 何より一番大事であると感じます。と同時に活気のあるまちであることもやはり大切です。
- 防犯対策・住環境の整備等に今まで以上に取り組んで頂くよう宜しくお願い致します。

防災・防犯意識の向上

- 安心・安全で暮らせる地域見回り強化と活力のある町づくりを!!
- 調布にもどんだんマンションが設立され私の住まいもマンションに囲まれており普段は人と人のつながりがなく震災時はどの様に避難すべきか心配しております。

目標2 次代を担う子どもたちを育てるために

【テーマ2 子ども・子育て支援】

子どもを産み、育てたくなるまちづくり

- まだ越してきて1年, 知り合いが少ないので, 地域活動に参加し, いろんな人と出会い, 支え合いたいです。これから出産もするので, 子育ての情報もいろいろ欲しいです。
- 調布で育った人が親になり, またその子供達も調布で育っている方が多い。よく「調布が好きでみんな出て行っても, 子育てで戻る」と耳にします。私も大好きで子供達も大好きです。孤立させない!! 孤独を感じさせない, 連帯感がみな様の努力で根付いています。地域や学校, 商店の方々の見守りで子供達が伸びやかに育っています。人を幸せに出来るのは, 人の暖かさです。「あたたかい街」にして頂きたいと思います。
- 住みやすい安心できるまち。幼稚園の補助金の拡充, 医療制度(子ども)の拡充など毎年何度も要望書を私立幼稚園の団体より提出しているはずですが。もっと熱心に取り組んで頂けたらうれしく思います。そうすれば, もっと住みやすいまちになっていくのではないですか。子育てに対する対策が弱いと思います。
- 子育てがしやすい町
- 以前, 公ではありませんでしたが, 市長が“調布市は若い人達が増えてきて困る。学校や住居など限度がある”という主旨の発言をしているのを伺ったことがあります。若い世代が増えて困る状況は残念だと思います。今後, 市全体が高齢化していくのは将来像が暗いですね。若い世代が増えて欲しい, そのための支援体制と意識の転換をお願いしたいです
- 子育ての面でのサポートの強い環境づくり
- 子供をたいせつにする育児のしやすい町づくり
- 調布は子供が多いからこそ, 子供への金銭的な負担が減るといいと思います。高齢者や障害がある方へのサポートも大事だけれども, 子供を産まなければ高齢化が進むだけで, 産んで育てやすい環境作りに特化すべきである。

第4章 自由意見

- 子育て世代が特に活気に満ちたまち
- こどもを育むまち（障害児や養育家庭など弱者に優しく、待機児童が少なく、予防接種に補助のでるまち）
- 市営の幼稚園を作ってほしい。
- 子供を生み育てたいと思える環境とまち。3歳，0歳の子供を育てていますが，道が狭いので危険，子供を遊ばせる場所やイベントが少ない。不便に思う事多いです。昔から住んでいる人にとっては住みやすいかもしれませんが，外から来たものにとっては情報が少ないです。
- 将来的にも子供，教育に係わる取り組みは重要だと考えます。
- 子育て（教育）に人が移住して来る町づくり
- 子育てのしやすい街（総合こども園（園庭のある）の促進・希望者，希望園への全員入園）
- 子供，若者の多いまち
- 子育てはしにくい町だと思います。もう少し子育てしやすい町にしてください。
- 住んでいて幸せを感じられ，安心して子供を育てられるまち
- 今，子供中心の生活でもあるので，やはりこの先，子供たちが幸せにすごしていけるまちがいい。
- 子育て支援が充実していない
- 教育や子育て福祉など充実してほしい。
- 子供，高齢者の環境が充実したまち！！
- 楽しく子育てができるまち。たくさんの自然を生かして，明るく活発な子供たちを育てられるようなまち。
- 子育て環境の充実を中心としてまちづくりを行い，人の魅力（芸術家，職人等）で調布を輝かせる
- 子育てしやすい街
- 若い世代の子育てをしている家族への支援が充実したまち
- 幼い子を保育所に預けなくても暮らせる豊かな町（経済的に）
- 子供を育てやすい町でなければ発展の見込みはありません。また，お年寄りばかりだと活気がなく沈んでしまうので，子供も大人も老人もいるような町にしてもらいたい。団地が一気に人を入居させたので同じ年の人が年をとり，老人ばかりになってしまうという。長いスパンと短いスパン両方でものごとを進めて欲しい。
- 小児療育の充実したまち
- 自然を感じる事ができ，お年寄りに優しく，外部からも調布に住みたいと思われる様な子育ても充実したまちづくり

子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち

- 安心して子育て，仕事ができるまちづくり

地域で育てるまちづくり

- 「安心して子育て出来るまち」にするには人と人がつながり支え合うまちにしなければならぬし，住環境も整えなくてはならないし，災害・防犯対策も考えなくてはならないので，上記の「安心して子育てが出来まち」という視点で見れば，つながってくると思います。
- 地域全体で若い親を育て，子を育てる町。それにより高齢者，障害者も住みよくなる。ここに携わる人々を育てる町！！

- 就学前の子供とお年寄り（施設に入っている方とかひとり暮らしの方）が空教室や公民館等を利用してふれあいのチャンスを日々についたら如何ですか？子育てを終えたお母さんやおばあさんがお手伝いすると思いますよ。地域がまとまるきっかけにもなります。子供は大切に、上手に育てましょう。
- 人と人のつながりを大切にし、子供達が伸び伸びと安全に暮せるまち
- 子供会協力支援の充実，地域ごとで指導者ボランティア募集
- 災害時に強い，子供達を地域みんなで支え合う，明るい未来を感じるまち

子どもの安全・安心な環境づくり

- 子供を安心して外へ送り出せるまち(歩道が狭く危ない)
- 子どもを安心して育てられるまちにして欲しい。
- 子供を安心して育てられる環境のまち
- 安心して子育ての出来る街に
- 安心して子育てができること。(放しや能問題，保育園，学童，すべてにすぐれる。品川区みたいに)
- 安心して子育てができる街

子どもの遊び場・居場所づくり

- 元気な子供達のいるまち。
- 子供の遊び場，芸術とふれ合う場の充実
- 子供が元気なまち，自然いっぱいのまち，おいしいまち，パワフルなまち，是非，この計画1つ1つが実際に実感して生活できる町になってほしいです。
- 子供時代がとても楽しく過ごせた町としての調布（山，川，自然）
- 子供がのびのびと遊べる場所が少ないです。
- 子供達がキャッチボール出来る公園を作ってほしい。野川沿いに花や木（さくら）等植えて，ウォーキング楽しくなるようにしてほしい。休憩のベンチ，トイレがあると良い。
- 豊かな自然を活用して，スポーツ，文化を充実させ，心身共に健康な子供達が育つまちが良いと思います
- 子どもたちが元気に外でもあそび，地域と交流できるまち。

【テーマ3 学校教育】

教育の質の向上

- 世の中の子供，子育ての毎日ですが，競争し，勝ち抜ける子供の教育を。
- 最低教育のレベルアップ，おちこぼれを作らない，専門教育の充実

心の教育の充実

- 教育(道徳，心)
- 小学生に対する自然教育を行うまち。自分は，中学は調布市外の所に行ったのでやはり小学校のうちに地域のかかわりや自然を大切にしたい，対人に対する思いはサポートして育てるべきだと思います。でないと人がどんどん市外に行ってしまう。

【テーマ4 青少年の健全育成】

健全育成のビジョン・方針づくり

- 青年が健全に育成出来るまちづくり

健全育成のメニューや内容の充実

- 多様な価値観は必要だが、消費社会には限界が見えている。満足感や幸福感の基準をどこに置かないかを考えないと将来の負担は過大になると思われる。特に、子どもには社会教育が優先されるべきだ。

地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり

- 非行など少年犯罪の無い町に。

健全育成のための人・居場所などの基礎の再構築

- 若者が魅力を感じられるまち。若者の力で、もっと元気なまちにしてもらいたい！

目標3 みんなで支え合い、安心していきいきと暮らすために

【テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）】

見守り支えあいのまちづくりの推進

- 高齢者の一人として、一人暮らしは年を重ねる毎に淋しさと不安をかかえます。まだ一人で活動出来る高齢者が、一緒に住める施設があると良いのと思っています。高い入居金を支払って入っても満足出来ない友人の話聞く度に、収入制限の無い都営アパート並みの金額で老後が過ごせたら幸せだと思いますし、有難いと思うこの頃です。
- 今後高齢化して自分の事が出来なくなった時は、どうなるか不安です。
- 高齢者を孤立させない町
- 「一人暮らしの高齢者が安心して生活できるまちづくり」を目指せば、調布市に住み続けたいと思う
- 高齢化が進み、一人暮らしの方も増える中、孤立することなく、地域でも見守れる仕組みが必要
- 高齢者を支えるまち。
- 高齢者は勿論、全世代の幸福を感じられるまちづくり。
- 高齢者にやさしいまち、住居と仕事に恵まれば、1人1人に余裕ができて、より良くなると思う。
- 高齢になっても住みやすい町
- 安全で安心して暮らせるまち。とくに、高齢者が安心して暮らせるまち
- 高齢になっても安心して暮せる調布であればいいですが、やさしさと思いやりのある町であれば
- 安心して老後生活を送れること。
- 子育て世代も大切だが、孤独な老人など目をくばってほしい。
- 孤独死のない様コミュニティを活性化、また、高齢者の現状を把握し、有効活用していただきたいと思います。
- 独居老人や母子・父子家庭を地域住民が把握し、孤独死がないようなまちづくり（地域のつながり作り）
- 孤独死が無い様な町
- 孤独死ゼロの街

- 子供・お年寄りが安心して暮らせる見守りの町
- 孤独死を減らす。
- 少子高齢化が進む中で、1人で住んでいる老人が孤立しない、町づくりを希望する

ノーマライゼーションの意識啓発

- 高齢者にやさしいまち
- 調布市に限らず、これからも高齢者が増え続けます。高齢者の家族支援，高齢者介護をする若者の育成，高齢者を理解する教育が必要だと思います。
- 低所得者や障害者，高齢者，病気を抱えた人達等，社会的立場の弱い人間に対し，理解のある人が一人でもふえるようなまちづくり。自分の利益の追求でなく，他者を思いやり，差別の無いまちづくり
- 生活弱者はもちろんだけど，一般家庭の理解・協力を得るのは大事なのではと思います。
- 弱者（高齢者）を大切にする町
- すべてのテーマに「みんなが」とか「だれもが」とされていますが，その中に障害者，児も含めて考えてほしい。高齢者や障害者がすみやすい町＝市民のだれもがすみやすい町になるのではないのでしょうか。

地域福祉の担い手の育成・発掘

- ボランティアによる人とのつながりがもてるまち

社会的弱者に対する就労支援

- 高齢者の持っている潜在的な力を活かせるまちづくりをして欲しい。
- 社会的弱者と言われる人達（障害者，老人，子供）の能力を活かしたまちづくり
- 今後，急速に高齢化がすすむのだから，福祉を強化したり無償で行うことは，見直してほしいです，高齢者にも働く場を提供し，税金を収めてもらうことにこそ，注力してほしい。

誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

- とにかく治安，自然環境，福祉の充実等や当たり前の事をお願いします。
- 弱者にやさしいまちづくりが大切と考えます。
- 高齢者にも程々に住みやすい町であって欲しい
- 豊かな自然の中で弱者でも安心・安全な暮しが出来るまち。
- 私自身障害者なので，特に感じているのですが，弱者に住み易い及び行動しやすいまちづくりをお願いします
- 一人暮らしの高齢者に様々な便宜がある町（調布なら死ぬまで安心と思える町）
- 「高齢者が生活しやすい街づくり」をお願いします
- 一人一人が，強者も弱者も若者も老人も自立心をしっかり持っているまち，そして自立心を持った人をしっかり支援しているまち。
- 老後も生きがいを持って暮らせるまち。年金がもらえない時代がきても安心して暮らせるように支え合えるまち。
- 老人の住みやすい町にしてほしい
- 老人が充実した日々をおくれるまち
- 老人に優しい町作りを目ざしてほしい。介護施設等（公共）作って貰えたら幸せです。保育と一緒に笑い合えたら・・・

第4章 自由意見

- 高齢者が多くなる社会で生きるよろこびを感じられるまち。
- 高齢者，社会的弱者に優しいまち（バリアフリーも含め）
- お年よりが生活しやすい市にしていきたいです
- 高齢者や障害者が生活しやすい環境から整えばその他の人々はすでに十分な状況になると思う。
- 弱い人たちを支援し支え合うまち，子どもも高齢者も笑って暮せるまち
- 子供，高齢者の環境が充実したまち！！
- 自然を感じる事ができ，お年寄りに優しく，外部からも調布に住みたいと思われる様な子育ても充実したまちづくり
- 高齢者の今後，増加する対応を期待できるまちにしてもらいたい。
- 高齢者介護に重点を置いて欲しいです
- 福祉，介護サービスの向上
- 高福祉のまち
- 福祉の充実と緑豊かな環境と安心して暮らせる市民本意の街づくりを願っております。
- 市が行なっている（国，都）福祉サービス等を知らない人が多いので，公に色々と知らせる必要があると思う。
- 高齢者支援体制の充実
- 福祉の充実した街

福祉施設の質・量の向上

- 年老いても安心して暮らせるように公共の施設を多く建立していただきたい。
- 高齢者の方がこれから多くなると思います。施設の少なさ，金額的にもまだまだ高く，安心して預けられる施設が少ないと思います。自分の親も安心してたのめない，その一つには，そこで働く方の給料の少なさもあると思います。税金をむだに使わず安心してまかせられる施設があればと思います
- 自分の親を見ていて動けなくなって病院に入るが，転々と病院をたらい回しにされる。動けなくなった人を介護してくれる施設がほしい。自営業なので。付っきりではられない。生活が出来なくなる。「あすは我身」ぜひ，動けなくなった人の介護施設を作してほしい。
- 特養，老健の施設の増設をお願いしたい。市内に受け入れ先がなく息子の新座市に入所している。

目標4 健康で身近な学びと交流のあるまちをつくるために

【テーマ6 健康づくり】

市民の自発的な健康づくり活動を促す仕組みづくり

- 健康づくりに積極的なまち
- まわりをみても高齢者が多いので，いつまでも元気で動ける体づくりの足腰丈夫体操などに力を入れて欲しい。医者いらずに暮らしていける健康体力づくり教室に重点を入れて欲しい！

病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり

- 区内より健診の条件が厳しいと思う。もう少し充実した内容，期間をのばして欲しい。他は全てにおいて問題なし。とても良い場所だと思います。

医療体制の充実

- もう少し医療に手厚いまちになって欲しい。

- 医療費補助を（子供）中学生までに広げて欲しい。子育てがしやすくなります。
- 公的医療機関，思ったよりも，医療機関の使い勝手が悪い。特に休日，夜間の救急対応。

【テーマ7 スポーツ・レクリエーション】

スポーツ活動のための充実した環境づくり

- 高齢化が進み，卓球人口が増えてきました。調布体育館は充実しているが，卓球できる所が少ない。今や応募者が多く抽選になり，もれた人がやる所があったらと思う。
- 東部地域に運動施設が欲しい。
- スポーツ施設の充実

調布らしさを活かしたスポーツのまちづくり

- 活力のある町（スポーツ等々）。
- コミュニティのつながりがよいのは，スポーツ環境が比較的恵まれているからではないでしょうか。是非スポーツを中心とした市政を核にしてほしいと思います。
- スポーツに力を入れるまち。
- FC 東京を応援している
- 多世代が快適に暮らせる「まちづくり」とともに，現在ある観光，映画などの芸術，味スタなどスポーツ施設を資源として地域に根ざした企業とともに盛り上げて活力ある「まちづくり」を目指していただきたいと願います。
- 隣町の府中市となにかと比べてしまうが調布市という特徴・特色をもっと前面に押し出した街づくりを望みます。その意味でも2013年の国民体育大会の成功を期待，応援しています。頑張っていてアピールして沢山の人が調布に来ていただけるといいですね！

【テーマ8 生涯学習】

参加しやすい多様な生涯学習の機会づくり

- 教育水準が高く，大学が一般市民に開放されて生涯教育が行えること
- グ린ホールの活用，たづくりの活用

目標8 地域のつながりの中で，ぬくもりある暮らしをおくるために

【テーマ9 地域コミュニティ】

コミュニティ組織の育成・活性化

- 民度の高い地域社会の育成に取り組んで下さい。
- 人と人とのつながり，特に地域，隣人との絆，連絡（特に高齢者達）を強固にするまちづくり
- “向こう3軒両隣”という言葉が，それぞれの地域で普通に使えるような，生活ができるようになる為の手助け。

コミュニティ活動への参加機会の充実

- 引っ越してきた為，“ふれあい”が少ないので，もっと地域の人と交流を持てるまちにしてほしいです。
- 市民の住民参加意識が高いまち・・・(都内に比べると低いと思う)
- 世代共通で集える場や活動できるレクリエーションが増えればと思います。

第4章 自由意見

- 子供が大きくなってから調布に来ましたので、横のつながりがありません。スポーツジムも周りにたくさんあるのですが、友達が作りづらく、今も世田谷（前の家の近く）まで通っています。子育ての終わった世代が参加できるようなイベントがあれば・・・と思っています。
- 転居して来た者にとって、市報が唯一の頼りとなり、私の場合、一人暮らしなので、とても不安な日々を過しました。現在3年目に入り、どうにか環境にも慣れて参りました。その年度に移転した、一人暮らしの方達の集いがあつたらいいと思いました。特に若い方は別として高齢者にはそんな「一人暮らしの方たちの集い」があつたら心が軽くなれると思います。
- マンション内及びマンションと地域内のコミュニティ形成による町作りや防災対策
- いろいろな人が地域活動に参加できる環境作り

地域コミュニティを核としたまちづくり

- 田舎の出身者から見ると、調布も十分に人の出入りの激しい都会なので、「地域でみまもる」のような周辺住民を信頼すること前提での街づくりは限界があるように感じます。
- 今私が住んでいる所は、近所の人達との交流が少ない。また、町内でも一部の人達とは交流があるが、もう少し気楽に話しが出来る町に出来れば、年をとっても生きていくのも楽しくなると思う。若い人達とはほとんど話すこともない。調布に住んで良かったと思える町にしたい
- 孤立しないまち作り、存在感を確かめられるまち
- 人と人が支え合うまちが理想と思うが、年齢が高くなると気持ちが硬い人が多いと考える。そのところのフォローが必要かと思う
- 歴史ある町故、古くから居住する方と、市長を中心に、新しい市民を加えて、考えて頂きたいものです。多言多謝
- 今の時代、希薄な付き合い方しかできない人達が多く、何かを連携して暮らしていくことが難しい感じがします。せめて調布市の一部からでも、ふれあいを大事にできる町づくりに興味があります
- 今までの調布市は緑も多く人は皆やさしかったと思います。今は自分がよければと言うような町になってしまったと思います。私が調布に住むようになった頃にご近所のつながりも多くありました。今では、個人情報保護法とかで人々がやさしくなくなり自分勝手になってしまったように思います。
- 我が家は隣近所がいざ何かが起こって人手が必要という時に今現在、大変良い関係が出来上がっていますので、団地やマンションでも出来るだけ沢山の人がそうなってほしいと願っていますが、人それぞれですから無理も言えませんね。
- コンクリートの施設の充実よりも人を大切にする仕組み作りとつながりを大切にする「まち」
- 近隣地域の交流とコミュニティの充実
- 近所・地域で仲良く暮らせる町。
- ゆとり(心の)があり愛のある町
- 地域で支え合うコミュニティ豊かなまち作り
- 人と人がつながり支え合い安心して暮らせるまち。
- 地域コミュニケーションが充実し、安心して住める街。
- 人と人がつながり合え、安心して住めるまちづくりが出来るといいと思います。
- 地域の人がつながり合い、その考え方が行政に伝わるまち。

- 人とのつながりを感じられるまち
- 人があたたかく、元気があり、新しい人をうけいれてくれるやさしいまち
- 自治会長さん、老人会にも入り本当に、役員の方々にはお世話になり感謝致しております。防災訓練にも多数参加、夜回りも、しっかりやっております。
- 高齢者、働きざかりの年代の人々（子育ての時代の人々）、子供達世代間で協力し合いふれ合いの中で孤立化しない社会づくりに取り組んで頂きたい。
- ふれあいがあるまち
- 地域のつながりがあるまち
- 人と人がつながり支え合うまち、活力のあるまち
- 人とのふれ合いが暖かく感じられるまち。
- 人と人がつながり支え互いに助けあえるまち。思いやりの心がいっぱいなまち。元気なまち。
- 市民同士が何事にも協力し合えるまち。
- 今まで暮らしてきた町の中で調布ほど暮らしやすい所はありませんでした。その一番の理由を私はコミュニティの多さ、住人の優しい気風、きどらない心だと思っています。
- 安心して生活が出来る町、医療、自然環境、人と人との交流において
- 人と人がつながり支え合うまち。高齢者にやさしいまちづくり
- 隣近所とつきあいができ、互いに絆を結べる町
- 市と人のつながりが必要
- 全世代がつながりを持ち、支え合い、活力のある町
- 人を見守ることのできる町
- 生き生きと、人と心が通い合える、地元を愛せる街
- 人と人とのつながりを大切に、人々が笑顔で過ごせるまち
- 目と目が合ったら、微笑みあえる様な親しみのある街。外国に行って特に感じましたので、外国の方や子供達には実行しています。（白人の方は必ず頬笑んでくれます）
- やはり「人とのつながりを大切にするまち」だと思う。もう箱モノ行政には皆うんざりしているのに、まだ何も変わっていないような気がします。もっと「人」にお金を回してください。「箱」ではなく！！
- となりの方々と気楽につきあえるまち
- 地域のふれあい
- 地域での人と人とのつながり、支え合うことのできる場、街づくり。
- 人とのつながり（世代を越えた）
- 多種多様な人々が、それぞれの違いを理解しながら助け合うまちにしてほしい。
- 地域の人達とのつながりを大切にするまち
- 人とひととがつながりあえる町
- 町みんなが声をかけあえるような人間づくり。
- “あいさつ”ができるまち。自分よりもまず他の人や地域に目を向けられる様なまちづくり。協力しあえるまち。
- 人情味あふれる町。
- 高齢化に伴い、一人暮らしの世帯が増え、孤独死など一番あってはならないこと。「絆」のまちに。

第4章 自由意見

- 地域のつながりの強化
- 助け合える街
- 今ある良さは生かしつつ、皆が「自分には関係ない」と思わず、協力し合えるまち
- 信頼しあい、支え合うまち
- 急速に高齢化に進んでいます。地域での協力体制に力を入れて下さい。先ずモデルケースを作っては。障害を持っている人、高齢者、子供、笑顔があるまちづくり。若い人が生活しやすい場作りをして下さい。
- 人と人のつながりを楽しい、幸せだと感じられるまち。そして未来を担う子どもたちの育成に皆が協力的なまち。
- 人と人が支え合えるまちになると幸せを感じます。
- 人とのつながりが感じられるまちづくり。便利である事を優先しないしてほしい、古くからある物、しきたりなども大切にしていける事も、今だから問われているのでは。
- 地域のふれあいがあり安心して暮らせるまち
- 人と人とのつながりを大切にするまち
- 近隣住民との交流、住みやすいまち
- 自治会活動が低調なので全員参加を呼びかけてはどうか。私の地域ではほとんど活動がない。
- 人と人がつながり支え合うまちづくり
- 調布市民であることの連帯を感じられるまちであること。
- 道で会った時に「おはようございます」「こんにちは」などあいさつがお互いにできる、明るい街になってほしい。おまわりさんも！！
- 人と人、ご近所同志の交流の有る町
- 思いやりのあるまち。人に配慮のあるまち
- 思いやり、助け合いのある町！！
- 地域のつながりやコミュニティを大切にする
- 子供は、お年寄りに大人は子供達に健康な人は障害のある人に手を差しのべられる人となりのつながりのあるまち
- 思いやり、助け合う温もりのあるまちづくり。(住みやすい生活向上を目指し環境を整えていく中で、近い時期にやってくるといわれる地震等緊急災害時(被災時)にも迅速な対応(対策把握)が助け合う中でスムーズに行える人となりのつながりのあるまち)
- 人と人がつながり合える街にしていただけたらと思います

目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために

【テーマ10 産業・観光振興】

観光資源の発掘・魅力向上

- 他にはない映画という産業があることをもっと全面に出してもよいのでは？
- 緑が多く自然豊かだが、おしゃれでにぎやかな街にしたい。
- 活力のあるまち。
- 「観光地」と言う程のものではなくても、住民がちょっと行ってみたいくなる場所へもっと行きやすく、情報を伝えてもらえると、より調布を知りたくなると思いました。

- 観光資源が豊富であるので、その資源をもっと活用し、活力のあるまちにして欲しい。
- 活気のあるまち
- 文化的で映画のまち
- 特徴のある町
- 調布市と言えば誰でも知っているような、特徴のある町づくり
- 住み環境はよいですが、人が集まる街ではないと思います。深大寺などいくつかありますが、もっといろんな世代を呼びこめる施設があったら、まちの活性化につながるのではないかと思います。
- 調布らしさを活かした温かみのあるまち
- 活力のあるまち、幸せを感じられるまち、これに尽きます
- 調布市民である事が誇りに思う。知人友人に調布の観光地など機会ある事伝えている
- 活力と自然のある街。
- 活力がある町
- 子供が元気なまち、自然いっぱいのまち、おいしいまち、パワフルなまち、是非、この計画1つ1つが実際に実感して生活できる町になってほしいです。
- 活力のあるまち、もっと商店街が元気になってほしいです。
- 居住者のみならず、来訪者も楽しめる町
- 深大寺、味の素スタジアム、野川、映画スタジオ、多摩川、飛行場、大学、限りなく魅力がある調布を更にPRすべき！！
- 活力のある町が一番だと思います。(それがあれば、人がつながりを持ち、支え合えるし、幸せを感じられると思うから。)
- スタジアムを利用した地域活性化するイベント
- 現在活性化が必要なので「活力のあるまち」
- 持続可能で魅力あふれるまち
- 何かとても地味で活気を感じない。新宿から近く都会のはずが、何故か田舎の町の様に思われる。魅力の町、いや調布市にしていきたい。
- 歴史、自然を活用した観光施設の整備
- 調布ならではの魅力を発掘し、育てながら活力を持たせつつも日常的にはホッと安心できるような街であってほしいです。
- 高層住宅化による市人口の増大と増大による都市化と商業施設の活性
- 印象も実際に住んでも魅力的な街。いい意味で、昔の田舎のイメージを残せたらと思います。目玉はどんどんアピールすべきだと思います(花火、深大寺、飛行場、神代公園、多摩川、撮影所等)郷土愛にあふれる市民が多くなれば・・・と。
- 活力のあるバランスのとれたまちづくり。
- 若者が住みやすく、商店の充実がある町。映画館がないから映画館を。
- 深大寺周辺、多摩川周辺の環境を整え、住民には誇れる地域、他からの訪問者には楽しんでもらえる地域にしたらよいのではないかと
- お散歩が楽しい街！バスも使って途中でおりて歩いてみましょう！！深大寺、植物園へまたどうぞ！！野川の川べりも楽しい！！おすすめ！！お散歩コースへまたどうぞ！！

第4章 自由意見

- ゲゲゲの鬼太郎ミュージアムを作ってほしい
- 建物と美しい緑の植物との調和を保ち、日常の生活の必要品が歩いて5分以内の所で買物が出来て、近くに趣味を楽しめる集会場があり、若い人、老人と一緒に楽しめるイベントが年2回くらいあるまち。
- このようなアンケートに答えることができよかったです。調布駅の工事などもあり、これからさらによくなっていくチャンスがあると思うのでより便利で活気のあるまちづくりを期待しています。182（冊子）なども読むのを楽しみにしています。役所だけでなく、会社や学校などが柔軟に関係を築いていくのが理想です。

快適で魅力的な買い物環境の創出

- 駅前にもっと魅力的な店や施設を整備してほしい
- 都心に出なくても楽しく充実した生活が送れる活気のある町
- 商業の充実
- 共存共栄、活力のあるまち
- 現在住んでいる所が、街として成り立っていないと思う。京王閣があるせい？引っ越してきて3ヶ月程ですが、商店はなく、何もない所です。調布駅まで出るか、仕事帰りに新宿で買物する（普段の）しかありません。ちょっとさみしい感じです。
- 個人のお店が閉店してしまい買物が大変不便
- もっと企業を呼び込み、若者が住みたいと思える利便性のある町にほしい
- 買物等に便利な町
- 千歳烏山の商店街のような活力のある街作り

企業活動に対する支援の充実

- 若い人にも独立のチャンスのある起業特区をつくる
- 大企業で市内に誘致し、経済・産業面で活性化をはかった方が良い
- 働く場所が多い町
- 財政が豊かになるよう企業をもっと呼び込む。
- 企業誘致により税収のアップにつなげ。財政基盤を強くすること。それが無ければ絵に画いた餅のような視点で取り組むにしろ、多くのものは、“金”の裏付が必要である。個人への課税以外に収入を増やす方法、例えば優良企業の誘致などを同時に考えて置く必要がある。
- 少子高齢化の時代だからこそ、若い人達が集う街にほしい。個人的には、企業家など、新たなチャレンジをする人達を支援する街にほしい。
- 安心して働けるまち、他の自治体からうらやましいと思われるまち
- 民間企業との共栄
- 地理的条件を生かした防災、産業の育成

都市農業・地産地消の推進

- 農家との共存と商店街の充実
- 都市農業の発展（後継者の養成）、若者が安心して働ける活力ある町づくりを支援する。
- 自然環境を大切にしながら続けて欲しい。農業造園業を続けている方たちがいるから自然が豊か。次世代に引き継げるよう守ってあげて欲しい。
- 産業・農業が活気のある町づくり

【テーマ11 芸術・歴史文化】

芸術・文化的な資源を活かしたまちづくり

- 芸術と文化のまち。
- 桐朋音大を核にした音楽の街作りを積極的に推進して欲しい。
- 子供の遊び場，芸術とふれ合う場の充実
- 文化的，自然環境が良いまち
- 調布市独自の文化，自然の充実，統一された歴史のある街並み
- 活力のあるまち。正直申しまして，主人と結婚しなければ，調布がどんな市なのか知らずに人生を終えていました。調布に住み始めて，ここを活かせば良いのに・・・と思うことがあります。それは，文化・芸術を提供できる場（願わくば，国際一と付くくらいに）こそ調布はふさわしい町だと思いました。国際音楽会や国際大会・また芸術や学術のまちとして発展して行って欲しいです。（知性のある市となって頂きたいです）
- 昔から何となく好き，人々が文化的・質が高いから

歴史的資源の保全と活用

- 歴史や伝統があるまち
- 統一された歴史のある街並み

目標7 快適で利便性の高いまちをつくるために

【テーマ12 市街地整備（住環境・街並み・景観）】

良好な街並みの形成

- 調布といっても，調布側と，東の世田谷寄りでは雰囲気も全く違います。それぞれの特色を生かしてあたたか味のある街になればいいと思います。
- 街並が美しく統一されて，自然の美と人工の美の調和が取れていること。
- 地域ごとにメリハリのある特徴をもったまちづくり，活性化したオープンスペースのある街並み
- 街並みを整える。特に広い歩道や，植樹など見た感じのよい街並みにすると自然と色々と良くなると思う。人々がゆったりと生活出来ると，人も集まり活力も出てくると思う。
- 多摩川等を含めたまちの美しさ（利便性）は多摩川屈指だと思う。まちの魅力を増強するべく景観規制をもっとゴリゴリ進めて欲しい。南口はどんどん汚くなっている。強気のまちづくり行政を期待している。
- 交通の便がよい。例えば京王電鉄，甲州街道はいいのですが，どんどん家がたち，人口も多くなってしまうようです。問24で書きましたが芦花公園の南側のように，電線を地下に埋めてすっきりした街ができれば，と。
- 平べったいまち：高層建物がなく，緑色（自然や農地）に埋もれているイメージ，その緑色の中は居心地が良い。
- あまりマンションを乱立させないでほしい。

快適な住環境の整備

- 自然と居住のバランスの良い街。
- 開放感のある街づくり。
- 心が豊かになる街。安らぐ空間作り。

第4章 自由意見

- もっと空地を確保してほしい。生活道路をゆったりと・・・
- 今ある自然は、維持し、子供たちが元気に遊び、大人や年配の人も外を歩きたくなるようなまちづくり。
- 都市郊外としてのまちとして拡充していくのがいいと感じます。娯楽施設を多数誘致するまちは、求めています。
- ゆっくり、ゆったり、ゆとりのあるまち。自然・文化・スポーツ・利便性すべてが丁度良く活気のあるまち。どんがっていない安心さ、幸福感・・・ありがたいまち。
- 住環境の整備
- 安全で環境が良く、利便性があり、長く住みたいと思う街
- 安全性・快適性の向上
- 住環境が整った安心して暮らせるまち
- 近年、ビル・マンションが増えている。同時に建売住宅が増え、家々が密集し住環境が悪くなってきた。今、対策を考えないと将来は…！！
- まだ、将来設定は未定な部分があるが、住環境の変化は、生活が充実するので、発展していくことを心から願っております
- 住み心地の良い街
- 多摩川住宅はとてもいいところだなあと思いました。
- 田舎の素朴さ、都会の便利さ、併せ持ったずっと住みたくなる街
- 建物と美しい緑の植物との調和を保ち、日常の生活の必要品が歩いて5分以内の所で買物が出来て、近くに趣味を楽しめる集会場があり、若い人、老人と一緒に楽しめるイベントが年2回くらいある町。
- どうあがいても府中市みたいにはなれないので施設や箱物の充実面で都心（都庁）にいちばん近いのどかな街
- 青渭神社横の丘陵地の整備充実（公共トイレの新設、仮設でも可）、各地域にドッグ（ミニでも可）ランドの整備
- 調布駅前の工事に伴い、伝統や緑を残すことも大事だが、近未来を考えた都市化も視野にいったまちづくりをおこなってほしい。
- 市のすみずみまで、快適に暮らせる街。繁華街以外にも、安心・安全・便利が行き届いている街。
- 多摩川があり緑が多く田舎っぽく、なつかしいいい街です。ひとりになっても離れたくありません。ほんとに好きな街です
- 駅周辺のみが活性化されているので、その一歩奥に入った“街”としても活力がみられると、より住みやすいと思います。
- 高層マンションは、充分考えて建てる場所に配慮が必要に思う。
- 老人になっても、賃貸住宅で暮らせるような住環境を整えて欲しい。

駅周辺の整備

- 駅周辺の整備が充実して(今期都市計画)更に住み良くなるのでとても感謝しています。ありがとうございます。
- 1日も早く、調布の駅が歩きやすく、また最近コンビニ、スーパーの事件が少しこわい感じ。子供達、大人と声をかけて元気に。

- 調布は、京王線の分岐点であり、もっと活気のある市になっても良い。もっと、大型スーパーなど、駅前を整備してほしい。
- 京王線地下化により調布の町がどのようなになるのか楽しみです
- 京王線柴崎駅の整備の遅れを取り戻し、工事をして欲しい
- 調布駅が（踏切）が地下に入って渋滞がなくなり、便利になると思います。楽しみです。
- 駅前の商業施設の充実
- 調布駅を使って通学しているので京王線の国領から西調布にかけての工事に期待しています。より良い住環境に頑張ってください。
- 近頃は駅前中心に整備されてきていて驚くばかりです。場所によってはちがいがあられるのかもしれませんが、若い方々の意見を聞いて町づくりができることを望んでいます。
- パチンコ屋が多く不快。特に駅の周り。市の遊園地の遊具が古く、危険なため、定期的点検・整備をして欲しい
- 京王線の地下化がどういう効果をもたらすのかが、まだ不明ですが、抽象的ながら何かの発展のきっかけになるのではと考えています。その効果を上手に活かしていくことが必要であり、場合によっては総合計画を柔軟に見直すなどの策も必要かもしれません。
- 京王線が地下化になったら、その跡地の活用方法によっては調布のイメージ、真価が問われると思います。

【テーマ13 道路・交通】

幹線道路の整備

- 道路交通の整備（交通アクセス）
- 道路の補修で雨が浸透する素材を使ってやれる所はしてほしい。

生活道路の整備

- 歩道に電柱などあり、孫とベビーカーで歩けない。年寄りにとって道路整備が出来ていない所が多く住みにくい。
- 道路・河川の安全性
- 公衆用トイレが極めて少ないように思います。又、歩道用の信号が少ないとも思います。
- 車椅子等がスムーズに使用できるような道路環境を整えて欲しい。自転車が増えすぎて、交差点を渡る時など四方から自転車に囲まれて怖い時すらある。
- 一方通行にすべきと思う道、速度制限に疑問のある道等、道路行政に疑問・課題が多いと思います。全体を抜本的に見直すべきではありませんか？左折禁止も何故？と思う箇所多いです。左折禁止の時間指定にも何故と思うこと多いです。特に歩行者の安全の観点で見直すべきです
- 電柱が無くて、空が広い街
- 生活道路の整備（障がい者、高齢者が安心して歩けるように）
- 遊歩道、自転車専用ゾーン、歩道の整備を向上させてほしい。
- 調布は歴史有る古い町。だから全般的に道路が狭い。この点が不満です。
- 情報を取り入れた生活が出来るので良いと思っています。ただ道路がせまく安心して歩けません整備して頂きたいと切に思います。
- 道路が狭いので、整備を急ぐ必要がある。子供、お年寄の目線では危険が多い。

第4章 自由意見

- 交通マナーの早急の改善を期待しています。
- 電線の地下化希望

自転車対策の推進

- 自転車に乗る人のマナーが悪く、怖い思いをすることが度々。
- 各駅の自転車おき場が充実した環境にする必要があると思う。
- 清潔感のある町。例えば、違反駐輪している自転車が1台であれば、皆同じように止めていきます。しかし、一切違反されているものがなければ、そこに止めようと思う人はいないと思います。整理整頓された町があれば、住民は自らルールを守ると思います。住民（市民）が自発的に行動できるような町づくりが大切なのではないかと私は思います。
- 道路も狭い道が多く、自転車で走りづらい

バス交通の利便性の向上

- バス路線の充実をお願いしたい。市役所へ行く便が不足
- もう少しバスの回数を増やしてほしい。前は鶴川街道も通っていたのですが・・・
- 高齢者と障がい者の孤立を防ぐためには、まず公共交通網の充実が必要。ミニバスが最近運行を開始したが、その影響で既存のバス路線のバスの便数が減ったのは本末転倒。バス停も少なく、買物弱者を作らないようにする考えに沿っていない。市民が幸せを感じられるまちにするにはアクセスの改善が必要。

駅周辺の交通利便性の向上

- 新宿から15分、便利なまちである。駅前には駅前として利便性を向上し、周辺はのんびりした住宅地が良い。
- 交通の要所(京王線の分岐点、調布インターがある)なので、もっと人が集まる街にしたい！
- 交通の便が良いまち
- 交通の便
- 交通の便が良い事と、活力がある町、買い物にも便利であってほしい
- 調布市に住んで10年を超えましたが、まだ行ったことのない地域がたくさんあります。駅から交通の便が悪い所や駐車場のない所はなかなか足が向きません。

目標8 環境にやさしく、自然と共生するために

【テーマ14 水・緑・環境保全】

豊かな自然を生かしたまちづくり

- 自然環境の整備充実
- 深大寺周辺の豊かな自然を守っていききたい
- 自然を利用した町づくりが出来る可能性があります。
- 健全な財政のもと、豊かな自然を生かした街づくり
- とにかく治安、自然環境、福祉の充実等や当たり前の事をお願いします。
- 自然を大切に、隣人と仲良く助け合える町
- 水と緑と寺とそばの街が気に入っています。
- 周囲に住んでいる人々と自然に声かけられるまちづくり、豊かな自然を大切に守ってほしい。
- 緑の多い街！

- 神代植物公園など、都内で有数の自然林を残す地域とする。野川流域の他市町村との連携をとり、全体で景観を守る。
- 自然を大切に
- 緑豊かな町を大切にしていきたい
- 緑が多い自然豊かな心安らげる町
- 緑が多く、水がきれいなことを残してほしい。
- 町、街路に非常にグリーンが多い
- 防災・環境保全（時に空気と水）に重点をおいて欲しい。
- 多摩川や武蔵野の自然と共生したまちづくり。
- 都会の多くがガラガラ派手になって行く中で、市民農園や体験農園もあり、川、緑に囲まれた環境をこれからも大切に心のオアシスとなるような街作りに専念して欲しいです。行き過ぎた商業主義は住民を疲れさせると思います。調布市を離れるのが本当に無念でしかたありません。
- 都内に近い場所でありながら、自然を壊すことなく、空気のおいしさをかんじられるまち
- 緑豊かで治安が良い街
- 豊かな自然があること
- 緑の多い町
- 自然と共生できるまち
- 豊かな自然に囲まれて住み、働く場所が近くにあること。
- これ以上緑を減らさない街
- 多摩川、野川、深大寺など自然と共生するまちづくり
- 深大寺植物公園周辺の空気を整備して、調布市民の憩いの場所にして欲しい
- 深大寺、神代植物園も近く、楽しい所で、近隣の人々も皆仲良くして、よい町と思っています
- 豊かな自然環境の中で、人と人との心が自然に触れ合えるやさしいまち
- 落ち着いたまち、静かなまち、自然があるまち
- 人と自然がふれあう町～調布
- 美しく、穏やかな環境（野川、公園など）があり落ち着ける。
- 緑がなさすぎる。
- 野川等、自然に足を踏み入れる事の出来る様な環境。子供達の育成に必要なかと思いますが・・・。
- 活力と自然のある街。
- 文化的、自然環境が良いまち
- 豊かな自然を大切に、子供から老人までゆったりしてかつ活力あるまちづくりに取組んで欲しい。
- 子供が元気なまち、自然いっぱいのもち、おいしいまち、パワフルなまち、是非、この計画1つ1つが実際に実感して生活できる町になってほしいです。
- 恵まれた自然環境を生かして、美しい街並、モラル高い住民による住みやすいまち作りを希望します。
- 豊かな自然を大切に、どこか心やすらぐ場所が近くにあり四季が楽しめる幸せがある街
- 自然環境が良い

第4章 自由意見

- 地球環境を考え緑が多く、都会的なプチおしゃれなまち…
- 自然を守りながら、安全、安心なまちづくり
- 豊かな自然を活かしたまちづくり
- 自然を生かしたまち。多少、不便でも、足りないものがあっても良い。大きな箱モノもいない。散歩したくなるまちでいてほしい。自家用車のための道はらない。その分公共交通機関を充実させ、空気をきれいにしましょう。
- 環境と創造の街
- 豊かな自然が残る調布市であってほしい！！
- 市政がゆきとどき、落ちついた町でありますように。自然が豊かで都心に近いよい町なのですから・・・
- 環境に配慮したまち（単に便利さだけを求めるのではなく）
- 保全と開発
- 調布らしい自然と、人とのつながりを支える町づくり。
- 自然の豊かな環境を生かし、特に農業の復興ができる街づくりになると良いと思います。
- 緑が多いまち
- 豊かな自然のある場所で、安心して暮らせるまち。
- 「緑あふれる街」は誇りです。この自然の中から「幸せ」「つながり」「活力」等が芽生え、育くまれるのだと思います。市の皆様頑張って下さい。
- 花と緑のあふれる街
- 自然がとっても豊かで活力のあるまち（緑が多い）
- いつまでも緑り豊かな町であります様に祈ります
- 自然の中で子ども安心して育てられるまちにお願いします。
- この先も自然を大切にすることをお願いします。
- 自然を感じる事ができ、お年寄りに優しく、外部からも調布に住みたいと思われる様な子育ても充実したまちづくり
- 自然を残したまま、まちづくりをして頂きたいです。野川公園など、豊かな自然がある調布は好きです。
- 緑があふれるまちであってほしいです
- 緑が多い街づくり。建物が高温にならない様な対策をしてほしい
- 自然の充実
- 福祉の充実と緑豊かな環境と安心して暮らせる市民本意の街づくりを願っております。
- 建物と美しい緑の植物との調和を保ち、日常の生活の必要品が歩いて5分以内の所で買物が出来て、近くに趣味を楽しめる集会場があり、若い人、老人と一緒に楽しめるイベントが年2回くらいある町。
- 自然の豊かさ、人々の心の豊かさを感じられるまち

公園や緑地の保全・整備

- 多摩川をながめながら散歩出来る様望む。
- 自然（樹木）のある心地良い、道路にベンチと花のある空間やいこいの場、等毎日少しの幸せを感じられるまちづくりを。

- 緑地を増やす

良好な水環境の保全・整備

- 多摩川の豊かな自然を変えないでほしい。
- 良好な水環境の保全・整備

生活環境の保全

- 放射能の影響を最大限配慮し、次世代に安心して引き継げる安全な街づくりが必要である。
- 人や動物(鳥や猫)にもやさしい街
- せっかく整備された道や公園でもペットのふんが多く、避けて通ってしまう。そういう点が改善されれば・・・と思います。
- 歩き煙草に対する指導, 取り締り(条例の制定)をもっと積極的に取り組み, 吸わない人や, 子どもが, 安心して歩けるようなまちづくりをお願いします。
- 最近犬の愛護者が多く, 散歩の際の道路上の排せつ物も放置されたまま。衛生にも悪いです。路上にごみ等の不燃物がちらかっていない美しい町。人々の気づかいが感じられる町。
- 今ある自然をこれ以上なくさないようなまちづくりをしてほしい。またゴミの減少を推めるような取り組みをしてほしい。
- 犬や猫の保護し, 里親をさがし, 殺さないで, やられている市があります。少しでも命を救っていただける様。
- 路上禁煙を徹底するまち
- 路上喫煙を禁止して下さい!

地球環境の保全

- 「幸せを感じられるまち, 人と人がつながり支え合うまち, 活力のあるまち」こういう言葉は極めて抽象的で具体性に欠ける。今, 地球規模で環境破壊, 生態系の変化が起こっている。それはアメリカの元副大統領ゴア氏の書いた「不都合な真実」をよめばすぐわかる。CO2 をこれ以上出さないこと, 余分なハコモノはつくらないこと。緑を増やすこと, このあたりを考えて欲しい。

その他

【まちの将来像について】

- やさしいまち
- ひとりひとりが, 自分らしく幸せに暮らせるまち
- 人を大事にして, 人が住みたくなる街。
- 平和で心静かに暮らせるまち。
- 安心して過ごせるまち
- 安心して暮らせるまち(子供や高齢者等すべての人にとって暮らしやすい環境づくり)
- 安心して暮らせる町
- 住みやすく, 安心で, 新しい事に積極的な街。
- 安心して暮らせる街
- 安らぎを得られるまち
- 高齢者や子供が安心して暮すことができる町づくり
- 安心して住める町, 市政にしてほしい。

第4章 自由意見

- 誰もが安心して生きられるまち
- 誰にでも住みやすい，暮らしやすいまち
- 調布以外の人にやさしく，受け入れやすいまちづくり。
- 安心して暮せる街に！高齢者も若い親たちも，自分を少しでも向上させる努力をしたい。種々お骨折り感謝いたします。
- こちよ町
- 暮らしやすく安心・安全なまち
- 安心して暮らせるまち
- 安心
- 安全なまち，便利なまち
- 安全で安心して暮すことができ，行政のしっかりとした市民のためを思い市民をしっかりサポートし守ってくれるまち
- 住む人は安心を，外から来た人は楽しみを，感じられるような町，地味すぎず，派手すぎず。
- 安心して住める市であって欲しい。
- 女性が一人でも安心して生活できるまち
- 安心して暮らせるまち
- 安心して暮らせるようにしてほしい！！
- 安全で安心して暮らせる町
- 生活しやすいまち，安全なまち。都心に近く，しかも緑も豊か。液状化の心配もない。このような素晴らしい条件はそろっているのになぜか雑然としていてパツとしないのが今の調布。特別なことをするのではなく，「安心・安全な住宅地」を目指してほしい。がんばって下さい。
- 誰もが安全で安心して暮らせるまち
- 誰もが安心して暮らせる町
- 安全で安心に暮せる町でありたい。
- 安全な町
- 安全安心で絆のある町
- 安全安心なまち
- 安全・安心・安定
- 安全な町
- 安全で安心して暮らせるまち，そのための環境づくり
- 安全，安心を重点にした，生活環境づくりを，第一に市政に反映させて頂きたい。
- “安心して暮らせるまち” 犯罪の少ないまちづくり，安心して年をとれるまちづくり，子供が，ひとりぐらしの女性が，高齢者が，障がい者が安心して暮らせるまちであり続けてほしい。
- 皆が安心して暮せる町
- 安全に暮せるまち
- 安全・安心に暮らせる町
- 安全で安心して暮らせるまち，災害に強いまち
- 安全で毎日が安心して住めるまちにして欲しい。
- トータルな利便性，安全

- 小さな子供から高齢者まで安心して仲良く暮らせるまち。
- 今、住んでいる人たちが調布市で良かったって思える町になってもらいたい。
- 調布に住んでいる事をうらやましがられるまち
- 住んでいることが自慢できるまち
- 東京都の中でも一番だと思えるまち
- 転入して来た方や、調布市に住みたいと考えている人に、調布は魅力があると思ってもらえるまち。
- 23区に負けない魅力ある調布市、価値ある調布市、いつか住みたくなる街、調布市とか。
- 人に薦めたくなるまち
- 自他共に誇れる街づくり
- 東京の人に知られるまちになる。
- 外の目から見て住みたいと思える街づくり
- 自然あふれ、人とのつながりが強く、私のふるさとと、いつまでも心に残る町にしてほしい。
- 心を豊かにできるまち
- 美しいまち。
- 市民の満足度を100%に出来るまちづくり
- 家賃が安い街
- みんなが幸せなまち
- ずっと住みたいと思うまち
- 最後に「人生楽しかった」と言えれば最高。その様な街に
- だれでもが住みたいと思うまち。
- 住み続けられるまち
- 幸せだったとなんと思いつつ住んでいたい。
- 新生児から高齢者までが皆幸せになれるまち
- どんな人達で住みやすいと思えるまちがいいなと思います
- 未来をつくるまち（未来は、今つくるところから。）
- 人が育っていくまち、人が人を育てていくまち。
- 静かに暮らせる街、これといって不満のない街
- 幸せを感じられるまち
- 市外から来た人でも住みやすい街。
- 生まれ変わってもまた住みたい街にしませんか。
- ストレスを感じないまち、ゆったりしているが活力のあるまち
- なに事にたいしても幸せと感じられる町づくり
- 活力のある街だと思います。明るく子供達も、外で元気に遊べ、誰とでもあいさつのできる、人を思いやれる笑顔の街作りだと思います。
- リタイア後も（に）住みたいと思う町づくり
- 健康で、安心安全な笑顔あふれるまち
- 生活しやすい、学びと知性があふれたまち。
- 市民1人1人が町を良くしようと考えて、実際に活かされている事が分かる町

第4章 自由意見

- 国際色豊かな町になればいい。
- 人と人がつながり支え合える町にして下さい。
- 安心をして暮して、周囲とつながりがある事
- 財政的に豊かな街
- 市民の意見がつくるまち
- 市と市民が信頼しあえるまち
- 東京都で一番議員報酬の低いまち
- 市役所職員の人件費等を削減し活力ある町
- 行政のいき届いた暖かい町が良いと思います。
- 行政と市民がコミュニケーションとれるまち
- 住人の声が届いていると実感できるまちづくり
- 情報が共有され市民の声が聞こえるまち。

【まちづくりの方向性について】

- 東京都内で、調布の価値を高めることを意識した取組が必要だと考える。いくつも魅力的なところができれば、調布に住みたいと思う人が増えるのでは。
- 他の地域の人にうらやましがられるような、市民のことを第一に考え、市に守られていると実感できる街に進化して欲しい
- 住民が調布にほこりを持てる様な明確なビジョンが必要だと思います。
- すばらしい魅力をもった所だと思うが、あまりにもそれをいかしていない。というか、その魅力に気づいてないところがもったいない。
- まちづくりの方向性のテーマがみなすばらしいなと思います。
- 一人でも多くの市民が幸せを感じられる全体的な視点
- 多様性、多文化、寛容、(個人の自律、個性といった視点が重要だと思います)
- 問43の10の選択肢に取り組んでいくことが必要と思います。
- 市民の立場に立った楽しい町造りをお願いします
- 古き時代も残しつつ、新しさにも取り組んでほしい
- 老若男女が住みやすいと実感出来るまちづくりに重点を置いて様々な事に取り組み姿勢が必要だと思います。
- 1人ひとりが、必要とされていると実感できる居場所のあるまち。その気持ちがあつてはじめて人にも優しくできるし、つながりあう。つながりがあれば、まちのため、人のため、自分のため、生きる活力が生まれ、まちが、活気づく。
- 全てにおいて満足させるのはムリ。優先順位を考えるしかないと思う。
- テーマごとの将来像は、よいことが書いてありましたが、市民全員が幸せになるということでは無理だと思います。みな、 「まあ、こんなもんでしょ」 くらいの感じで生きていける町づくりはどうでしょう。それなら実現できるかも、よろしくをお願いします。
- 時代背景も視野に入れた、まちづくりが求められているかと思います。個人の自由を強制する様なものではなく、ゆったりとしたしぼりの方向性を考えられないでしょうか。総合計画策定に関する熱意とはとても感じましたが、ある世代から下の方には温度差があるかも知れません。

- 日本一交通事故が少ない街，ひったくりや万引が少ない街など具体的な目標を目指して，市民みんな目指そう，取り組もうという意識を持たすことが必要なのでは？
- まずは市の財政をゆたかにすることから始めるのが良いと思う。
- 震災以降は生活スタイルを見直すことが多くなったと感じている。市にもこのような視点をもった行政サービスを充実させてほしい
- 少子化がとまらないので，他文化を入れることを検討して下さい。具体的にはアジア，南半などから移民を入れ，日本人として家庭を作り，子供を育んでもらえば，社会の活性化，少子化も解決できるので，調布市の移民政策を作り，特区申請しても良いのではないのでしょうか。乱筆で失礼します。

【新たな総合計画の策定・推進について】

- 大変立派な計画だと思うが，机上の空論にならぬ様がんばって下さい。あまり理想高く目標をかかげても現実はなかなか難しいです。「できる事をコツコツと」して下さい。“不言実行”です！！
- 総合計画を実行するのみ（文言で終わらない様！）
- 標語のようなキャッチフレーズもよいが，真実がしっかりしている「言葉」で表現したいですね。そしてできれば，数少なく，覚えられるものを公募しては…
- 美辞麗句ではなく，現実を直視してお願いします
- 確実に着実に実現して行って下さい
- 市民ひとりひとりが自覚し協力的になる事を。計画—指導—実行と常に進歩を望みます。
- 「抽象的なもの」よりも具体的な数値等を含めた目標を立ててまちづくり計画を進めるべきだと思います。
- 「まちづくり」はゆっくり，十分に時間をかけて住民の意見を聞く機会を多く設けて策定してほしい。
- テーマをかかげるだけではなく，自治体と住民の協力で実行するのみ！！
- 現在の環境で10年計画が良いとは思えない。また市長が変わったら何がしか変更するのでは？具体的な最終目標を出し，それぞれマイルストーンをおき計画通り行っているのか，行っていないければ何が問題でそうなったのか，その修正方法なども含め公表が必要と思う。
- 今後の計画がより具体的になり魅力的な調布市になればいいと願います。
- 計画を作ることを目的とせず，実践を重視して欲しい。
- 10年後の調布の将来像はどれも素晴らしいものばかりで，全てが現実となれば，日本一の街になると思います。「有言実行」が大事です。「言うは易く行うは難し」で終わらないよう，期待しています。
- もっと具体的な将来像を提示してほしい。構想・計画に10年は長すぎる。着手できるところから順次着手してほしい。今見る将来像と10年後見る将来像は違います。
- 総合計画を実施していく専門家を市民の中から養成する必要がある
- 行政と市民が活発に意見交換の出来る場を設ける事
- 多くの意見に耳を傾けることは大切なことであるが，限られた予算，税金から最大の効果を引き出すために全体最適を意識した方針の決定を進めて欲しい。全ての立場の人に対して行政がフォローをするのではなく，民間や市民の活力をうまく利用する仕組みとして欲しい

第4章 自由意見

- コンセプトではなく、人のためにやるという事が大切。
- 提言されたことが実現できるように切に願います。
- 全ての市民にとって住みやすいまち。問題はどれだけ実行出来るかということでしょう。市行政の「実行力」に期待します。
- 携わる方々が本気で考え、市民の方々を一番に思う気持ちに視点を置いていただきたい。私達はこんな事をしています。だけにならないでいただきたいです。
- 計画は10年間で何をどこまで達成させるか具体的なもので計画して頂きたい。達成度が判るものが望ましい。
- ビジョンが決まったら、進捗度や費用対効果を可視化して欲しい。「可視化する」という言葉に対して、箱物や、道路をつくれれば良いと思う人がいるかもしれないが、ちがう。日本の人口は減るのだから、もう少し頭を使って考えて欲しい。

【本アンケート調査について】

- 無作意とはいいいながら、年寄りの意見を少なからず伝えられて幸いでした。今後多くなる高齢者の為にもこの方法での問いかけがあることを望みます。
- このようなアンケートを通じて、たくさんの方々の声を行政に生かして頂きたいです。期待しています。
- 今回のアンケートは、選択肢がどれもこれも選びづらかったです。もっと答えやすいものであれば、今後もアンケートに喜んでお答えします
- 最もらしい設問ばかりで、本当に何を調査したいのかアンケートの意図が、よく分らない。今後の市政に生かせないのならもう少し具体的な設問を設けるべき。書かれている「将来像」に、本当に、反対する理由はない。
- きれいな言葉を並べた長い文、反対する理由はないが、真剣に受けとめる気になる人がどれだけいるのだろう。
- お役所的なアンケートでがっかりです！内容があまり良くないです！
- この計画は具体的でないのにアンケートとるのはいかながなものか。美辞麗句なら共感できる人が多くなるのがあたりまえ。意味を感じない。やって損した。
- 13ページ以降のご質問は、異質な感じがいたしますので、回答を保留させていただきました。（仮称）のうち「に係る」という漢字の部分、読みかたが分からないので、ルビをふっていただきましたかかったです。
- 封筒にのりぐらいつけておいて下さい。
- このアンケートの回答はどういう風に全員に伝わるのでしょうか。ただの多数決ではなくちゃんとした話し合う場が必要です
- このアンケートの設問は、どれも必須のものであり、一部だけ選ぶことは無理なレベルです。特に「将来像についてどう感じるか」について、3や4を選ぶ人は、余程の変人でしょう。その設問は無意味です
- このアンケートについて、封筒に番号を入れるのはやめて下さい。結果的に個人を特定しているではありませんか？これについてはHPで回答して下さい。返信用封筒が小さい。
- 将来像を語る語句が個人毎に受け取り方が異なるようなものが多く、不明瞭に思える。

- 余り変わらないと思うが、前期計画内容がわからず、回答しづらかった。調布に生まれ、育ち、子育ての70年も過ぎ、自分の足で歩ける老後をと努めて生活しています。子ども、高齢者が生活しやすい町づくりを願っています。
- 全体のアンケートの方向として、テーマの底辺にあるべきものは何か、始動のきっかけになるものは何か、習慣付けできるやり方は何かをよく考えていない選択肢があるように思える。今、こんなところが何か問題だから、さてやりましょうか、それではアンケート的なもので始めましょうと場当り的な感じがします。人間生活、市民生活の中心は人間で、できないは適格な人材の確保、チーム作り、幼いころからの習慣付け、継続、適所配置、市職員ができないことは外部へ委託、市の機構を事あるごとに肥大化させない、能力的に疑問のある職員の配転、効果の上げられる職員（専門的教育経験のある人、実績を上げた人）の採用、専門家・優れた指導者の招へい、つまり人材確保からではないでしょうか？そして毎日考える人材育成です。市立学校の中で、毎日、毎週考えさせ、実践させ体験させ育成すれば、今さら上記のテーマをこれからどうしましょうといったことは少なくなっていたはず。それでも上記テーマを解決しなければならないことも現実でしょうから、市としては基本構想を練れる人材確保、チーム作り（育成ではおそい）具体策を考えられる人材の確保、幼い時から習慣付ける環境整備、市立学校での実践と継続する課目導入、優れた教員の招へい・採用が求められる。
- まちづくりの意見を求めると、どうしても女性、特に20～40代の子育てをしている方が積極的に意見を出されるイメージ。そうすると、対象が子供中心になってしまいがち。それも大切な事ですが、男性の意見があると（なかなか難しいと思いますが）違う視点のことが多く出てくるかと。
- 漠然としたアンケートなど税金をかけてやる意味はないのでは。市議の方達は市民を代表して意見を出されていないのですか。（それとも信用されていないのか）
- なんですか？この例は？こんなどうでもよい例なんていらないでしょ？スローガン作ってるのじゃないのだから。もっと意見を書く気になる質問を出しなさい！
- 設問が多すぎます。いくら総合計画とはいえ抽象的すぎます。誰でも首肯せざるをえないような模範的スローガンを並べておいて、「共感できるかどうか」と尋ねるなどナンセンスです。大半の質問がそういう無駄な「市民の言質確保」に終わってしまっているのが残念です。国に言われてしぶしぶ作る、という前年踏襲型の保守的なやり方はそろそろ再考頂いた方がよいです。

【調布市の市政運営について】

- いろいろな駅とかで住民票受け取れるとか、もう少し行政を充実させて欲しい。今まで三鷹市に住んでいたが、土日でも市外窓口で色々対応してくれていて、三鷹市のように充実させて欲しい。
- 調布市内の充実だけでなく、隣接している三鷹、狛江、…と連携してやることも大切である。
- 行政サービスの充実、市役所は17：00までなどは古すぎ。社会の変化に対応できなければ、不便さばかりが浮き彫りになります。
- 小金井市のゴミは徹底して受け入れないでほしい
- 税金をもっと安くして欲しい。行政職員が多過ぎはしませんか？結局、責任の分散になり市民の信頼を失うことになる。もっとスリム体制をとって欲しい。
- お金（税金）が高い。お金をかけない最低限の対応を望みます。

第4章 自由意見

- 住民の為になる市政。有効的な健全な予算の配分。
- 様々なニーズに対応した数多い選択肢があれば、市政に参加する人も多くなると思います
- まちづくりには、様々な市民や知識人・市の職員・市議会議員等の参加が必要ですが、特に、中心的な役割を担うのは、市の職員です。ついては、提案いたします。1. 明確でオープンな基準に基づく市の職員を対象とした信賞必罰の制度化。2. 条例・規則・基準・規程・要綱・内規・通達等の再編によるコンプライアンスの向上と周知徹底。
- 地域への依存が大きい、可視化された市政の揭示、財政に合わせた予算の構築
- 福祉とか事業支援とか、的が外れている。無駄金を使わないで下さい。このアンケート自体、無駄
- 行政が行っていることの情報発信、特に市議会議員各自が具体的にどのように活動しているかの開示をお願いします。これらが明らかになることで、市民として、提案が出来ると思います
- 調布市の公務員の給料が高いと言われている。それなのに、住人の市民税は府中市にくらべて高いし、市で運営する葬儀場もなければ、駅周辺の駐車場もない。体育館もなければ遊び場も少ない。
- 税負担や公的扶助などの平等性を徹底させてほしい。現状不平等すぎます（だからこそその問 42）
- 市政しか出来ないことはあります。小さな市政にしてください。道路整備、拡張以外に余計な市民税は使わないでください。京王線沿線を見ると成功したのは仙川駅だけです。金の亡者となった地主との交渉を引き続き行ってください。家庭菜園以外畑はいらないと考えます。調布の産業の為に。また市役所職員が多すぎます。議員も多すぎます。名古屋の河村さんを見習ってください。
- 無駄なところにお金を使わない。例えば単なる美観のための道路整備など
- 他の市など意識せず、市民を見て、市民のことを考えて、住みやすい町にしてほしい。
- 相続税を払う為に農地を売り家が建つ。7年程住んで回りの風景は変わってしまいました。住人の居ない戸建が売られると3戸の家が建っています。若い人が住んで子供の声は聞こえない、この様子を見ると、理想の調布の前に、行政は、取り組む事が有る気がしますが・・・
- 積極的にまちづくりをしているとはとても思えない。仮にしているとしたら、あまりに発信力が不足している。市が市民にとって何を行っているのか、そこが見えるようであれば、より良い市にグレードアップすることは難しいのではないだろうか。
- 税金の有効活用
- 市議会議員の定員を大幅に減らすべきです。高給かつ何をしているか分かりません。
- 稲城、狛江、日野、川崎市麻生区など、隣接した市と共同して、多摩丘陵、多摩川の環境保全やスポーツ・観光資源化に取り組んで欲しいと思います。
- 三鷹市のコンセプトはイメージしやすく、目標になりやすく、良いフレーズだなと感じます。また、バス停に自転車置場があったり、道路整備も車・人・自転車の目線から見られていて良いと感じます。調布は駅前の駐輪場も現実の人の動きに合っていないし、街づくりも道路整備も、住人の目線ではなくて、土地の所有者目線だと感じる事が多いです。地主目線です。市議の標集めがいつも念頭にあって、地主の要望最有先なのが街に出ています。市長が変わらないとダメなのか、市議が変わらないとダメなのか。改革が必要だと思います。大きくて、ハッキリとイメージの伝わるキャッチフレーズで意識の共通化を計ってほしいです。

- 今後も安全かつ安心して暮らせる街づくりをお願いするとともに税金の無駄な支出をなくし、市民のために税金を有効に活用して頂くことを願っております。
- 「鯉（恋）と野鳥に会えるまち」「鯉（恋）と野鳥が遊ぶまち」先にも書きましたが、市の財政に余裕がないと思うので、予防中心の国保の促進、国保の大胆な改革、また、交通マナーの早急の改善を期待しています。
- 他地域に比し住民税が高い様に感じる。
- まず、今あるもの、作ってしまったもの、つまり既設の建物、施設など、本当に必要なのか。十分活用されているのか、不要なのか、よく見て検討が必要だと思う。それに対しての市民の意見をよく聞く行政の姿勢が好ましい。また、すぐ財政面で苦しいので、できないという、いい訳をしないでほしい。
- 商工関係や健康管理など市の施策が多岐にわたるのはわかるがそれぞれバラバラで一貫性やまとまりが欲しい。

【その他】

- 例に記載のある様な理念は良いことですが、重要なのはそれをどう実現するかということです。市長選や市議会選で色々な公約を目にしますが、それがどの様に取り組みされているのかが見えません。もっと市民の声を吸い上げ反映していく取り組みが必要であり、そのための機会をつくる必要があります。その為にも各地域で、様々な声を吸い上げることを実施し、みんなの意見が反映されることを実感できる様にするべきだと思います。自治会があって、自治会費も払っていますが、市のまちづくりにつながっているとは思えません。まずはここから変えていくべきだと思います。また、我々の声がどの様に反映され、どの様に実現されているのか、もっと情報発信をして欲しいと思います。(メルマガ等)情報発信されているのかもしれませんが、伝わってきません。また、我々の声が伝わっているのかも分かりません。この意見は市長にまで伝わりますか？
- 人としていかにあるべきかを念頭に置いて進むべし
- いろいろな取り組み、ご苦労様でございます。安心してくらしていけるのも皆様方のおかげと感謝申し上げます。
- 住めば都
- 子供が独立し住居を探す時、調布に住みたかったそうですが(私も希望)、高くて手が出せず、八王子、多摩地区に住んでいます。私も一人住まいになり、皆さんに支えられ、子供達も月一回位は来てくれ、幸せを感じております。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします
- なかなか市民の声をきいていく事が難しいと思うので具体的なテーマを決めて、各種団体(学校、企業、地域)で意見をまとめてもらって考えをきく
- 可能な限り多数の意見をきいて下さい。いつも同じ人が出席して決定する事はあまりいい事ではないと思います。
- 時には、調布市在住者以外の第三者的な方々の視点なり意見があってもよいかと思います(市内の事業所に勤務されている方、又通学されている方々)

第4章 自由意見

- 要を得ない解答ばかりで申し訳なく思います。今後ともよろしく願いいたします。
- 和を以て貴しとす。
- この年（76歳）ですので10年後と言われても考えられません。
- 田舎者同士結婚してこの街に住みました。年金の事も何もわからぬままに年金の手続きに伺い、役所の人に何回か社長の印かんが必要との事でお断りされました。何も知らなかった私達もいけません社長はそんなもの入らなくて良いと突き離されてそのままです。せめて役所の方が国民年金の方にも入れる様に一言助言して下さるやさしさがほしかったです。あの当時、調布の役所の方は日本一高い給料が支払われていると言う噂も有った頃です。今は年金もなく長生きをしてはいけないと思っています
- 長い間座ってられません。その他の記入欄に記入できなくてすみません。腰部脊柱管狭窄症、要介護1で2年10月よりヘルパーさんにお世話になっています。
- 歳を重ねて来て、生活面・収入面での不安があり、計画について考えている余裕がない。10年後も心おだやかに過ごせる街であって欲しいと切に願います。
- 公営住宅について東京都は親から子に承継出来なくなり調布で生れ育った者が外に出ないとならなく、故郷が他にある親の代ではまとまりが悪い。家族の絆も切れれば地域の絆も薄れる
- 別に望んでないし、議員市政がだらしない。自分は幼少時代から調布は他の市町に比べて遅れていると思った
- 地域の高校を卒業して、それからずっと結婚、子育てと過している今、70才すぎても地域の方々と仲良く毎日をたのしんでいます。
- 私にとって、今のままでも充分と思えるのですが。それを保つのは、皆様の努力があつての事。私自分が力になっていないと痛く思います。皆様に迷惑をかけない様、生きる事が出来ればと・・・心がけなければと・・・いつも思っています。ありがとうございます。
- 市民にお役をお願いするとき、引退する人が後人を選ぶと問題があると思います。
- まちづくりに限りませんが、行政頼みばかりでなく、市民が自発的に積極的に、小さくささやかでもいいから動いていくことが大事だと思います。自分もその一員でありたいと思います。
- 調布には、この100年、東京地域としていろいろなメリットを中心に形成されてきたと思います。地域としては古くからの人と新しく来た人が色々と混在していると思います。まさに日本から世界にの時代に、調布に暮らし、育った人が日本・世界を考える様に、地域に閉ざす事なく成長出来ればと思います。
- 現在は、夜、まわりの人が夜中にお話するため眠れない。
- 年寄りには環境の変化が嫌である
- 市民センターなどが充実していない。
- 駅前でビラをくばる議員がいるが、あいさつもしない。
- 税金かえせ
- 皆様が幸福になります様に！！
- 調布南校のそばの交差点にパン屋さんがありますが、道の上に室を作って住んでいます。コンクリートのらせん階段まで作って堂々としているのは何か事情があるのですか。道路（歩道）の上に住むというのは全国でもあまり例がないと思います。難しい問題もあるかと思いますがそろそろきちんとすべきです。調布市としての見解を市報などで知らせて下さい。

【参考】 調査票

（仮称）第5次調布市総合計画策定 に係る市民アンケート調査

平素より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

調布市では、「みんながつくる・笑顔輝くまち調布」をまちの将来像に掲げた調布市総合計画に基づき、計画的なまちづくりを推進しています。併せて、現行の総合計画の計画期間が平成24年度で終了することから、平成25年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す新たな総合計画として、「（仮称）第5次調布市総合計画」の策定に向けた取組を進めています。

この調査は、新たな総合計画策定に向け現在検討している内容などに関して、市民のみなさんの意識をうかがい、今後の計画づくりに生かすことを目的として行うものです。

調査に当たりましては、調布市に住民登録をしている18歳以上の方から、約3,000人の方を無作為に抽出させていただきました。

ご多忙のところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年2月

調布市長 長友 貴樹

＜ご記入に際しての注意事項など＞

1 ご記入に際してのお願い

- このアンケート調査にお答えいただくのは、調布市に住民登録している満18歳以上の方から、無作為に選ばれた3,000人の方々です。
- このアンケート調査は無記名で、かつ、回答結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしません。ご意見をありのままにご記入願います。

2 ご記入上の注意事項

- 宛名のご本人がお答え願います。ただし、事情により、ご本人の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにご記入いただいても結構です。
- お答えは、この調査票に直接ご記入願います。

3 返送期限

- ご記入いただいた調査票は、お手数おかけして恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に折りたたんで封入していただき、**3月7日（水）まで**に郵便ポストへ投函してください。なお、調査票や返信用封筒にお名前・ご住所などの記入は必要ありません。

＜本調査に関する問い合わせ先＞

調布市役所 行政経営部 政策企画課

TEL：042-481-7368 FAX：042-485-0741

E-mail：kihonkeikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

アンケートにお答えいただく前に、調布市の総合計画策定の取組についてお知らせします。

総合計画とは？

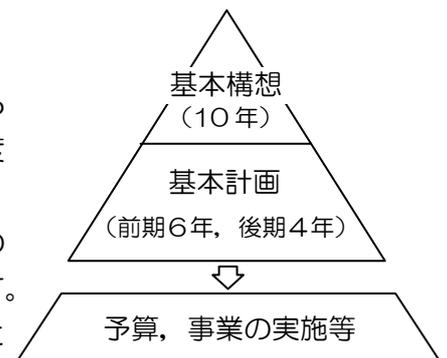
総合計画とは、市が市政・まちづくりを計画的・総合的に進めるに当たって、中心的な役割を担う計画です。現在、策定に向け取り組んでいる新たな総合計画は、平成25年度から平成34年度までの10年間の計画期間としています。今後の調布市の市政・まちづくりの方向性を明らかにし、各施策・事業の展開や毎年度予算の基本的な指針となるものです。

■（仮称）第5次調布市総合計画の構成

新たな総合計画は、基本構想と基本計画によって構成します。

「**基本構想**」は、調布市が目指すべき将来都市像と、それを実現するための基本方針を示すものです。計画期間は、平成25年度を初年度とする10年間とします。

「**基本計画**」は、基本構想に即して、その基本方針を具現化するための主な施策の体系や各施策における主要な事業の概要を示すものです。計画期間は、平成25年度を初年度とし、前期6年間、後期4年間とします。



■（仮称）第5次調布市総合計画の策定スケジュール

「**基本構想**」は、平成24年6月の策定を目指して取組を進めています。

「**基本計画**」は、基本構想の内容に即し、平成25年3月までに策定する予定です。

参加と協働による計画づくり

（仮称）第5次調布市総合計画の策定に当たっては、「参加と協働」によるプロセスを大切にしながら、より多くの市民の皆様と調布市の目指すべきまちの将来像を共有していきたいと考えています。

■（仮称）第5次調布市総合計画の策定体制

新たな総合計画の策定に向け、平成23年4月に「調布市基本構想策定推進市民会議」を設置し、これまで20回の市民会議による検討を重ねてきました。市民会議は、公募や無作為抽出での募集による市民15人と職員15人の合計30人で構成し、市民と市の協働により議論を重ねています。



〈参考〉調布市ホームページ (<http://www.city.chofu.tokyo.jp>) のコンテンツ「調布市基本構想策定推進市民会議を開催しています」に、市民会議による検討状況をお知らせしています。

（ホームページのトップページ画面の左下「**新・総合計画策定**」のボタンをクリック）

■市民会議で検討を重ねた主なテーマ等

市民会議では、次のページ（2ページ）に掲げたまちづくりの骨格を示す8つの目標と14のテーマについて検討を進めてきました。3ページから始まる質問・回答シートでは、主にこの14のテーマに関連した内容をうかがいます。

市民会議での主な検討テーマ(8つの目標, 14のテーマ)

目標1 次代を担う子どもたちを育てるために

【テーマ1 子ども・子育て支援】

調布の自然の中で、子どもを安心してのびのびと育てられるまち

【テーマ2 学校教育】

子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち

【テーマ3 青少年の健全育成】

青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち

目標2 みんなで支え合い、安心していきいきと暮らすために

【テーマ5 福祉(地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉)】

互いに認め支え合い安心していきいきと暮らせるまち

目標3 健康で身近な学びと交流のあるまちをつくるために

【テーマ4 健康づくり】

生涯にわたって心身ともに健康で笑顔あふれる生活を送ることのできるまち

【テーマ8 生涯学習】

出会いや交流の輪が広がりすべての世代がいきいきと暮らせるまち

【テーマ9 スポーツ・レクリエーション】

誰もが気軽にスポーツを楽しみ集うことにより市民みんなが元気になるまち

目標4 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために

【テーマ6 産業・観光振興】

みんなが愛着と誇りを持てるこれぞ調布という地域の特色がきらりと光るまち

【テーマ7 芸術・歴史文化】

調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ新たな世代に受け継がれていくまち

目標5 快適で利便性の高いまちをつくるために

【テーマ11 市街地整備(住環境・街並み・景観)】

多世代がいつまでも快適に暮らせるくつろぎとふれあいに満ちたまち

【テーマ12 道路・交通】

だれもが便利で安全・安心に移動できる、良好な交通環境のあるまち

目標6 環境にやさしく、自然と共生するために

【テーマ13 水・緑・環境保全】

豊かな自然や身近な緑を大切に守り育て人と自然が共に生きるまち

目標7 共に助け合い、安全・安心に暮らすために

【テーマ14 防災・防犯】

地域で共に助け合う災害に強く犯罪の少ないまち

目標8 地域のつながりの中で、ぬくもりある暮らしをおくるために

【テーマ10 地域コミュニティ】

地域のつながりや連帯感を大切にし、だれもがぬくもりにふれあえるまち

次のページからが質問・回答シートです。全部で44問あります。
設問が多く恐縮ですが、最後までご協力をお願いいたします。

＜質問・回答シート＞

それぞれの質問に対し、選択肢の中からあなたご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示されている範囲で、該当する番号に直接○をつけてください。

1 「今後のまちづくりの方向性」について、うかがいます。

調布市基本構想策定推進市民会議でまとめられた「テーマ別の将来像」や「まちづくりの方向性」に対する共感度や優先度について、テーマごとにごうかがいます。

【テーマ1 子ども・子育て支援】

将来像：調布の自然の中で、子どもを安心してのびのびと育てられるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもの安全・安心を守るまちの基盤づくりや、地域での見守りネットワークづくりとともに、豊かな調布の自然とふれあえる身近な遊び場づくりにより、子どもが元気に、のびのびと育つまちを目指します。

問1) あなたは、「テーマ1 子ども・子育て支援」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問2) 「テーマ1 子ども・子育て支援」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 子どもを産み、育てたくなるまちづくり |
| 2 子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち |
| 3 地域で育てるまちづくり（地域ぐるみで子どもの成長と安全を見守るネットワークづくりなど） |
| 4 子どもの安全・安心な環境づくり |
| 5 子どもの遊び場・居場所づくり |

【その他、「子ども・子育て支援」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ2 学校教育】

将来像：子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

それぞれの個性を伸ばし、主体的に考える力を育むための機会や環境を整備するとともに、学力だけでなく体力や社会性、人間性も養えるような学校づくりと地域や自然、多世代との交流などさまざまな経験ができる環境づくりを進めます。

問3) あなたは、「テーマ2 学校教育」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問4) 「テーマ2 学校教育」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 教育環境の充実 | 4 不登校児童・生徒の解消 |
| 2 教育の質の向上 | 5 心の教育の充実 |
| 3 地域や教育機関の連携強化 | |

【その他、「学校教育」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ3 青少年の健全育成】

将来像：青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

世代を超えた地域のつながりや、交流の機会を充実させるとともに、学校以外での遊びや体験を通じて人間性や社会性・多様性を身につけ健やかに成長できるまちを目指します。

問5) あなたは、「テーマ3 青少年の健全育成」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問6) 「テーマ3 青少年の健全育成」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 健全育成のビジョン・方針づくり |
| 2 健全育成のメニューや内容の充実 |
| 3 世代間のふれあいを通じた、伝える・つながるまちづくり（世代間交流やボランティア活動などの社会参加の仕組みの充実） |
| 4 地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり |
| 5 健全育成のための人・居場所などの基盤の再構築 |

【その他、「青少年の健全育成」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ4 健康づくり】

将来像：生涯にわたって、心身ともに健康で笑顔あふれる生活を送ることのできるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

積極的に健康づくり活動に取り組むことで、笑顔があふれ、生涯にわたって心身ともに健康で、自分らしい生活を送ることができるまちを目指します。

問7) あなたは、「テーマ4 健康づくり」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問8) 「テーマ4 健康づくり」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 市民の自発的な健康づくり活動を促す仕組みづくり |
| 2 笑顔のあふれるまちづくり（心の健康をサポートする仕組みづくり） |
| 3 病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり |
| 4 医療体制の充実 |

【その他、「健康づくり」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）】

将来像：互いに認め支えあい、安心していきいきとして暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

様々な立場の方へ理解を深め、地域での高齢者・障害者の見守り・サポートを促すことにより、高齢者・障害者が孤立せずに、いきいきとした生活を送ることのできるまちを目指します。

問9) あなたは、「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 10) 「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 見守り支えあいのまちづくりの推進（障害者や高齢者が生活しやすい環境づくりを地域で支える仕組みづくりなど）
- 2 ノーマライゼーションの意識啓発
- 3 地域福祉の担い手の育成・発掘
- 4 社会的弱者に対する就労支援
- 5 誰もがいきいきとくらせるまちづくり（高齢者や障害者がすごしやすいまちづくり、孤立しないよう集える場づくり、社会参加の促進）
- 6 福祉施設の質・量の向上

【その他、「福祉」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ6 産業・観光振興】

将来像：みんなが愛着と誇りをもてる“これぞ調布”という地域の特色がきらりと光るまち
《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

商店街の活性化や企業誘致、都市農業の振興、地域資源の発掘・活用など、地域の特色を生かしたまちづくりを進めるとともに、「これぞ調布」というまちの資源を磨き上げることにより、市民が地元で愛着を持ち、観光客からもまた訪れたいと思われるまちを目指します。

問 11) あなたは、「テーマ6 産業・観光振興」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 12) 「テーマ6 産業・観光振興」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 観光資源の発掘・魅力向上 | 4 企業活動に対する支援の充実 |
| 2 まちの情報発信の充実 | 5 都市農業・地産地消の推進 |
| 3 快適で魅力的な買い物環境の創出 | |

【その他、「産業・観光振興」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ7 芸術・歴史文化】

将来像：調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、新たな世代に受け継がれていくまち
《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

映画など独自の芸術・文化や各地域の歴史的資源のさらなる活用を図り、市民の誇りと愛着を醸成するとともに、子どもの頃から芸術・歴史文化に触れる機会を創出することにより、未来を担う新たな世代に調布らしい芸術・歴史文化が伝承されるまちを目指します。

問 13) あなたは、「テーマ7 芸術・歴史文化」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 14) 「テーマ7 芸術・歴史文化」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 芸術・文化活動のための場の充実 |
| 2 芸術・文化的な資源を活かしたまちづくり |
| 3 歴史的資源の保全と活用 |
| 4 芸術家・文化人との連携によるまちの魅力づくり |
| 5 多文化共生 |

【その他、「芸術・歴史文化」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ8 生涯学習】

将来像：出会いや交流の輪が広がり、すべての世代がいいききと暮らせるまち
《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や関連団体との連携強化、情報発信の強化など、一人ひとりの生涯学習活動の輪を広げるための支援を行い、生涯学習の気運を高めることにより、すべての人が生きがいを持って学び暮らせるまちを目指します。

問 15) あなたは、「テーマ8 生涯学習」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 16) 「テーマ 8 生涯学習」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 参加しやすい多様な生涯学習の機会づくり
- 2 生涯学習活動の場の充実
- 3 生涯学習情報の収集・提供
- 4 生涯学習活動の担い手の発掘・育成

【その他、「生涯学習」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ 9 スポーツ・レクリエーション】

将来像：誰もが気軽にスポーツを楽しみ、集うことにより、市民みんなが元気になるまち

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や利用者の声を反映した施設の整備を進めるとともに、地域に根付いた活動を支援することにより、市民一人ひとりがスポーツ活動をより身近に感じることができるまちを目指します。また、調布ゆかりのチームや選手を、市を挙げて応援する体制を整えることにより、市民が一丸となってスポーツを楽しむまちを目指します。

問 17) あなたは、「テーマ 9 スポーツ・レクリエーション」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 18) 「テーマ 9 スポーツ・レクリエーション」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 スポーツ活動のための充実した環境づくり（利用者の声や地域の特色を反映した利便性の高いスポーツ環境整備）
- 2 スポーツ活動への参加機会の充実
- 3 スポーツ活動を支える担い手づくり
- 4 調布らしさを活かしたスポーツのまちづくり（調布に根差したスポーツチームや調布出身のスポーツ選手の市全体での応援）

【その他、「スポーツ・レクリエーション」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ10 地域コミュニティ】

将来像：地域のつながりや連帯感を大切に、誰もがぬくもりに触れ合えるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域に開かれた場づくりや顔が見えるネットワークづくりを進めることにより、一人ひとりが地域コミュニティの大切さを理解し、地域すべての人がコミュニティ活動に参加している、地域のつながりや連帯感が強く、ぬくもりに触れ合えるまちを目指します。

問19) あなたは、「テーマ10 地域コミュニティ」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問20) 「テーマ10 地域コミュニティ」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 コミュニティ組織の育成・活性化 |
| 2 コミュニティ活動への参加機会の充実 |
| 3 地域コミュニティを核としたまちづくり |

【その他、「地域コミュニティ」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）】

将来像：多世代がいつまでも快適に暮らせる、くつろぎとふれあいに満ちたまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に憩える住環境を目指すとともに、まちに誇りと愛着を持って活気と魅力あるまちづくりを進めることにより、多様な世代がいつまでもくつろぎとふれあいに満ちた空間の中で、快適に暮らし続けることができるまちを目指します。

問21) あなたは、「テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 22) 「テーマ 11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 身近な憩いの場づくり
- 2 良好な街並みの形成
- 3 快適な住環境の整備
- 4 駅周辺の整備

【その他、「市街地整備」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ 12 道路・交通】

将来像：だれもが便利で安全・安心に移動できる、良好な交通環境のあるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域の特性を踏まえつつ、幹線道路や生活道路の整備充実を図り、歩行者と自転車利用者の双方にとって快適な通行空間を確保するとともに、公共交通及び駅周辺の交通利便性の向上などを総合的に進めることによって、だれもが便利で安全・安心に移動できる良好な交通環境が整ったまちを目指します。

問 23) あなたは、「テーマ 12 道路・交通」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 24) 「テーマ 12 道路・交通」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 幹線道路の整備
- 2 生活道路の整備
- 3 自転車対策の推進
- 4 バス交通の利便性の向上
- 5 駅周辺の交通利便性の向上

【その他、「道路・交通」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ 13 水・緑・環境保全】

将来像：豊かな自然や身近な緑を大切に守り、育て、人と自然が共に生きるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

豊かでうるおいのある自然環境を将来世代に継承するため、身近な緑を大切に守り、育てるとともに、市民・事業者・行政などが連携し、各主体の役割に応じた環境にやさしい取組を進めることによって、人と自然が共生するまちを目指します。

問 25) あなたは、「テーマ 13 水・緑・環境保全」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 26) 「テーマ 13 水・緑・環境保全」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|-------------------|
| 1 豊かな自然を生かしたまちづくり |
| 2 公園や緑地の保全・整備 |
| 3 良好な水環境の保全・整備 |
| 4 生活環境の保全 |
| 5 地球環境の保全 |

【その他、「水・緑・環境保全」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

【テーマ 14 防災・防犯】

将来像：地域で共に助け合う、災害に強く犯罪の少ないまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

市民の尊い生命と貴重な財産を守るため、自らの安全は自らが守る「自助」、地域で共に助け合う「共助」、公共が行う「公助」が連携して、だれもが安全で安心して暮らせるよう、災害に強く犯罪の少ないまちを目指します。

問 27) あなたは、「テーマ 14 防災・防犯」の将来像について、どのように感じますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても共感できる | 3 あまり共感できない |
| 2 共感できる | 4 共感できない |

問 28) 「テーマ 14 防災・防犯」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 災害に強い基盤づくり | 4 防犯体制の充実 |
| 2 防災体制の充実 | 5 防災・防犯意識の向上 |
| 3 犯罪の少ない環境整備 | |

【その他、「防災・防犯」の将来像や取組について、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

2 「総合計画策定への参加」について、うかがいます。

問 29) あなたは今後、調布市の新たな総合計画づくりに参加したいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------|----------|
| 1 積極的に参加したい | 3 参加したくない | → 問 31 へ |
| 2 機会があれば参加したい | 4 関心がない | |

問 30) 問 29 で「1 積極的に参加したい」、「2 機会があれば参加したい」を選んだ方にうかがいます。
 あなたはどのような手法で参加できますか。
 また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(※複数回答可)

内容	あなたが参加できると 思うものに○	より多くの市民意見が 届きやすいと思うものに○
1 説明会や意見交換会（平日夜間の開催）		
説明会や意見交換会（土日・休日午前の開催）		
説明会や意見交換会（土日・休日午後の開催）		
2 アンケート調査		
3 パブリック・コメント ※1		
4 シンポジウム		
5 インターネットを活用した市政モニター※2 など ITの活用		
6 【その他、市政・まちづくりへ参加できると思う手法がありましたらご記入ください。】		
【その他、より多くの市民意見を行政に届けやすいと思われる参加手法がありましたらご記入ください。】		

※1 市が定めようとする条例や各種の計画・制度等の策定過程の案について、市民から意見を募集し、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、提出された意見や市の考えなどを公表する一連の
 手順
 ※2 インターネットを使用して市政に関するアンケートを実施することで、市政に関する課題解決の方向性
 等を把握し、市の事業等の改善や新たな施策等の企画立案に活用するもの

【参考】調査票

問 31) 問 29 で「3 参加したくない」, 「4 関心がない」を選んだ方にうかがいます。参加をしない・関心がない理由は, 主にどのようなことですか。あてはまるものに○をつけてください。
(※複数回答可)

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 仕事や子育て, 学業などが忙しく, 時間がないため | |
| 2 市政・まちづくりに関する情報が足りないため | |
| 3 参加したいと思う・興味がある取組がないため | |
| 4 市政・まちづくりは行政や議会にまかせるため | |
| 5 市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため | |
| 6 その他(具体的に |) |

3 最後に「あなたご自身のこと」について, うかがいます。

問 32) あなたの性別について, 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 33) あなたの年齢について, 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18~19 歳 | 5 50~59 歳 |
| 2 20~29 歳 | 6 60~69 歳 |
| 3 30~39 歳 | 7 70 歳以上 |
| 4 40~49 歳 | |

問 34) あなたのお宅には次の方が同居していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 6歳以下の乳幼児がいる | 3 65歳以上の家族がいる |
| 2 小・中学生の子どもがいる | 4 いない |

問 35) あなたの現在のお住まいについて, 1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------------------|---|
| 1 一戸建て(持ち家) | 5 公営住宅(公団, 公社, 都営, 市営) | |
| 2 一戸建て(借家) | 6 社宅・官舎 | |
| 3 集合住宅(分譲) | 7 その他 | |
| 4 集合住宅(賃貸) | (具体的に |) |

問 36) あなたの職業について, 1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|------------|---|
| 1 自営業 | 6 専業主婦(主夫) | |
| 2 農業 | 7 無職 | |
| 3 会社員・公務員など | 8 その他(|) |
| 4 派遣・契約・嘱託社員, パート・アルバイト | | |
| 5 学生 | | |

↓
問 37 へ

問 37) 問 36 で「1～5」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたの通勤（就業）・通学先はどちらですか。

1 自宅	4 東京 23 区内
2 市内（自宅以外）	5 その他
3 多摩地域（東京 23 区内・島しょを除く地域）	

問 38) あなたがお住まいの地域はどこですか。「1 東部地域」～「5 西部地域」の中から、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
対象となる町丁目				
菊野台1～3丁目 東つじヶ丘1～3丁目 西つじヶ丘1～4丁目 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目	佐須町1～5丁目 柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目 深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目	小島町1～2丁目 布田1～4丁目 国領町1～5・8丁目	小島町3丁目 布田5～6丁目 国領町6～7丁目 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目	飛田給1～3丁目 上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目 野水1～2丁目 西町

問 39) あなたは、調布市にお住まいになって、通算で何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。

1 3年未満	4 10～20年未満
2 3～5年未満	5 20～30年未満
3 5～10年未満	6 30年以上

問 40) あなたは、調布市に住む前にどこにお住まいでしたか。1つ選んで○をつけてください。

1 調布市以外に転居したことがない
2 多摩地域（東京 23 区内・島しょを除く地域）
3 東京 23 区内
4 埼玉県・千葉県・神奈川県
5 その他（具体的に)

問 41) 問 40 で「2 多摩地域」「3 東京 23 区内」「4 埼玉県・千葉県・神奈川県」「5 その他」を選んだ方にうかがいます。調布市に転入してきた理由はどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（※複数回答可）

1 家族構成が変わったから	9 高齢者の介護サービスなどが良いから
2 家賃や地価が適当だから	10 自然環境が良いから
3 仕事の都合で	11 道路などの都市基盤が整っているから
4 通勤・通学など交通が便利だから	12 災害などに強そうだから
5 日常の買い物が便利だから	13 治安が良さそうだから
6 知人や親せきがいる、多いから	14 文化施設が充実している
7 教育環境が良いから	15 スポーツ施設が充実している
8 子育て環境が良いから	16 その他（具体的に)

【参考】調査票

問 42) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

1 住み続けるつもりでいる	3 事情が許せば転出したい
2 事情が許せば住み続けたい	4 転出するつもりでいる

問 43) 問 42 で「1 住み続けるつもりでいる」または「2 事情が許せば住み続けたい」を選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに住み続けたいと思う理由について、次の中から、3つ以内で選んで○をつけてください。

1 安全で安心して暮らせる	6 交通の便がよい
2 子育て環境が良好である	7 豊かな自然がある
3 地域のふれあいがある	8 魅力的な店や商店街がある
4 祭りやイベントが楽しい	9 スポーツ施設が充実している
5 歴史や伝統が根付いている	10 文化施設・学術機関が充実している

【その他、調布に住み続けたいと思う理由等がありましたら、ご記入ください。】

【全体を通じて】

問 44) 今後の調布市のまちづくりにおいて、どのような視点で取り組んでいくことが必要だと思いますか。ご意見やご提案等がありましたらご記入ください。

例：幸せを感じられるまち、人と人がつながり支え合うまち、活力のあるまち など

質問は以上で終わりです。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数おかけして恐縮ですが、折りたんで返信用封筒（切手不要）に封入していただき、3月7日（水）までに郵便ポストに投函してください。

なお、本調査の結果の概要については、市のホームページ等で公表します。（平成 24 年 5 月頃予定）

この調査票とは別に同封いたしました、
調布市の総合計画策定に関するお知らせ（別紙）も
ご覧ください。

登録番号
(刊行物番号)

2011-262

(仮称) 第5次調布市総合計画策定に係る
市民アンケート調査報告書

発行日 平成24年(2012年) 3月

発行 調布市

編集 行政経営部政策企画課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

電話 042-481-7368~9 (直通)

FAX 042-485-0741

